

広 報 資 料

(市政, 経済同時)

平成 22 年 10 月 14 日

京 都 市 産 業 観 光 局

(担当：商工部産業政策課 TEL 075-222-3325)

市内中小企業の景況について

(第 96 回京都市中小企業経営動向実態調査)

市内中小企業の経営実態、経営動向などを把握するため、四半期ごとに実施している「京都市中小企業経営動向実態調査」の調査結果がまとまりましたので、報告します。

京都市中小企業経営動向実態調査の概要

- ・ 調査目的 京都市域中小企業の経営実態を把握し、経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 平成 22 年 9 月
- ・ 調査対象期間 平成 22 年 7～9 月期 (3 箇月実績) / 平成 22 年 10～12 月期 (3 箇月見通し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 380 社, 非製造業 420 社, 計 800 社に対しアンケートを送付。513 社が回答 (回収率 64.1%)。

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数 (構成比)	項 目	企業数 (構成比)
製造業	243 (47.4)	非製造業	270 (52.6)
西陣	23 (4.5)	卸売	67 (13.1)
染色	32 (6.2)	小売	55 (10.7)
印刷	26 (5.1)	情報通信	27 (5.3)
窯業	18 (3.5)	飲食・宿泊	33 (6.4)
化学	14 (2.7)	サービス	50 (9.7)
金属	22 (4.3)	建設	38 (7.4)
機械	25 (4.9)	不明	0 (0.0)
その他の製造	83 (16.2)	合 計	513 (100.0)

▶ DI=Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

増加, 上昇などと回答した企業の企業割合から, 減少, 低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として, それより上である場合は, 上向き傾向を表す回答が多いことを示し, 下である場合は, 下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

▶ 中小企業の定義

中小企業基本法に基づき, 業種別に以下のとおり設定している。

業種	従業員規模/資本金規模
製造業, その他の業種	300 人以下 又は 3 億円以下
卸売	100 人以下 又は 1 億円以下
小売	50 人以下 又は 5,000 万円以下
サービス (情報通信, 飲食・宿泊を含む。)	100 人以下 又は 5,000 万円以下

★この広報資料については, インターネットホームページでも御覧いただけます。

URL http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-1-11-0-0_1.html

調査結果概要

1. 景気動向調査について

- 非製造業の企業景気DIは前回とほぼ同水準であるが、製造業の企業景気DIは同業他社との競合や円高の進行などにより低下し、全体の企業景気DIは5期ぶりに低下。
- 企業景気DIの来期見通しについては、製造業、非製造業ともに1ポイント増とわずかに上昇傾向にはあるものの、円高の進行を含め、先行きを不安視する声も多い。設備投資の見通しも依然として低水準であり、景気動向は下振れの懸念もある。

(1) 今期実績 平成22年7～9月期

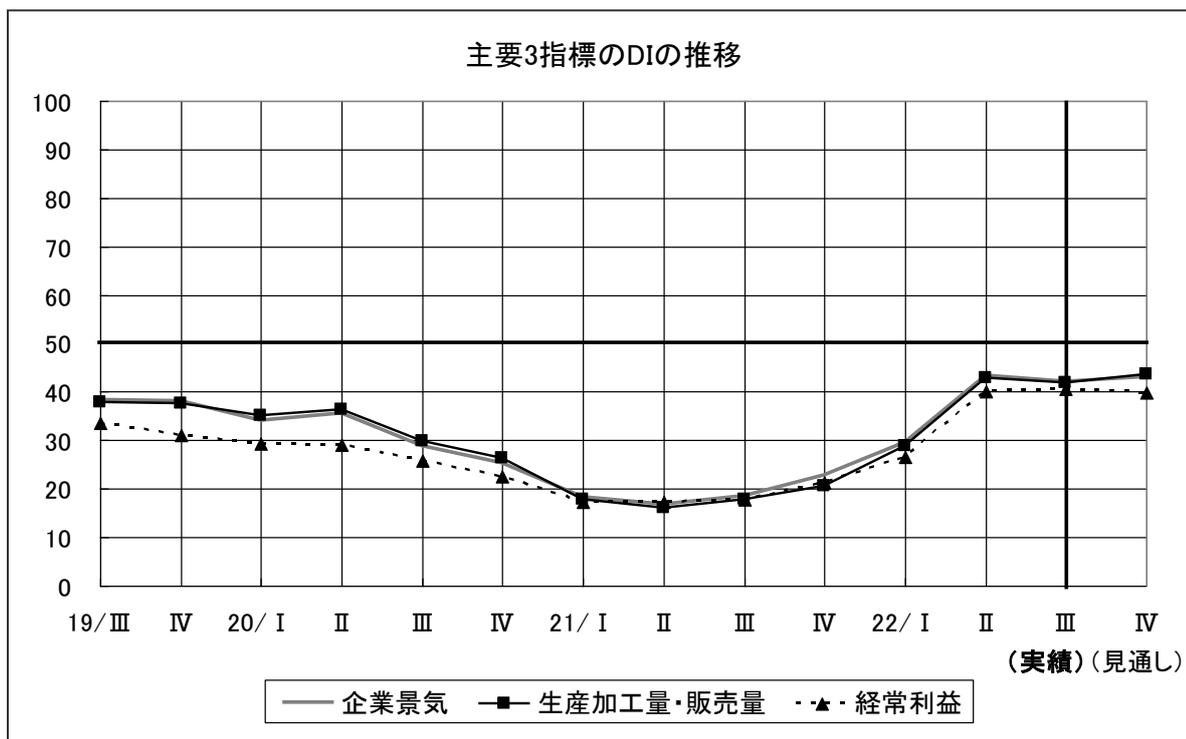
今期（平成22年7～9月期）の全業種の主要3指標DIは、企業景気DIが42.1と前期と比較し、1.3ポイントの減少となり、生産加工量・販売量DIは、41.9で同0.9ポイントの減少となった。一方、経常利益DIは、40.7で同0.6ポイントの上昇となった。

・今期実績

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	42.1 (▼ 1.3)	41.9 (▼ 0.9)	40.7 (△ 0.6)
(製造業)	46.7 (▼ 2.5)	45.2 (▼ 3.8)	46.2 (▼ 1.2)
(非製造業)	37.9 (△ 0.1)	38.5 (△ 2.2)	35.6 (△ 2.6)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。△は上昇、▼は低下を示す。）

・主要3指標のDIの推移



平成21年II期（平成21年4月～6月期）以来、連続で上昇していた企業景気DIが、5期ぶりに低下した。

製造業では、「新たな分野における得意先開拓により受注量が増加」（中京区／染色）、「人材育成、営業力、情報力の強化で、業況はやや改善した」（伏見区／染色）、「陶芸体験を積極的に打ち出したことで来店客数が増加」（東山区／窯業）のように、新規得意先の開拓や営業力の強化・工夫などにより、染色や窯業の企業景気DIは上昇した。

一方、前回若干改善傾向にあった地場産業の西陣は、「呉服業界の構造的な不況により、売上減少が続く」

(上京区/西陣)と、取り巻く厳しい業界環境を背景に、企業景気DIは低下している。

また、「既存得意先からの受注量減の継続」(右京区/印刷)、「大企業との価格競争やネット印刷との競合による受注単価の低下」(南区/印刷)、「依然厳しい同業他社との競合で、受注量や受注単価が停滞」(南区/金属)、「円高のため海外向けの販売数量が減少」(南区/化学)、「円高で輸出関連企業からの注文が減少傾向」(南区/機械)、「景気の低迷により、一部の業者からの受注が減少」(伏見区/その他の製造)と、得意先の業況悪化、同業他社との競合、円高の進行、景況の停滞感などにより、印刷、金属、化学、機械、その他の製造の企業景気DIが低下した。特に、印刷と金属は前期と比較し、10ポイント台の落ち込みとなり、製造業全体の企業景気DIが押し下げられた。

非製造業においては、「昨年同期が悪く、その時期に比べると改善している」(中京区/卸売)、「積極的な店舗展開で業容は拡大」(北区/小売)、「得意先の業績回復により、延期となっていたITシステム投資が復活した」(下京区/情報通信)、「営業力の強化で、まとまった受注案件を確保できた」(右京区/建設)と、前年に比べての相対的な改善、店舗増設、得意先の業況改善に伴う受注量の回復、営業体制の強化などにより、卸売、小売、情報通信、建設の企業景気DIは上昇した。

一方、「景気の不透明感に加え、夏場の猛暑により外食利用が落ち込んだ」(中京区/飲食・宿泊)、「猛暑日が続く、来場者が減少」(北区/サービス)、「消費低迷、客単価の下落で業況悪化」(右京区/飲食・宿泊)、「一般消費動向の停滞で、広告の反応も乏しい」(上京区/サービス)のように、夏場の猛暑の影響、消費の停滞を背景に、飲食・宿泊とサービスの景況感は悪化した。結果として、非製造業全体の企業景気DIは、前期と比較し、ほぼ同水準にとどまった。

観光関連については、昨年流行した新型インフルエンザのような事象はなかったが、「円高に伴い、外国人観光客の利用が低調であった」(中京区/飲食・宿泊)と、円高の影響による外国人利用の低迷のほか、上記猛暑による来店客数が減少したとの声も聞かれ、企業景気DIは低下した。

京都市内の製造業では、前回の調査において、取引先の稼働率上昇や生産調整の緩和により受注状況が改善したとの声が多かった。今回の調査においては、そういった声は一部で聞かれるものの、同業他社との競合、円高の進行などを背景として業況が低迷したとの声が多いことから、未だ景気回復への不透明感が残っている。

また、非製造業においても、一部の業種で設備投資や営業努力により業容が改善したとされる一方で、長引いた猛暑の影響や一般消費動向の低迷により、業況は不振との声もあった。こうした背景から、4期連続で上昇していた企業景気DIが若干ではあるが低下し、加えて、業種別の企業景気DIに関しても、50ポイントを超えている業種が依然少ないことなどから、景気回復は足踏み状態とも言える。

主要3指標DIがいずれも上昇した業種は14業種中6業種であり、いずれも低下した業種は5業種である。

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
窯業	41.7 (△ 7.5)	38.2 (△ 6.6)	43.8 (△ 7.0)
染色	31.3 (△ 6.3)	25.0 (△ 2.1)	34.4 (△ 4.4)
建設	36.5 (△ 5.1)	30.9 (△ 3.6)	29.2 (△ 3.5)
小売	35.5 (△ 4.7)	35.6 (△ 5.2)	27.3 (△ 1.4)
卸売	47.8 (△ 4.5)	46.8 (△ 3.0)	49.2 (△ 12.8)
情報通信	48.1 (△ 2.4)	50.0 (△ 6.8)	44.2 (△ 1.0)
<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
印刷	46.2 (▼ 18.6)	46.2 (▼ 16.8)	42.0 (▼ 9.9)
飲食・宿泊	27.3 (▼ 13.8)	29.0 (▼ 12.1)	24.2 (▼ 11.0)
金属	63.6 (▼ 10.2)	61.9 (▼ 11.9)	65.9 (▼ 3.1)
機械	62.0 (▼ 3.5)	62.5 (▼ 1.3)	58.3 (▼ 3.8)
その他の製造	45.8 (▼ 0.3)	46.4 (▼ 1.6)	43.4 (▼ 2.5)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。△は上昇、▼は低下を示す。）

(2) 来期見通し 平成 22 年 10～12 月期

来期（平成 22 年 10～12 月期）の全業種の主要 3 指標見通し DI は、企業景気 DI が 43.1 と今期と比較し、1.0 ポイントの上昇となり、生産加工量・販売量 DI は、43.5 で同 1.6 ポイントの上昇となった。一方、経常利益 DI は、39.9 で同 0.8 ポイントの低下となった。

・来期見通し

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	43.1 (△ 1.0)	43.5 (△ 1.6)	39.9 (▼ 0.8)
(製造業)	47.7 (△ 1.0)	47.5 (△ 2.3)	44.1 (▼ 2.1)
(非製造業)	38.9 (△ 1.0)	39.4 (△ 0.9)	36.0 (△ 0.4)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。△は上昇、▼は低下を示す。）

製造業では、「きもの需要の停滞、染め価格の低下などから、自助努力では業況改善の糸口が見えない」（右京区／染色）、「景気の先行き不透明感から受注回復の目処がたたない」（伏見区／染色）など、今回の企業景気 DI が上昇していた染色では、景気の先行きを不安視する声がある。

また、「円高の影響で、海外に事業展開している企業向けの販売が不安定」（山科区／化学）、「円高による輸出不振、海外シフトの加速を不安視している」（山科区／金属）、「同業他社との競合により、業況は良くない」（南区／機械）のように、円高の影響や同業他社との競合の激化を背景に、化学、金属、機械の企業景気 DI の来期見通しは低下している。

一方、「付加価値を高めた商品を取り扱うことで、販売単価や利益率の増加を見込む」（上京区／西陣）、「営業体制の再構築で売上の増加を目指す」（上京区／印刷）、「購買しやすい価格帯の販売を強化」（東山区／窯業）、「新たな市場での得意先開拓により、業容の改善を見込む」（上京区／その他の製造）と、顧客ニーズに対応した商品の取扱いや営業体制の見直し、新規得意先の開拓などにより、景況感の改善を予測している業種もあり、結果として製造業全体の企業景気 DI の来期見通しは、1 ポイントながら上昇している。

非製造業においては、「円高の進行により、先行きには不安がある」（中京区／卸売）、「得意先における業況が不安定で、10 月以降の受注見通しがたたない」（下京区／情報通信）のように、円相場の動向や得意先の業況変化から先行きを不安視する声もあり、卸売と情報通信の企業景気 DI の来期見通しは低下している。

なお、小売と建設の企業景気 DI の来期見通しについては横ばいとなっているが、「新企画の運営により業況の改善を見込む」（北区／飲食・宿泊）、「マスクミに取り上げられ、来店客が増加傾向」（中京区／飲食・宿泊）、「店内サービスの改善で一定の来店客が見込める」（伏見区／サービス）と、新企画やマスクミ対応、サービスの向上などの営業努力により、飲食・宿泊とサービスにおいては景況感の改善を予測している。この結果、非製造業全体の企業景気 DI の来期見通しも製造業同様に 1 ポイント上昇している。

国内経済においては、アジアを中心とした新興国での需要増により、大手企業の業績は全般的に改善してきている。製造業は、エコカー補助金の駆け込み需要や歴史的な猛暑で季節商品の需要が増加しており、非製造業においても住宅エコポイントなどの消費喚起施策が奏功し、需要が増加してきた。また、景気対応緊急保証制度や中小企業金融円滑化法といった政府の金融施策も、一定の効果を上げている。一方で、9 月上旬にエコカー補助金が終了し、円高・株安や欧米の景気減速といった問題も浮上してきていることから、中小企業における景況感はやや厳しいものとなってきている。

市内中小企業においては、顧客のニーズを追求した商品展開、新たな得意先の確保やサービスの向上といった営業努力により、今後の景況については上向きを予測する声が聞かれ、製造業、非製造業ともに企業景気 DI の来期見通しは若干ながら改善した。しかしながら、一部で「得意先の生産活動が停滞したままで受注が不安定」（右京区／化学）、「一般消費はまだまだ厳しいと思われる」（伏見区／サービス）、「10 月以降も繰越案件があるが、先行きは不透明」（右京区／建設）と、厳しい見通しのあるのも事実である。また、前回と同様、設備投資 DI の来期見通しも 10 ポイント台にとどまっていることから、景気回復については流動的であり、楽観視はできない。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は4業種であり、いずれも低下と予測している業種も4業種となった。

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
飲食・宿泊	37.9 (△ 10.6)	38.7 (△ 9.7)	33.9 (△ 9.7)
印刷	53.8 (△ 7.6)	53.8 (△ 7.6)	42.3 (△ 0.3)
西陣	34.8 (△ 6.5)	28.3 (△ 4.4)	34.1 (△ 2.3)
その他の製造	50.6 (△ 4.8)	52.4 (△ 6.0)	45.7 (△ 2.3)
<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
金属	52.3 (▼ 11.3)	52.3 (▼ 9.6)	50.0 (▼ 15.9)
化学	60.7 (▼ 10.7)	60.7 (▼ 10.7)	67.9 (▼ 3.5)
情報通信	42.6 (▼ 5.5)	48.1 (▼ 1.9)	44.0 (▼ 0.2)
機械	60.0 (▼ 2.0)	56.3 (▼ 6.2)	56.3 (▼ 2.0)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。△は上昇、▼は低下を示す。）

・主要3指標DI業種別推移（前期／今期／来期見通し）

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
全業種	43.4	42.1	43.1	42.8	41.9	43.5	40.1	40.7	39.9
製造業	49.2	46.7	47.7	49.0	45.2	47.5	47.4	46.2	44.1
非製造業	37.8	37.9	38.9	36.3	38.5	39.4	33.0	35.6	36.0

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
製造業	49.2	46.7	47.7	49.0	45.2	47.5	47.4	46.2	44.1
西陣	30.8	28.3	34.8	30.0	23.9	28.3	28.0	31.8	34.1
染色	25.0	31.3	28.1	22.9	25.0	29.0	30.0	34.4	25.8
印刷	64.8	46.2	53.8	63.0	46.2	53.8	51.9	42.0	42.3
窯業	34.2	41.7	44.4	31.6	38.2	44.1	36.8	43.8	40.6
化学	76.5	71.4	60.7	76.5	71.4	60.7	70.6	71.4	67.9
金属	73.8	63.6	52.3	73.8	61.9	52.3	69.0	65.9	50.0
機械	65.5	62.0	60.0	63.8	62.5	56.3	62.1	58.3	56.3
その他の製造	46.1	45.8	50.6	48.0	46.4	52.4	45.9	43.4	45.7
非製造業	37.8	37.9	38.9	36.3	38.5	39.4	33.0	35.6	36.0
卸売	43.3	47.8	46.3	43.8	46.8	46.8	36.4	49.2	46.9
小売	30.8	35.5	35.5	30.4	35.6	31.4	25.9	27.3	27.4
情報通信	45.7	48.1	42.6	43.2	50.0	48.1	43.2	44.2	44.0
飲食・宿泊	41.1	27.3	37.9	41.1	29.0	38.7	35.2	24.2	33.9
サービス	37.8	30.0	33.0	32.4	35.7	36.4	36.4	34.0	33.3
建設	31.4	36.5	36.8	27.3	30.9	34.8	25.7	29.2	28.6
観光関連企業	48.8	34.8	39.1	45.0	34.5	41.7	39.7	33.0	31.4

・設備投資DI推移（前期／今期／来期見通し）

	設備投資DI		
	前期	今期	来期見通し
製造業	13.7	18.4	16.6

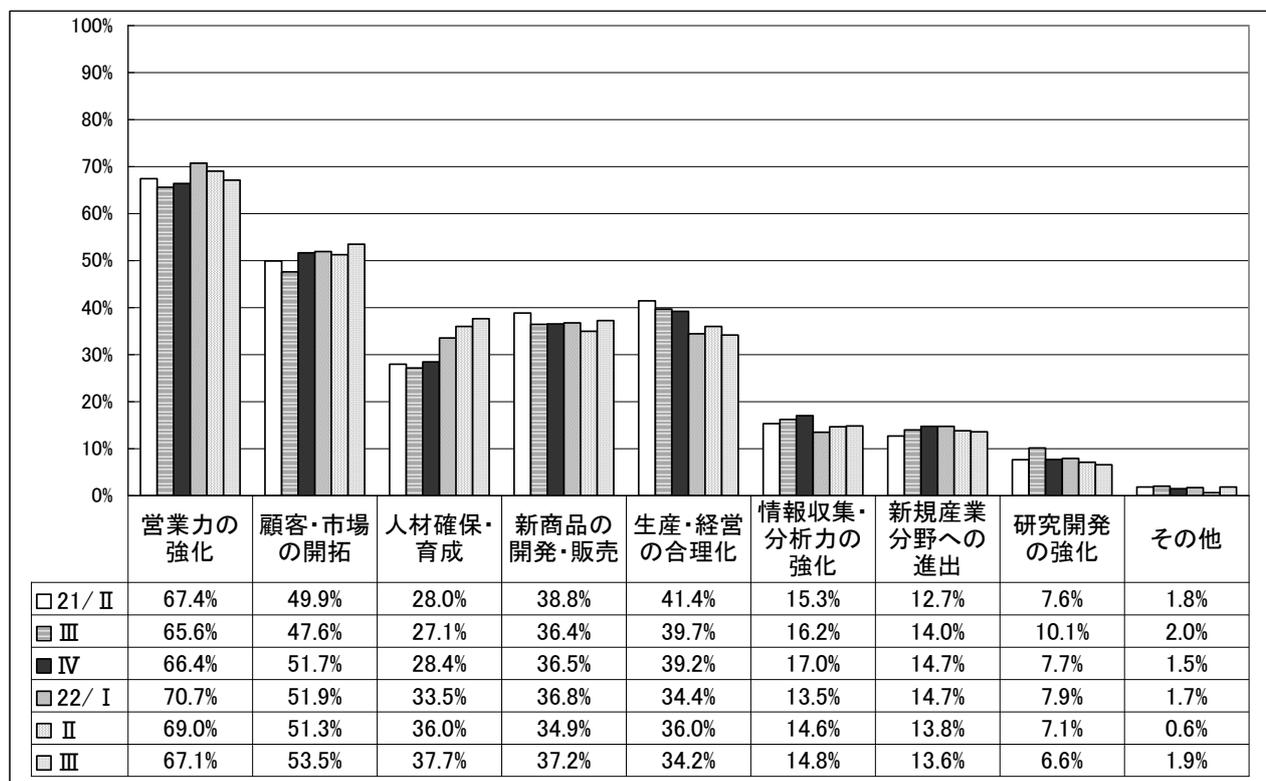
2. 当面の経営戦略について

●「営業力の強化」を挙げる企業が67.1%で引き続きトップ。

当面の経営戦略としては、「営業力の強化」を挙げる企業が全体の67.1%を占め、最も多くなっている。以下、「顧客・市場の開拓」53.5%、「人材確保・育成」37.7%、「新商品の開発・販売」37.2%、「生産・経営の合理化」34.2%の順となっている。

前期と比較すると、「新製品の開発・販売」と「生産・経営の合理化」の順位が逆転したものの、回答数上位5項目の内容に変動はなかった。上位1位の「営業力の強化」は2期連続の減少となっており、一方、「人材確保・育成」については4期連続の増加となっている。業種別に見たところ、印刷および機械の「営業力の強化」が他業種と比して高く（順に88.5%、84.0%）、営業を強化することで拡販に取り組む姿勢が窺える。

その他の意見としては、「経費減」（右京区／小売）、「打つ手なし」（東山区／窯業）といった厳しい意見も見られたが、「産・官・学の連携による新分野の創出」（南区／機械）や「小売強化」（上京区／卸売）、「営業所の新設」（南区／機械）といった、新産業への進出・拡大、設備の拡充計画などが挙げられていた。



注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

3. 経営上の不安要素について

● 「売上不振」を挙げる企業が、3期連続減ではあるものの、60.7%で依然トップ。

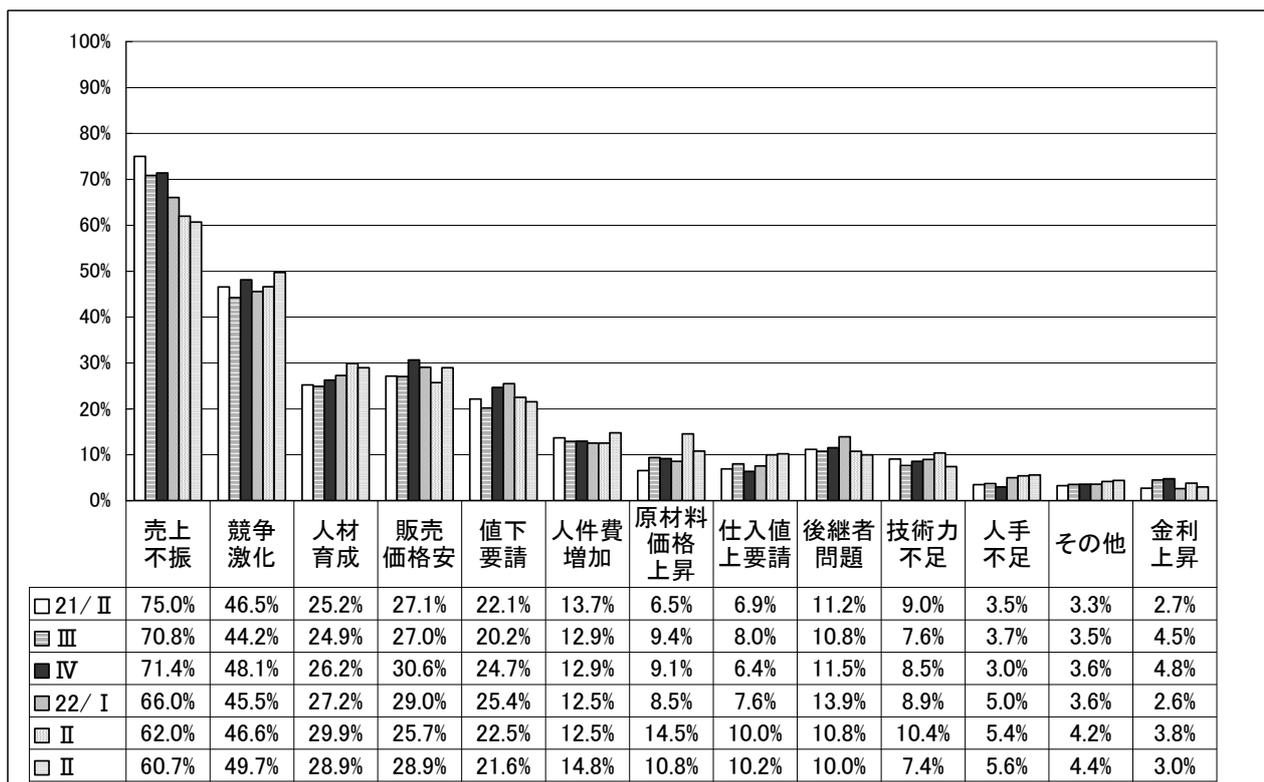
経営上の不安要素としては、「売上不振」を挙げる企業が60.7%を占めており、「競争激化」49.7%が続いている。以下、「人材育成」及び「販売価格安」28.9%、「値下要請」21.6%の順となっている。

前期と比較すると、回答数上位5項目の順位には変更がなかった。増加率が高かったのは、4位の「販売価格安」の3.2ポイント増であり、続いて2位の「競争激化」が3.1ポイント増となっている。一方、減少率が高かったのは、前回大きく増加した「原材料価格上昇」であり、3.7ポイントの減少となっている。

業種別に見たところ、全体と同様に「売上不振」を挙げる業種が最も多かったものの、印刷及びその他の製造、建設では「競争激化」の比率が最も高く、機械では、「売上不振」と「競争激化」が拮抗している。また、情報通信では「人材育成」との回答が55.6%と、他業種に比して高い結果となった。

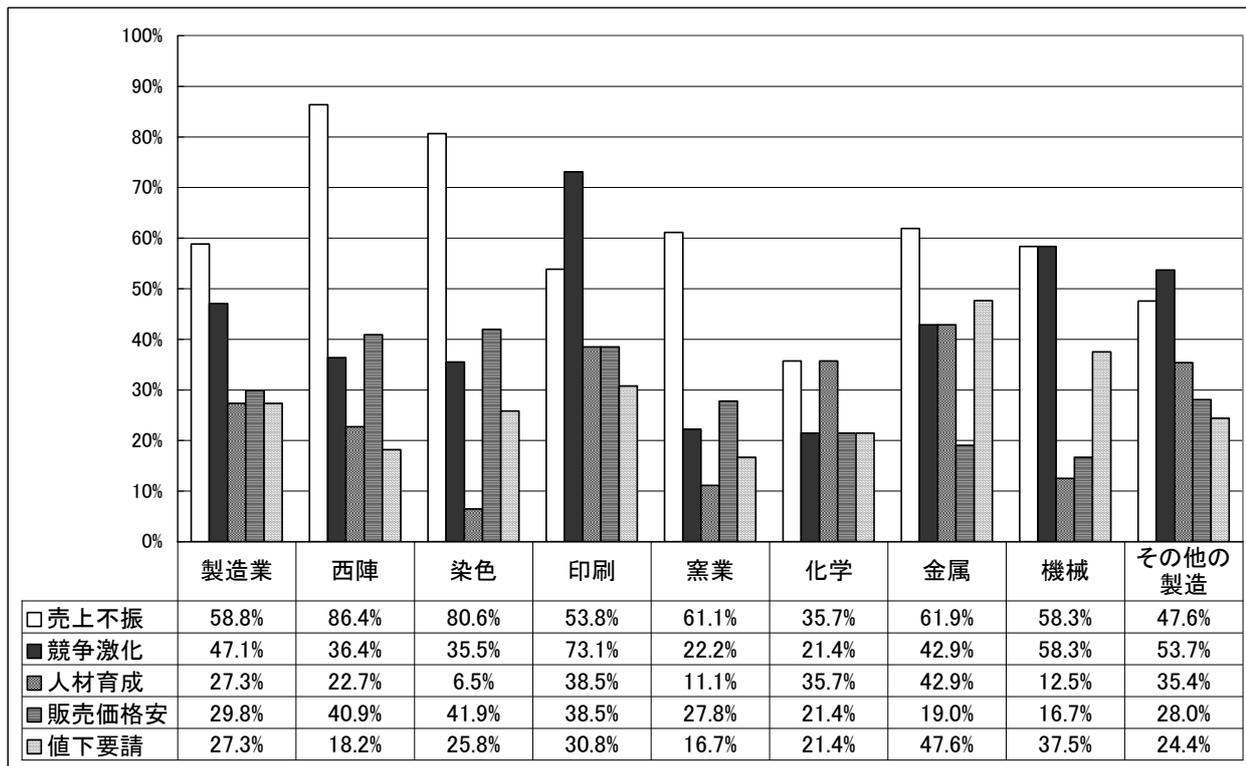
なお、「原材料価格上昇」については、回答のあった33件の内、紙やインク、綿や羽毛などの素材関連が8件で全体の4分の1弱を占めており、食品関連が7件、燃料・原油価格との回答が6件となっている。また、中国における原材料、生産品などの価格高騰との回答も3件あった。

その他の意見としては、回答のあった21件の内、為替（円高）の動きや資金繰りに関する回答が計6件で最も多く見られ、続いて「顧客の海外シフト」が3件、「設備の老朽化」が2件挙げられていた。他には「加工先廃業による商品生産難」（下京区／卸売）、「部品入手難」（伏見区／機械）、「特に中国における縫製工場の確保」（左京区／卸売）などといった、生産委託先等の確保に苦慮する意見なども挙げられていた。

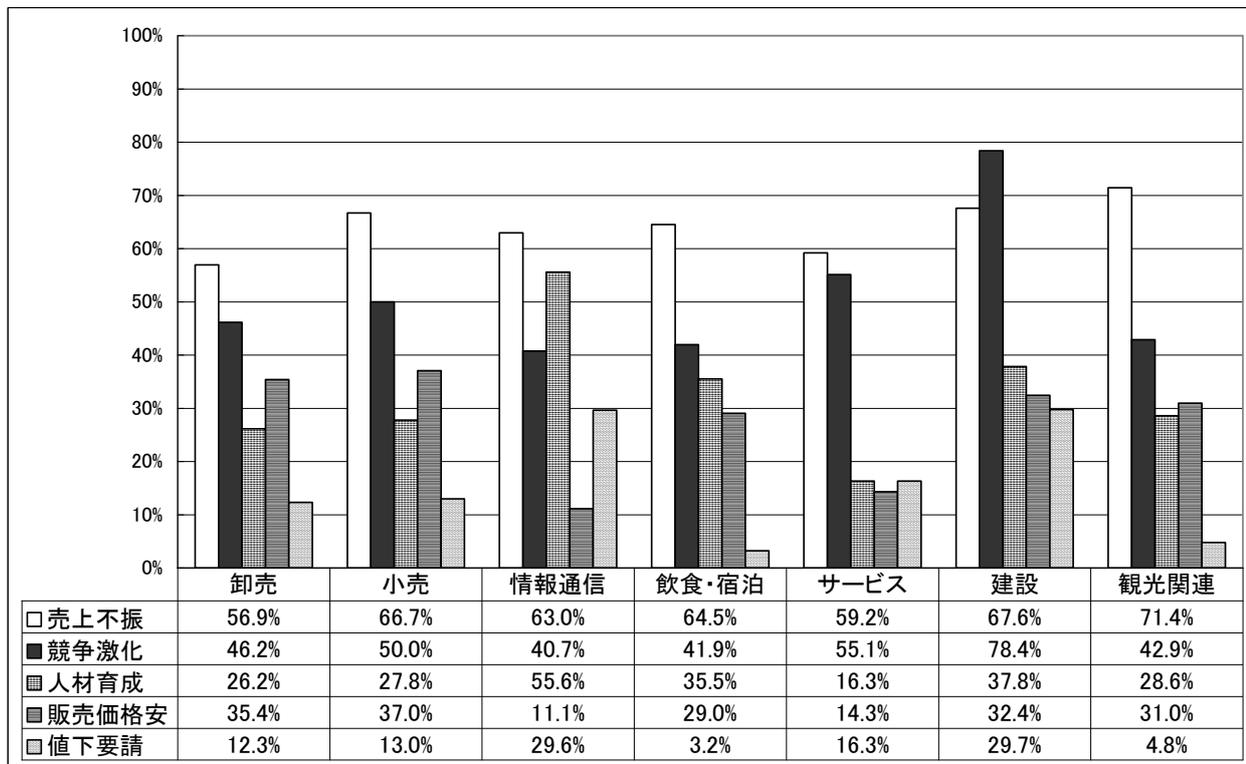


この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

・経営上の不安要素・製造業主要回答

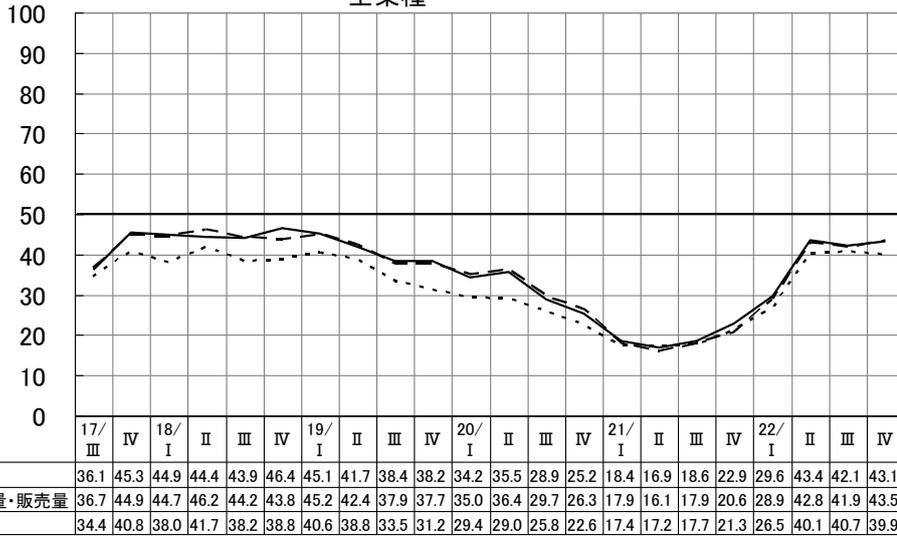


・経営上の不安要素・非製造業主要回答



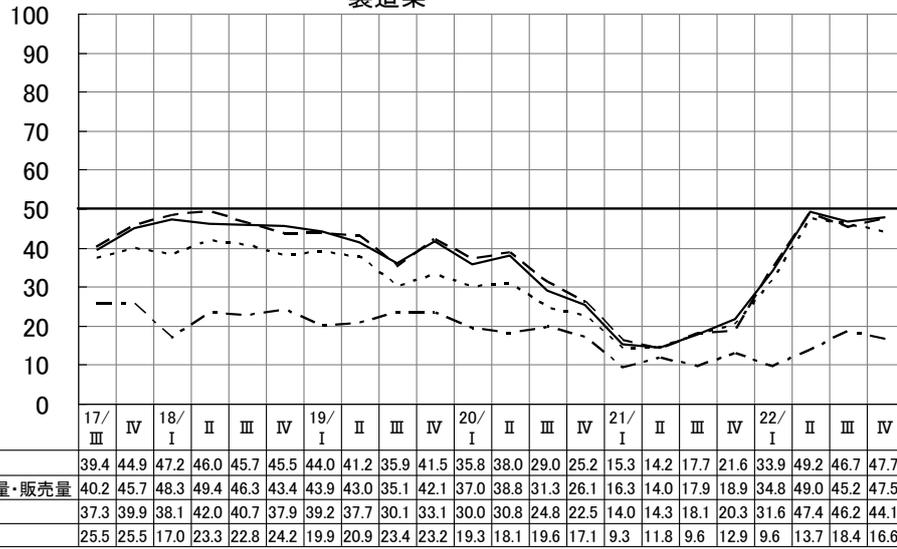
参考1：業種別主要3指標DI推移 ※製造業は、設備投資DIを含む。

全業種



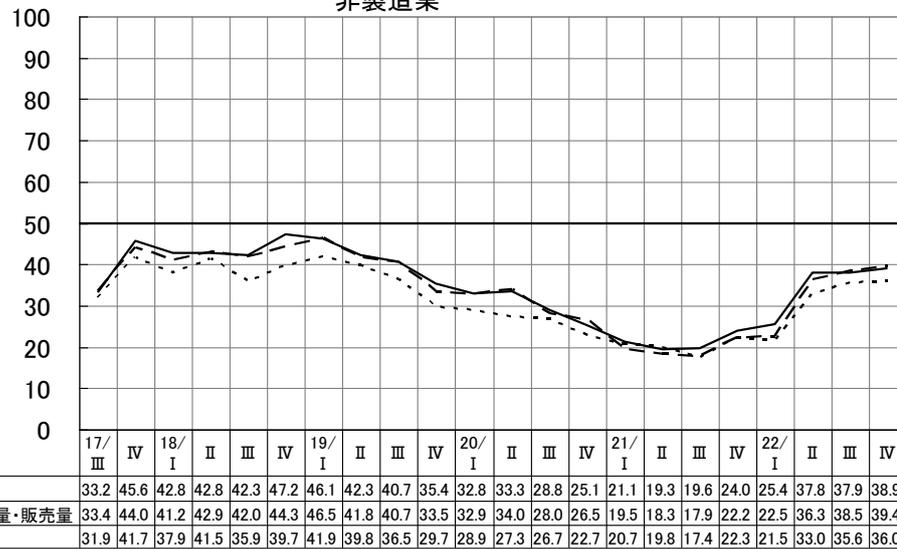
(見通し)

製造業



(見通し)

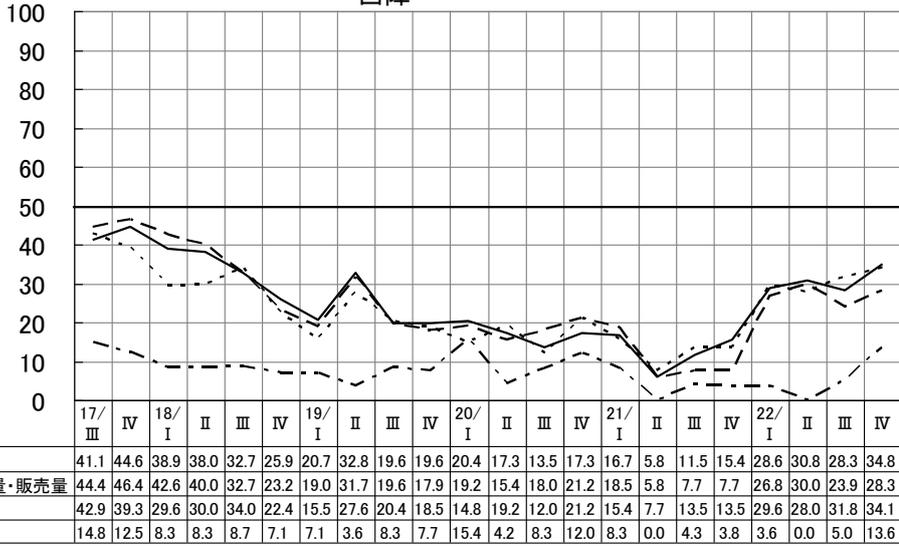
非製造業



(見通し)

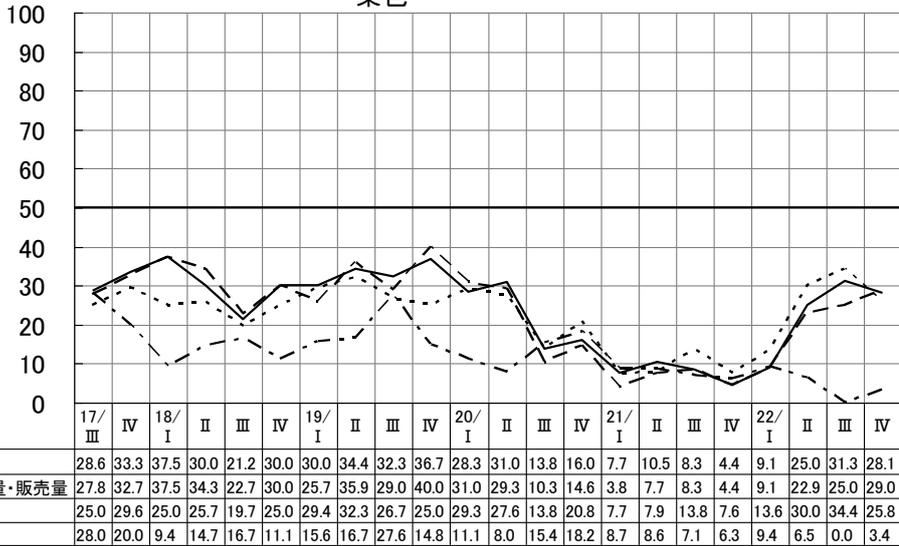
参考2：業種別主要3指標DI・設備投資DI推移

西陣



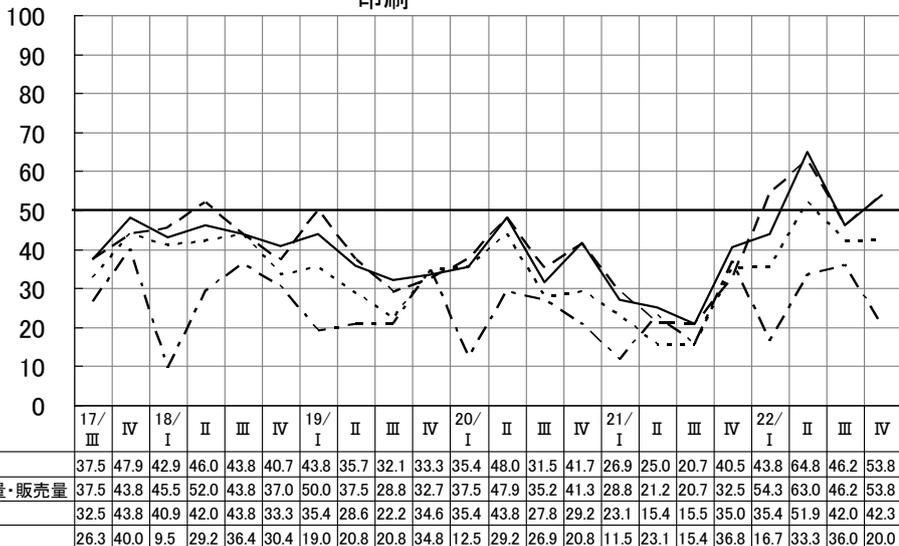
(見通し)

染色



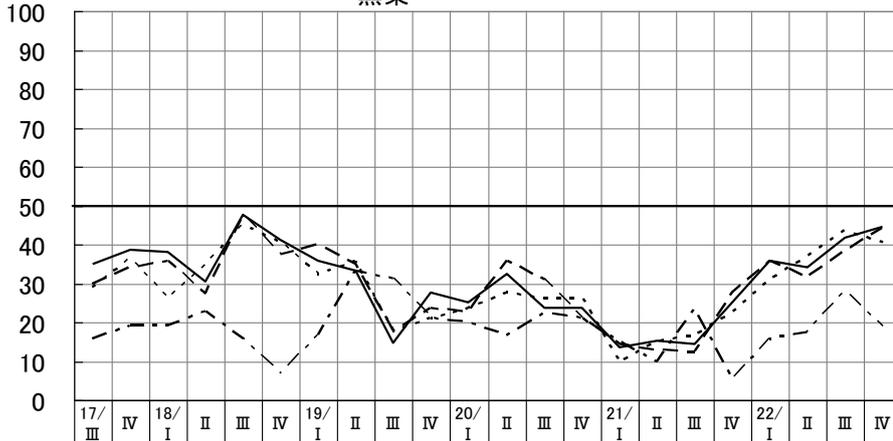
(見通し)

印刷



(見通し)

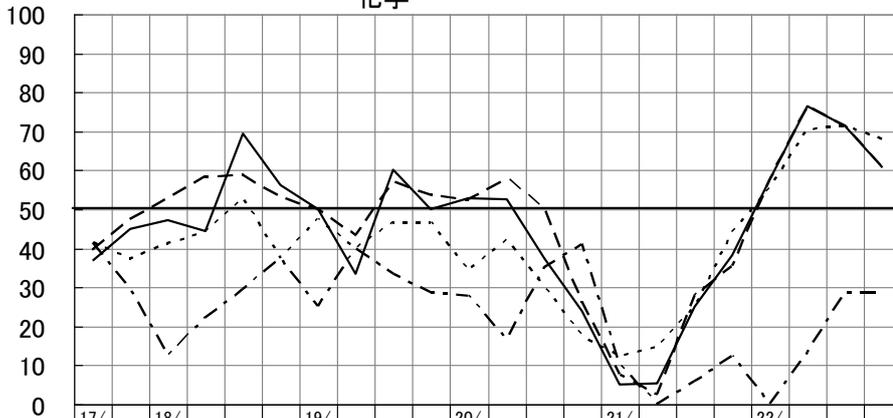
窯業



	17/III	IV	18/I	II	III	IV	19/I	II	III	IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV
— 企業景気	35.0	38.6	38.1	30.4	47.6	41.2	35.7	33.3	14.7	27.5	25.0	32.5	23.8	23.7	13.6	15.2	14.3	25.0	35.7	34.2	41.7	44.4
- - 生産加工量・販売量	30.0	34.1	35.7	27.3	47.5	37.5	40.0	35.0	17.6	23.7	22.7	35.7	31.0	21.1	14.3	13.0	12.5	27.5	35.7	31.6	38.2	44.1
- - - 経常利益	28.9	36.4	26.2	34.8	45.0	40.6	32.5	35.7	17.6	21.1	23.8	27.5	26.2	26.3	9.5	15.2	16.7	22.5	31.0	36.8	43.8	40.6
- . - 設備投資	15.8	19.0	19.0	22.7	15.8	6.7	16.7	33.3	31.3	21.1	20.0	16.7	22.5	21.1	15.0	10.0	23.5	5.3	15.8	17.6	27.8	18.8

(見通し)

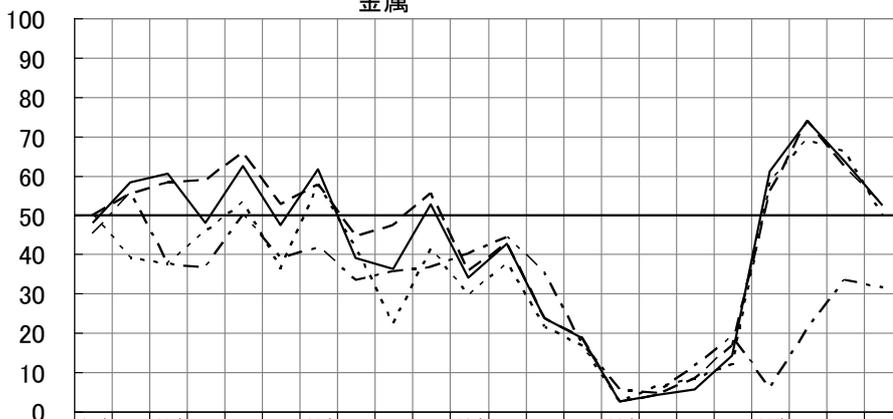
化学



	17/III	IV	18/I	II	III	IV	19/I	II	III	IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV
— 企業景気	36.8	45.0	47.1	44.4	69.4	56.3	50.0	33.3	60.0	50.0	52.8	52.6	37.5	23.9	5.0	5.3	25.0	38.2	57.5	76.5	71.4	60.7
- - 生産加工量・販売量	39.5	47.5	52.9	58.3	58.8	53.1	50.0	43.3	57.1	53.6	52.6	57.9	50.0	26.1	7.5	2.6	27.8	35.3	57.5	76.5	71.4	60.7
- - - 経常利益	41.7	37.5	41.2	44.1	52.8	37.5	47.5	40.0	46.7	46.7	34.2	42.1	30.0	17.5	12.5	14.7	25.0	44.1	55.3	70.6	71.4	67.9
- . - 設備投資	41.2	29.4	12.5	22.2	29.4	37.5	25.0	40.0	33.3	28.6	27.8	16.7	35.0	40.9	10.0	0.0	5.9	12.5	0.0	13.3	28.6	28.6

(見通し)

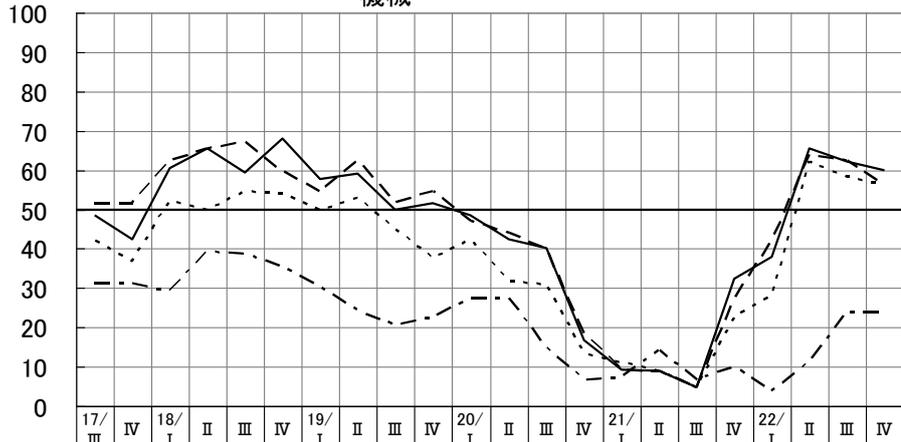
金属



	17/III	IV	18/I	II	III	IV	19/I	II	III	IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV
— 企業景気	47.8	58.3	60.4	47.8	62.5	47.4	61.5	38.9	36.1	52.6	34.1	42.5	23.8	18.8	2.6	4.3	5.6	14.3	61.1	73.8	63.6	52.3
- - 生産加工量・販売量	50.0	55.6	58.3	58.7	65.6	52.6	57.7	44.4	47.2	55.3	35.7	42.5	23.8	18.8	2.6	4.3	8.3	16.7	55.6	73.8	61.9	52.3
- - - 経常利益	50.0	38.9	37.5	45.7	53.1	36.1	57.7	41.7	22.2	41.2	29.5	37.5	21.4	16.7	2.6	6.5	8.3	11.9	58.3	69.0	65.9	50.0
- . - 設備投資	45.0	55.6	37.5	36.4	50.0	38.9	41.7	33.3	35.7	36.8	40.0	44.4	35.0	17.4	5.6	4.8	11.8	19.0	5.9	21.1	33.3	31.6

(見通し)

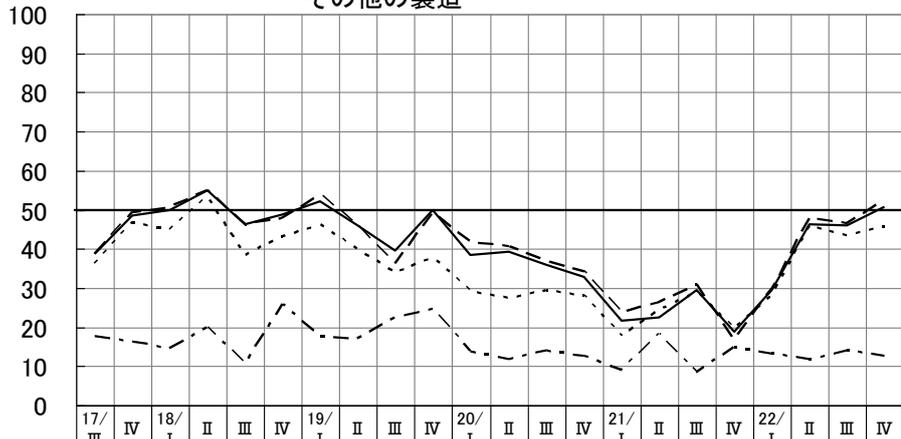
機械



	17/III	IV	18/I	II	III	IV	19/I	II	III	IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV
— 企業景気	48.4	42.4	60.4	65.5	59.4	68.1	57.6	59.1	50.0	51.6	48.5	42.4	40.0	16.7	9.3	8.9	4.7	32.3	38.0	65.5	62.0	60.0
- - 生産加工量・販売量	51.6	51.5	62.5	65.5	67.2	59.7	54.7	62.5	51.7	54.7	47.1	43.9	39.7	18.3	9.3	8.9	4.7	27.4	42.0	63.8	62.5	56.3
- - - 経常利益	42.2	36.8	52.1	50.0	54.7	54.2	50.0	53.0	44.8	37.5	42.4	31.8	31.0	13.3	11.1	8.9	4.7	22.6	28.0	62.1	58.3	56.3
- . - 設備投資	31.3	31.3	29.2	39.3	38.7	35.3	30.3	24.2	20.7	22.6	27.3	27.3	14.8	6.7	7.4	14.3	6.7	10.0	4.0	11.1	24.0	24.0

(見通し)

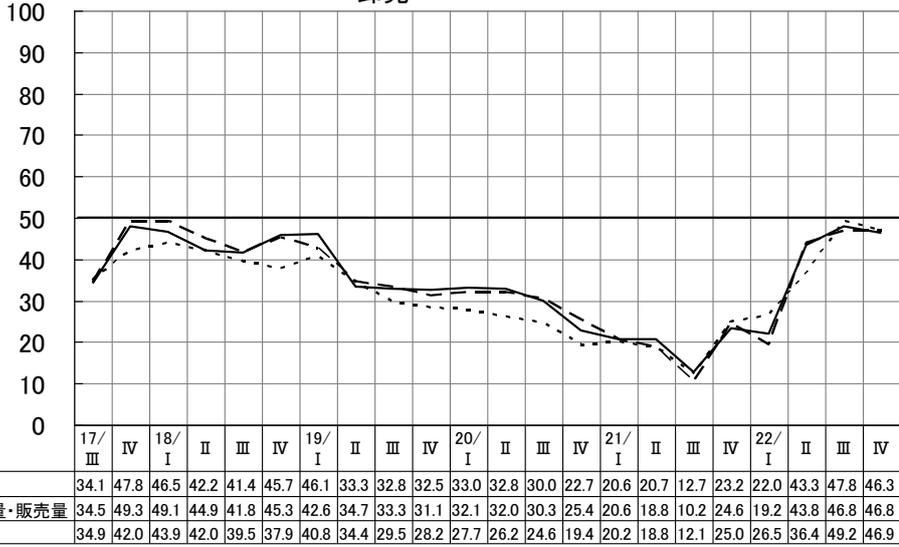
その他の製造



	17/III	IV	18/I	II	III	IV	19/I	II	III	IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV
— 企業景気	38.5	48.5	50.0	55.0	46.2	48.6	52.2	45.9	39.4	50.0	38.4	39.3	35.9	32.8	21.6	22.5	29.5	18.9	29.4	46.1	45.8	50.6
- - 生産加工量・販売量	38.5	49.2	50.7	55.0	46.1	47.9	53.8	45.9	36.0	49.3	41.7	40.7	37.0	34.3	23.8	26.4	30.8	16.7	29.7	48.0	46.4	52.4
- - - 経常利益	36.1	46.9	44.9	53.3	38.3	43.1	46.3	39.7	33.8	37.7	29.2	27.5	29.3	28.0	17.7	24.3	28.8	19.7	28.1	45.9	43.4	45.7
- . - 設備投資	17.5	16.4	14.5	20.0	10.5	25.8	17.7	17.2	22.4	24.6	13.8	11.9	14.1	12.7	9.0	18.2	8.5	14.8	13.2	11.9	14.1	12.7

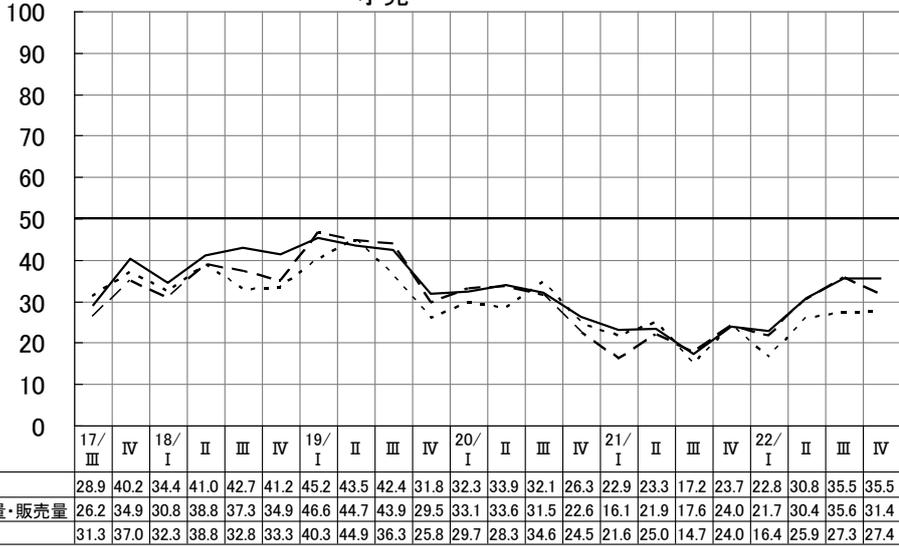
(見通し)

卸売



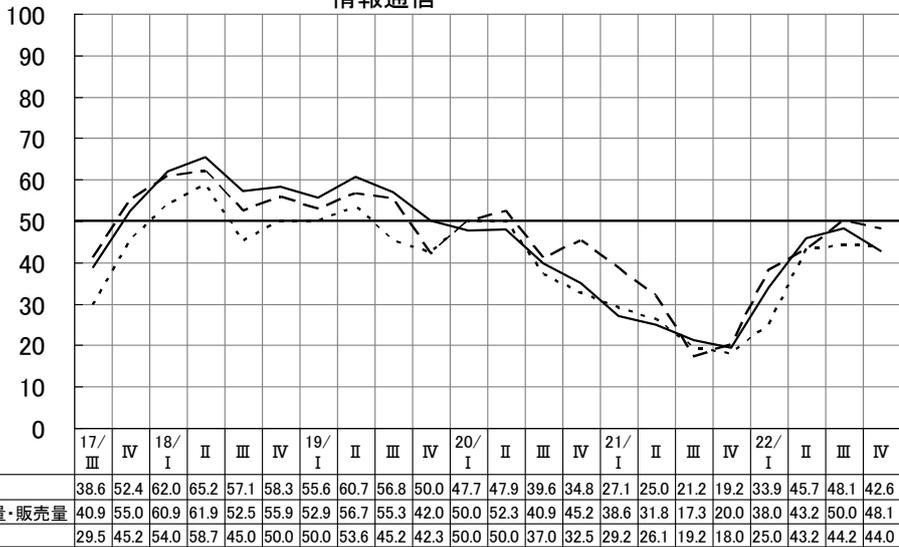
(見通し)

小売



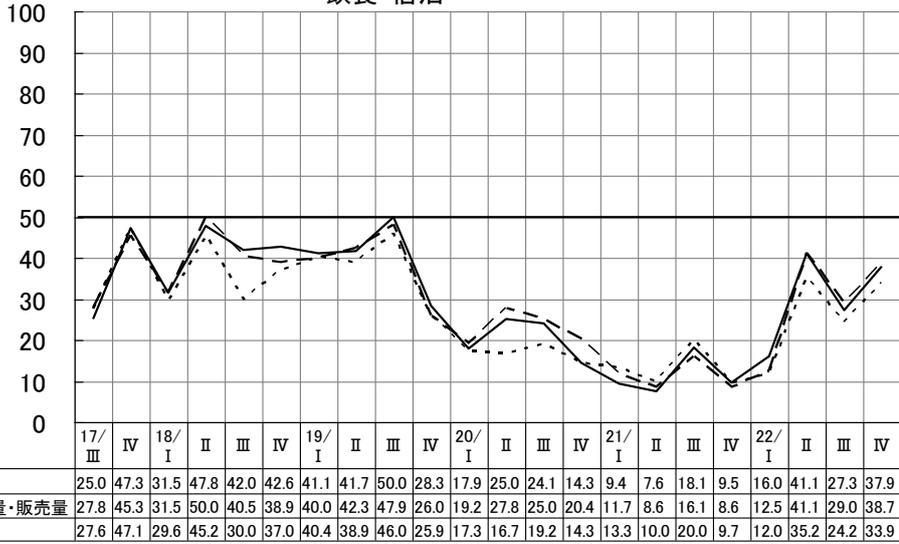
(見通し)

情報通信



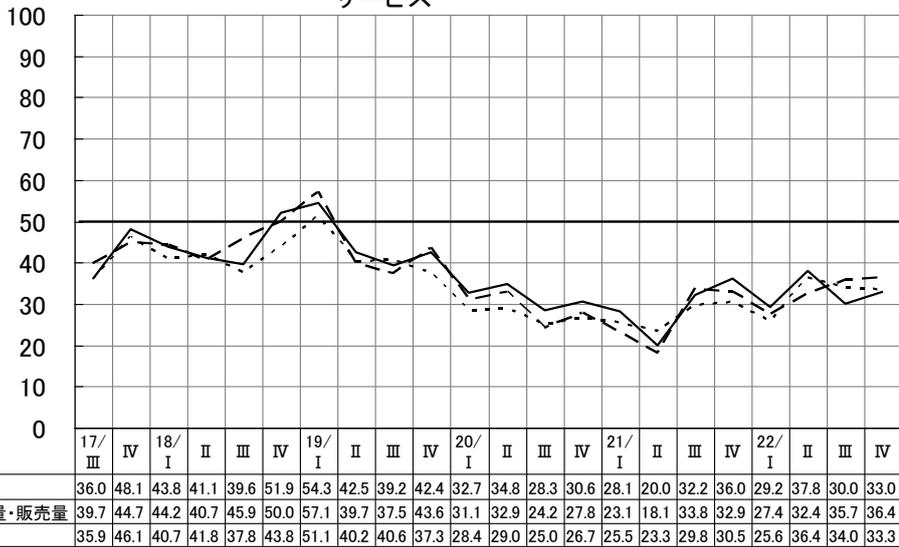
(見通し)

飲食・宿泊



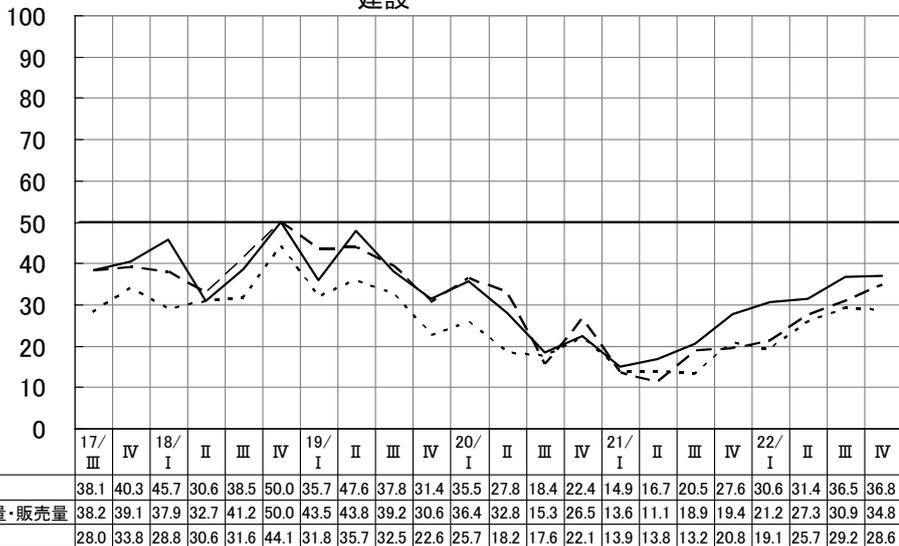
(見通し)

サービス



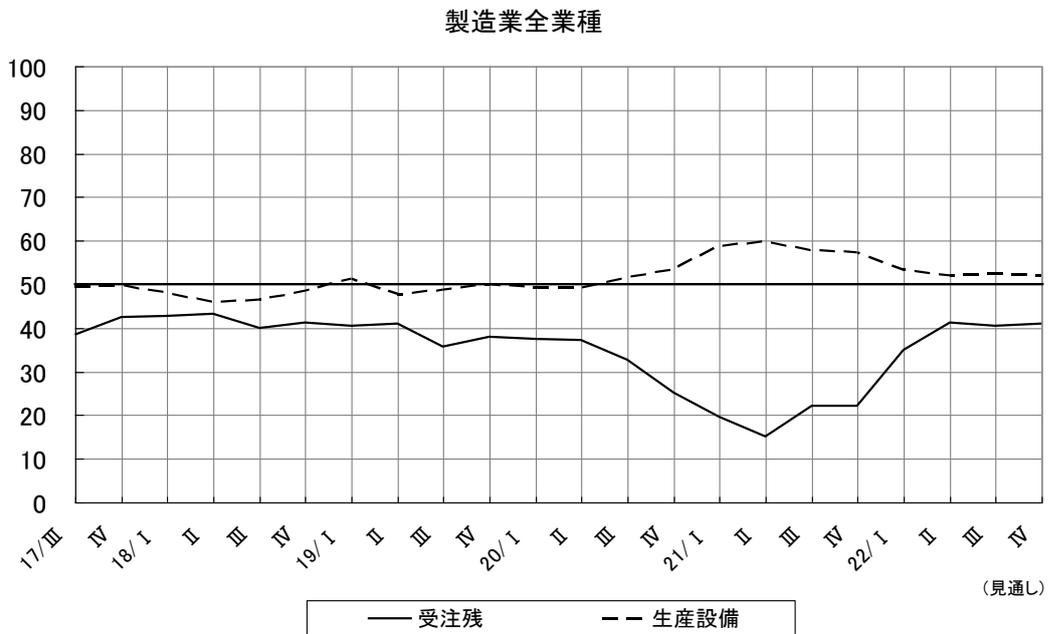
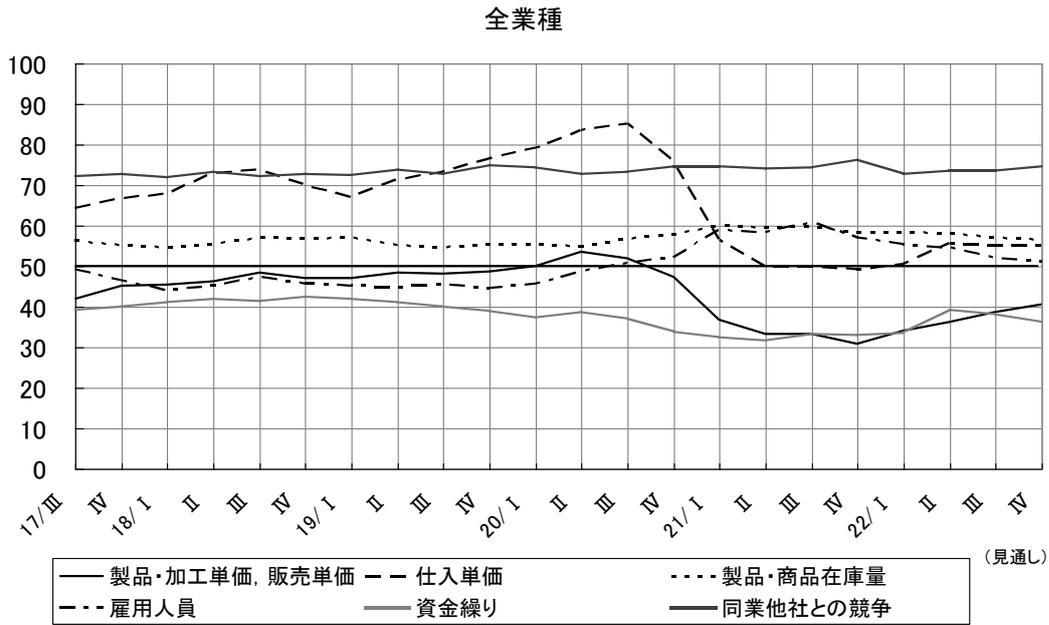
(見通し)

建設

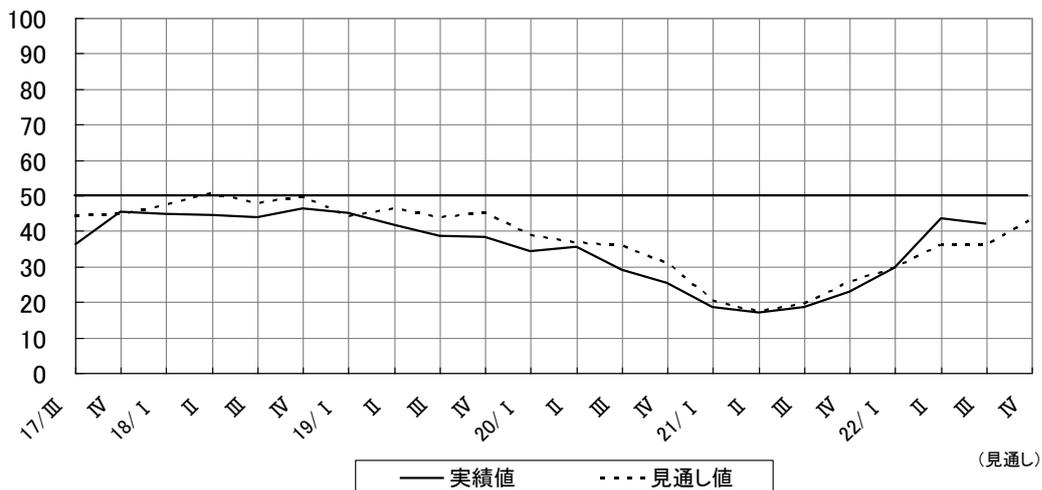


(見通し)

参考3：業種別主要3指標以外のDI推移



参考4：企業景気DIの予測値と実績値の比較



調査結果詳細

(1) 景気動向について.....	17
企業景気.....	17
生産加工量・販売量.....	19
経常利益.....	21
製品・加工単価, 販売単価.....	23
仕入単価.....	25
製品・商品在庫量.....	27
雇用人員.....	29
資金繰り.....	31
同業他社との競争.....	33
受注残.....	35
生産設備.....	36
設備投資.....	37
(2) 当面の経営戦略について.....	38
(3) 経営上の不安要素について.....	47
参考：分野ごとの調査票回収状況.....	57

注記：各項の表について

- ・ 「▼」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが低下していることを示す。
- ・ 「観光関連」とは、観光関係の売上げが25%以上の企業群を意味する。

(1) 景気動向について

1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移 (全体)

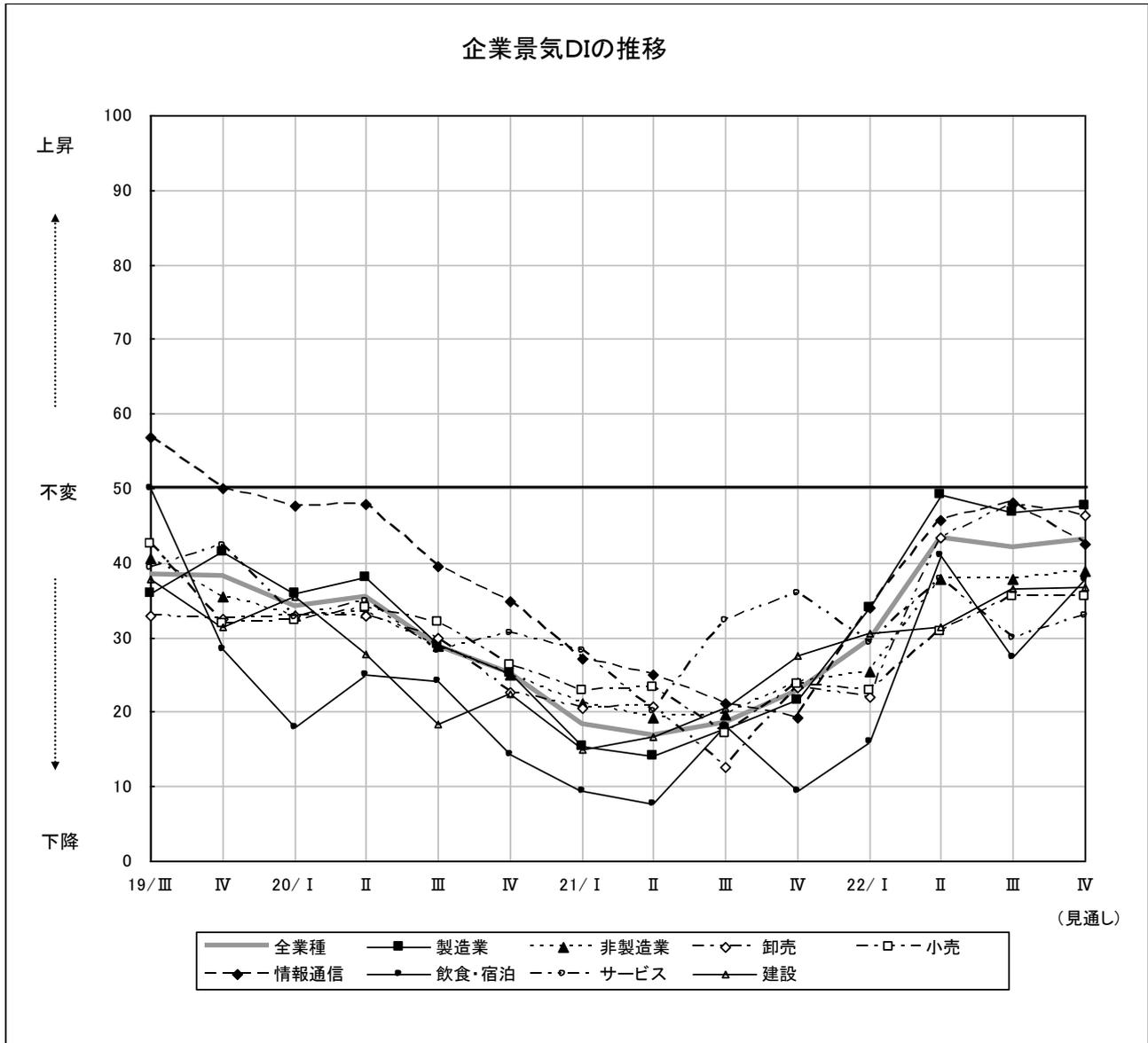


図2. 企業景気DIの推移（製造業）

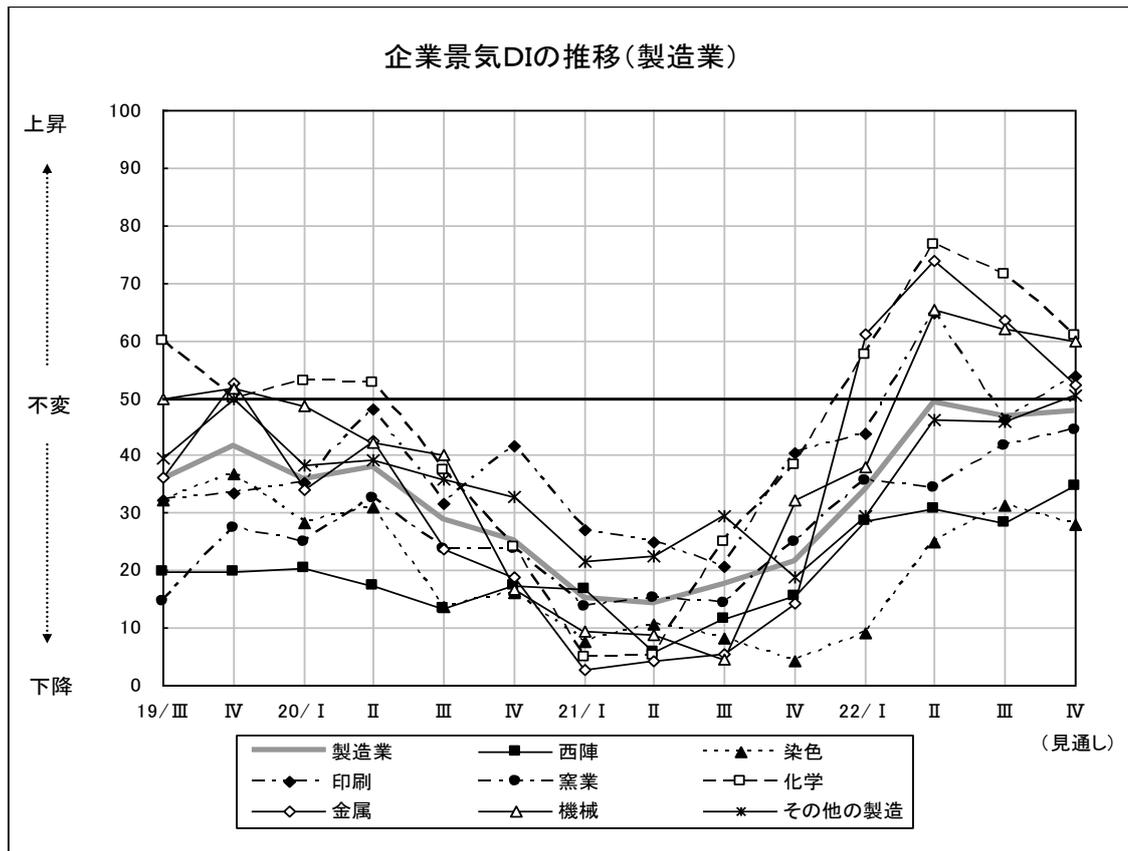


表1. 企業景気DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
		前期比		前期比	
全業種	43.4	42.1	▼ 1.3	43.1	1.0
製造業	49.2	46.7	▼ 2.5	47.7	1.0
西陣	30.8	28.3	▼ 2.5	34.8	6.5
染色	25.0	31.3	▲ 6.3	28.1	▼ 3.2
印刷	64.8	46.2	▼ 18.6	53.8	7.6
窯業	34.2	41.7	▲ 7.5	44.4	2.7
化学	76.5	71.4	▼ 5.1	60.7	▼ 10.7
金属	73.8	63.6	▼ 10.2	52.3	▼ 11.3
機械	65.5	62.0	▼ 3.5	60.0	▼ 2.0
その他の製造	46.1	45.8	▼ 0.3	50.6	4.8
非製造業	37.8	37.9	▲ 0.1	38.9	1.0
卸売	43.3	47.8	▲ 4.5	46.3	▼ 1.5
小売	30.8	35.5	▲ 4.7	35.5	0.0
情報通信	45.7	48.1	▲ 2.4	42.6	▼ 5.5
飲食・宿泊	41.1	27.3	▼ 13.8	37.9	10.6
サービス	37.8	30.0	▼ 7.8	33.0	3.0
建設	31.4	36.5	▲ 5.1	36.8	0.3
観光関連	48.8	34.8	▼ 14.0	39.1	4.3

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移（全体）

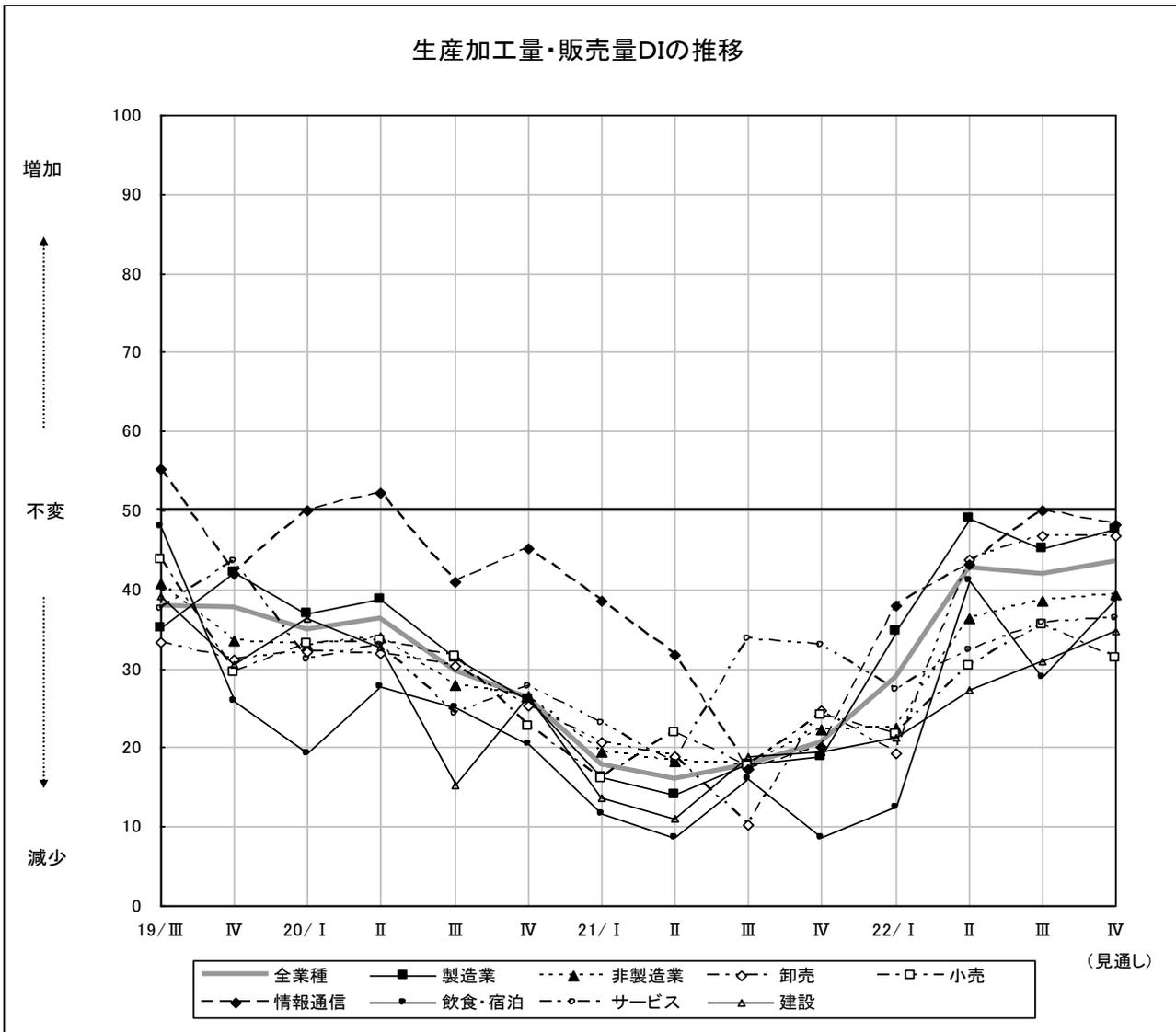


図4. 生産加工量・販売量DIの推移（製造業）

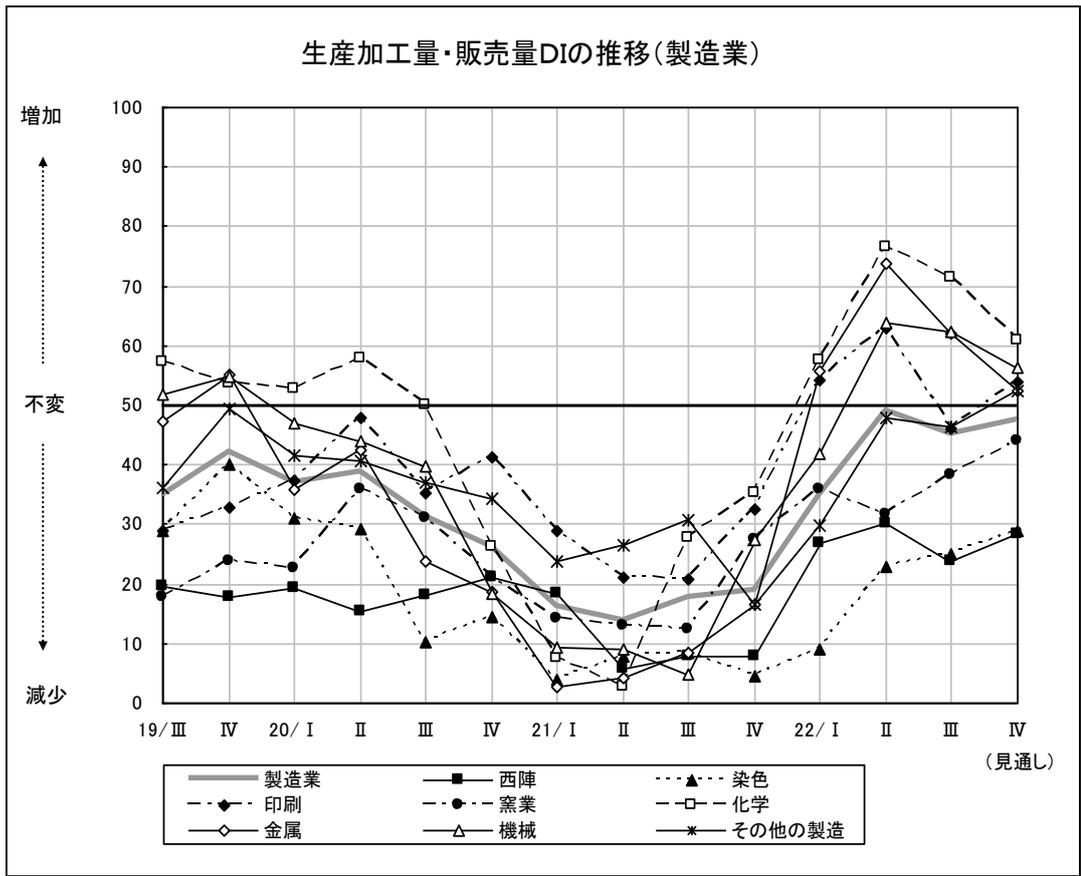


表2. 生産加工量・販売量DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	42.8	41.9	▼ 0.9	43.5	1.6
製造業	49.0	45.2	▼ 3.8	47.5	2.3
西陣	30.0	23.9	▼ 6.1	28.3	4.4
染色	22.9	25.0	2.1	29.0	4.0
印刷	63.0	46.2	▼ 16.8	53.8	7.6
窯業	31.6	38.2	6.6	44.1	5.9
化学	76.5	71.4	▼ 5.1	60.7	▼ 10.7
金属	73.8	61.9	▼ 11.9	52.3	▼ 9.6
機械	63.8	62.5	▼ 1.3	56.3	▼ 6.2
その他の製造	48.0	46.4	▼ 1.6	52.4	6.0
非製造業	36.3	38.5	2.2	39.4	0.9
卸売	43.8	46.8	3.0	46.8	0.0
小売	30.4	35.6	5.2	31.4	▼ 4.2
情報通信	43.2	50.0	6.8	48.1	▼ 1.9
飲食・宿泊	41.1	29.0	▼ 12.1	38.7	9.7
サービス	32.4	35.7	3.3	36.4	0.7
建設	27.3	30.9	3.6	34.8	3.9
観光関連	45.0	34.5	▼ 10.5	41.7	7.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移 (全体)

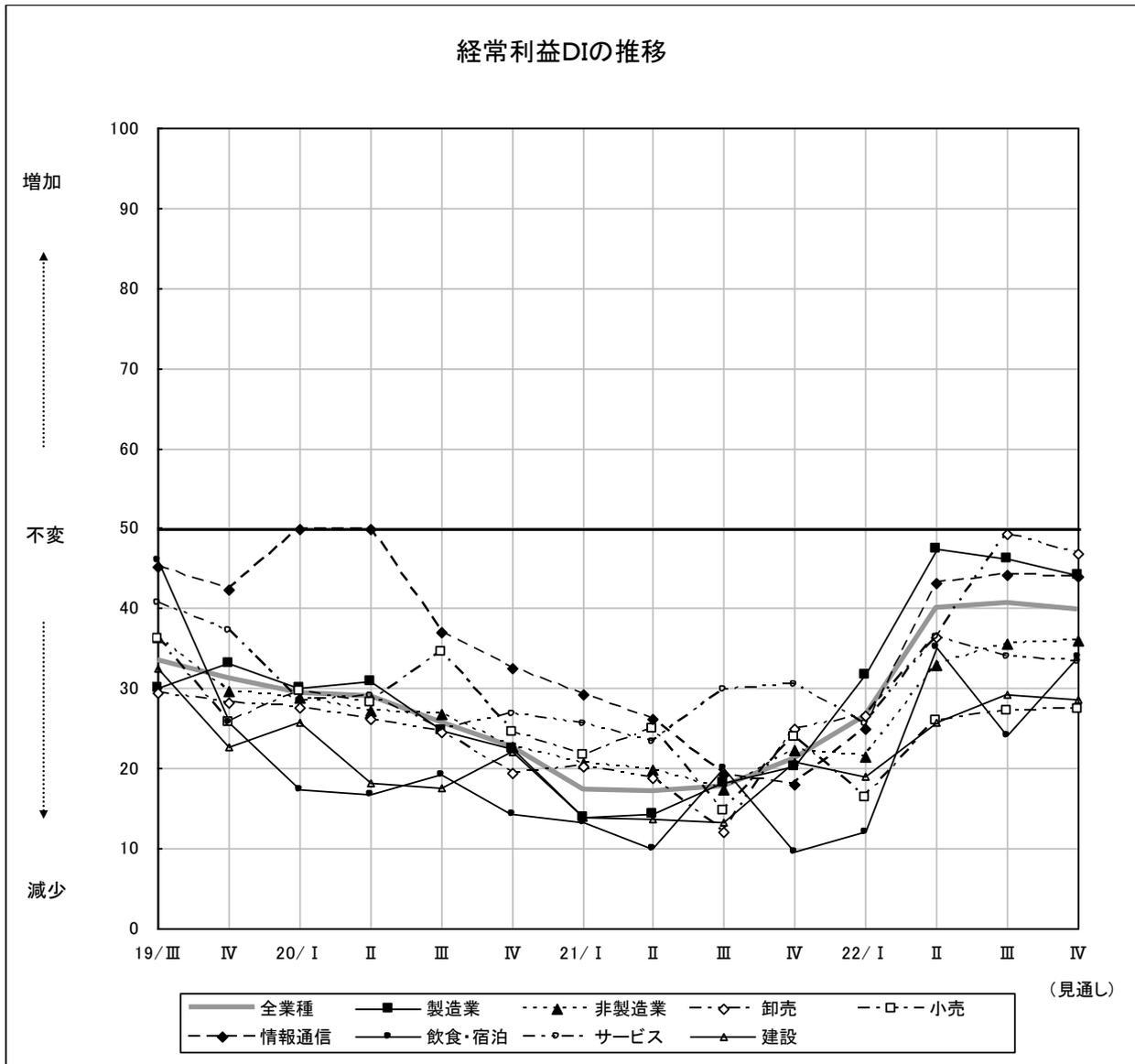


図6. 経常利益DIの推移（製造業）

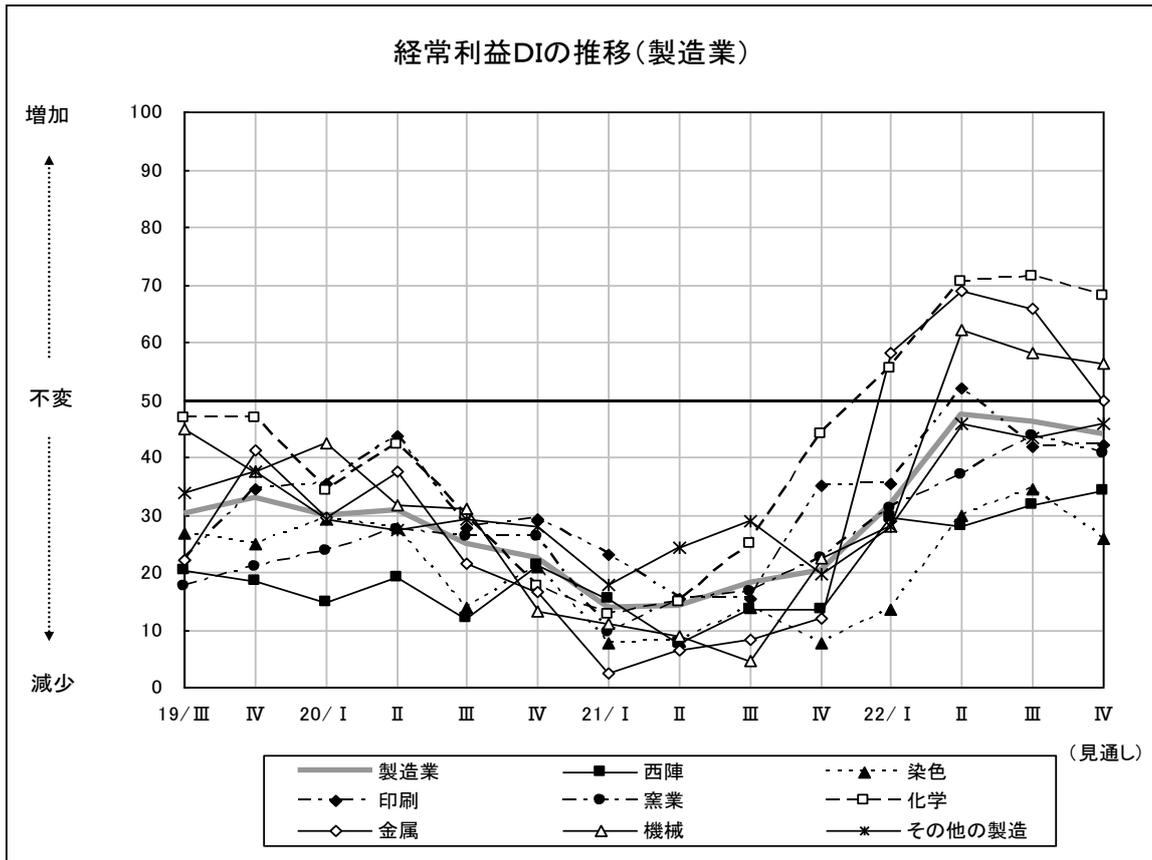


表3. 経常利益DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	40.1	40.7	0.6	39.9	▼ 0.8
製造業	47.4	46.2	▼ 1.2	44.1	▼ 2.1
西陣	28.0	31.8	3.8	34.1	2.3
染色	30.0	34.4	4.4	25.8	▼ 8.6
印刷	51.9	42.0	▼ 9.9	42.3	0.3
窯業	36.8	43.8	7.0	40.6	▼ 3.2
化学	70.6	71.4	0.8	67.9	▼ 3.5
金属	69.0	65.9	▼ 3.1	50.0	▼ 15.9
機械	62.1	58.3	▼ 3.8	56.3	▼ 2.0
その他の製造	45.9	43.4	▼ 2.5	45.7	2.3
非製造業	33.0	35.6	2.6	36.0	0.4
卸売	36.4	49.2	12.8	46.9	▼ 2.3
小売	25.9	27.3	1.4	27.4	0.1
情報通信	43.2	44.2	1.0	44.0	▼ 0.2
飲食・宿泊	35.2	24.2	▼ 11.0	33.9	9.7
サービス	36.4	34.0	▼ 2.4	33.3	▼ 0.7
建設	25.7	29.2	3.5	28.6	▼ 0.6
観光関連	39.7	33.0	▼ 6.7	31.4	▼ 1.6

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

4. 製品・加工単価, 販売単価

図7. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (全体)

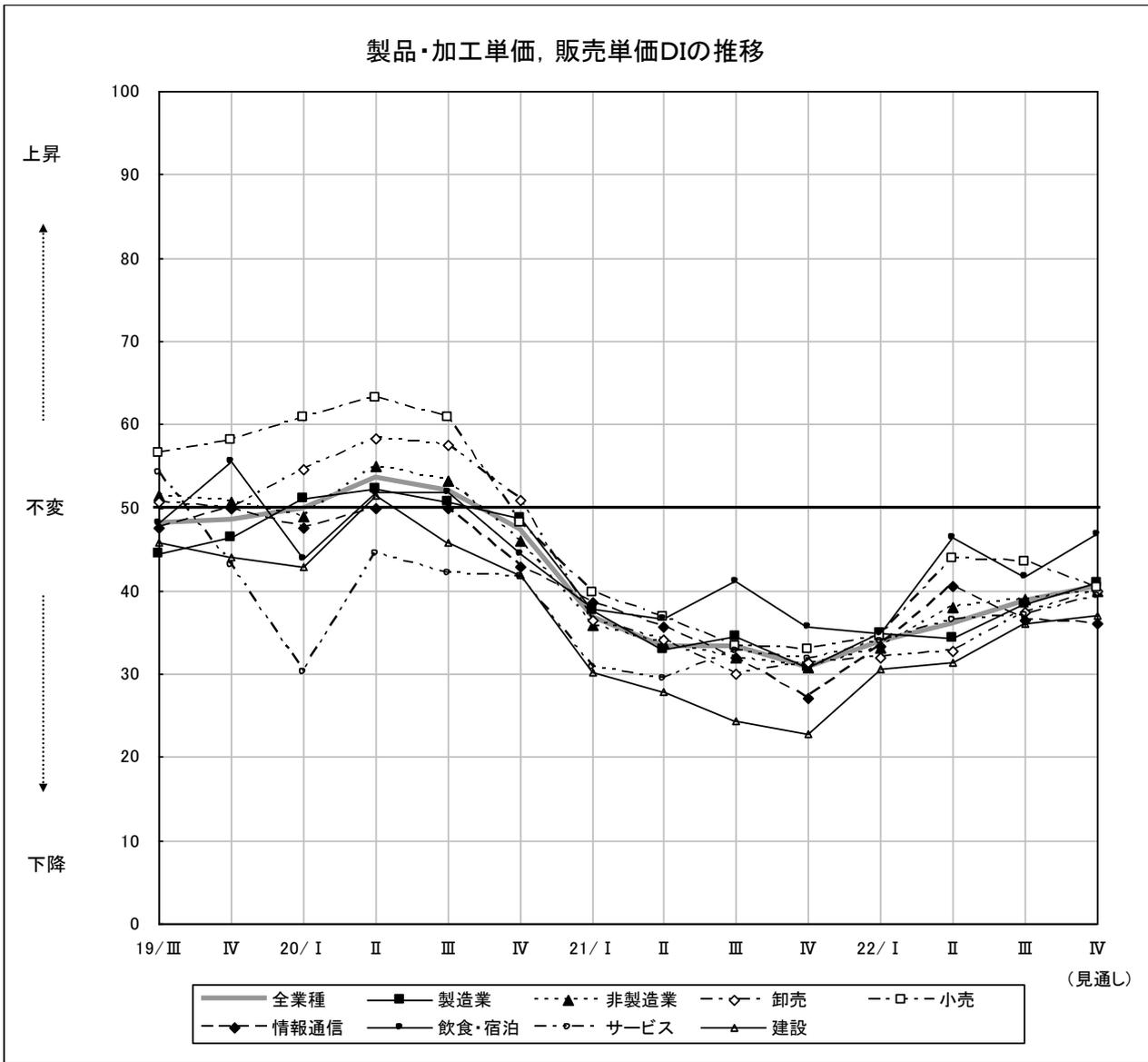


図8. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (製造業)

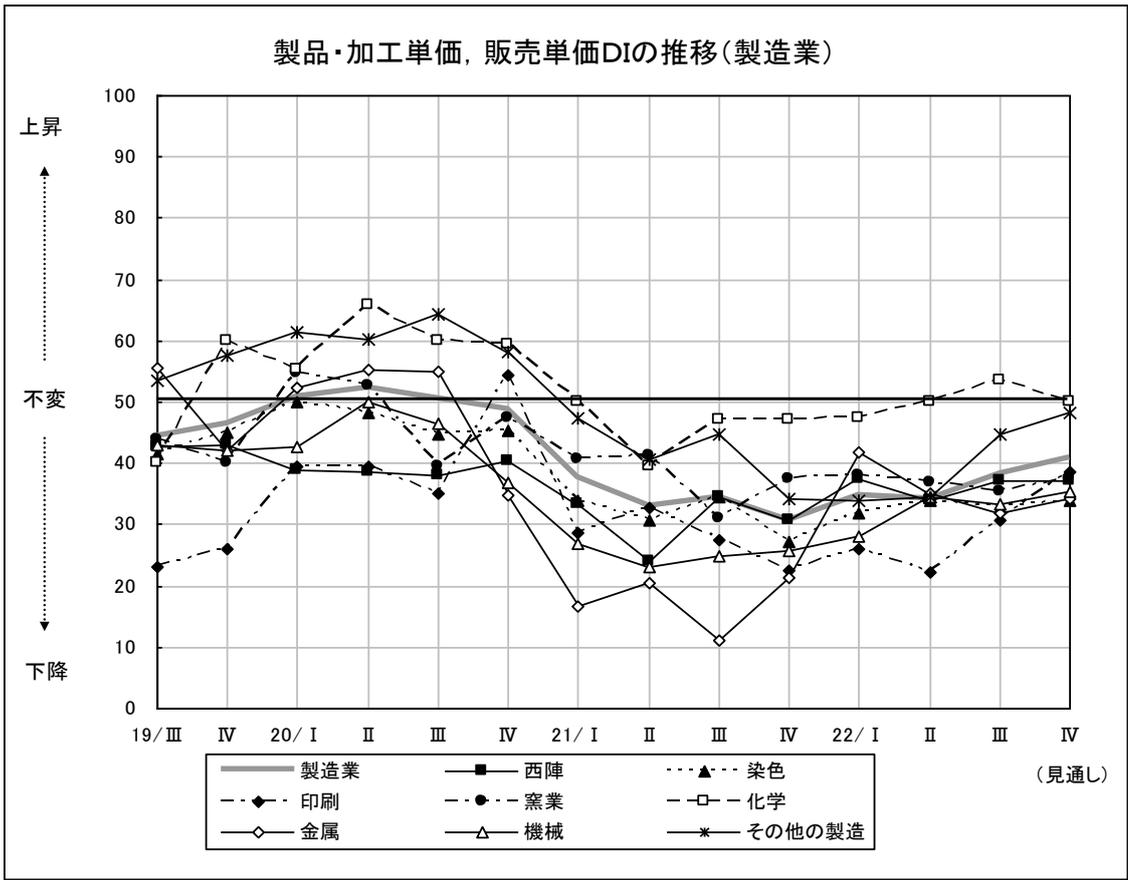


表4. 製品・加工単価, 販売単価DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	36.1	38.7	2.6	40.5	1.8
製造業	34.3	38.4	4.1	41.0	2.6
西陣	34.0	37.0	3.0	37.0	0.0
染色	33.8	32.8	▼ 1.0	33.9	1.1
印刷	22.2	30.8	8.6	38.5	7.7
窯業	36.8	35.3	▼ 1.5	37.5	2.2
化学	50.0	53.6	3.6	50.0	▼ 3.6
金属	35.0	31.8	▼ 3.2	34.1	2.3
機械	34.5	33.3	▼ 1.2	35.4	2.1
その他の製造	34.5	44.6	10.1	48.2	3.6
非製造業	38.0	39.0	1.0	40.0	1.0
卸売	32.8	37.5	4.7	40.0	2.5
小売	43.8	43.4	▼ 0.4	40.4	▼ 3.0
情報通信	40.5	36.5	▼ 4.0	36.0	▼ 0.5
飲食・宿泊	46.3	41.7	▼ 4.6	46.7	5.0
サービス	36.4	37.1	0.7	39.4	2.3
建設	31.3	36.1	4.8	37.1	1.0
観光関連	42.5	45.0	2.5	45.0	0.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

5. 仕入単価

図9. 仕入単価DIの推移 (全体)

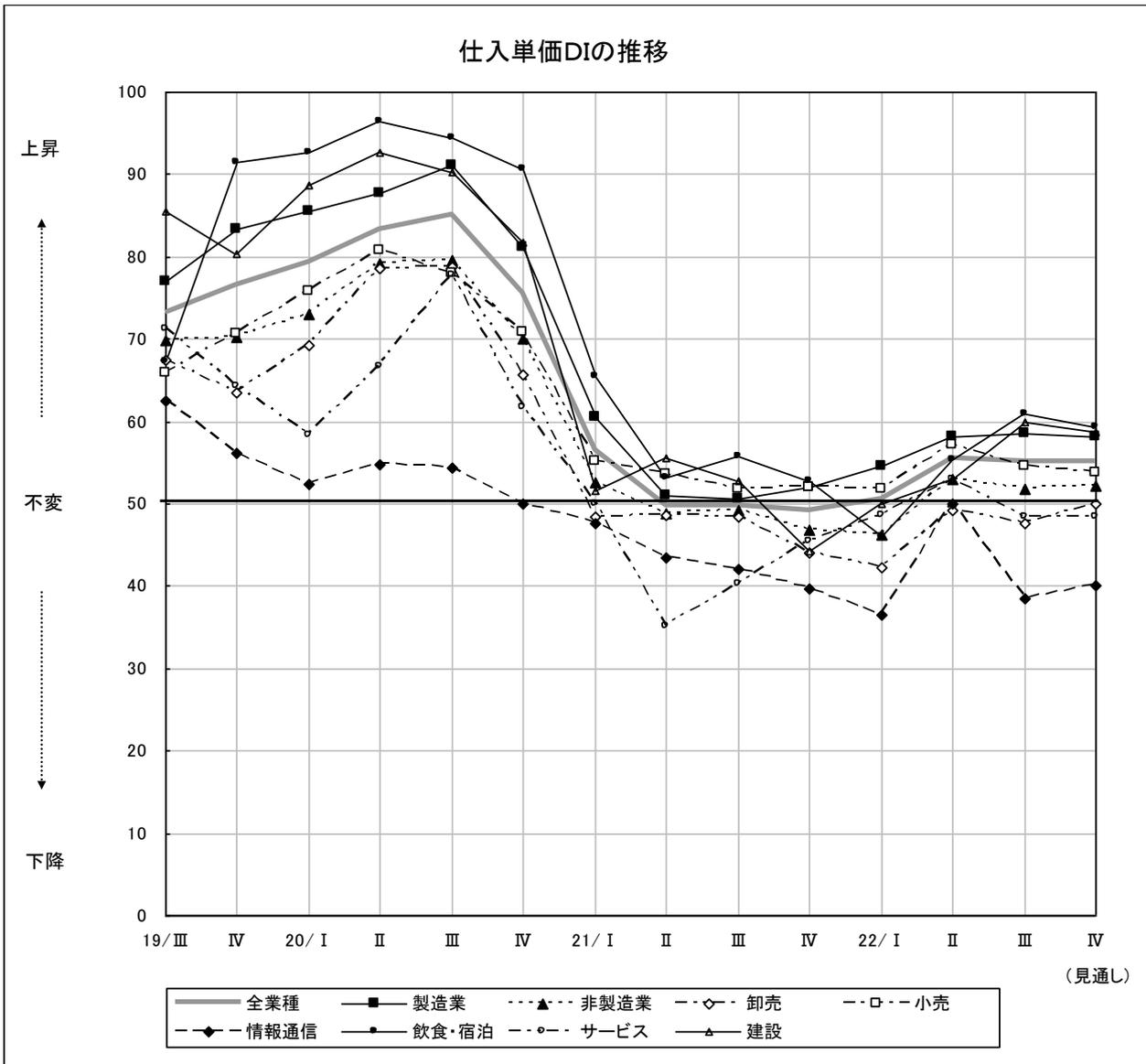


図10. 仕入単価DIの推移（製造業）

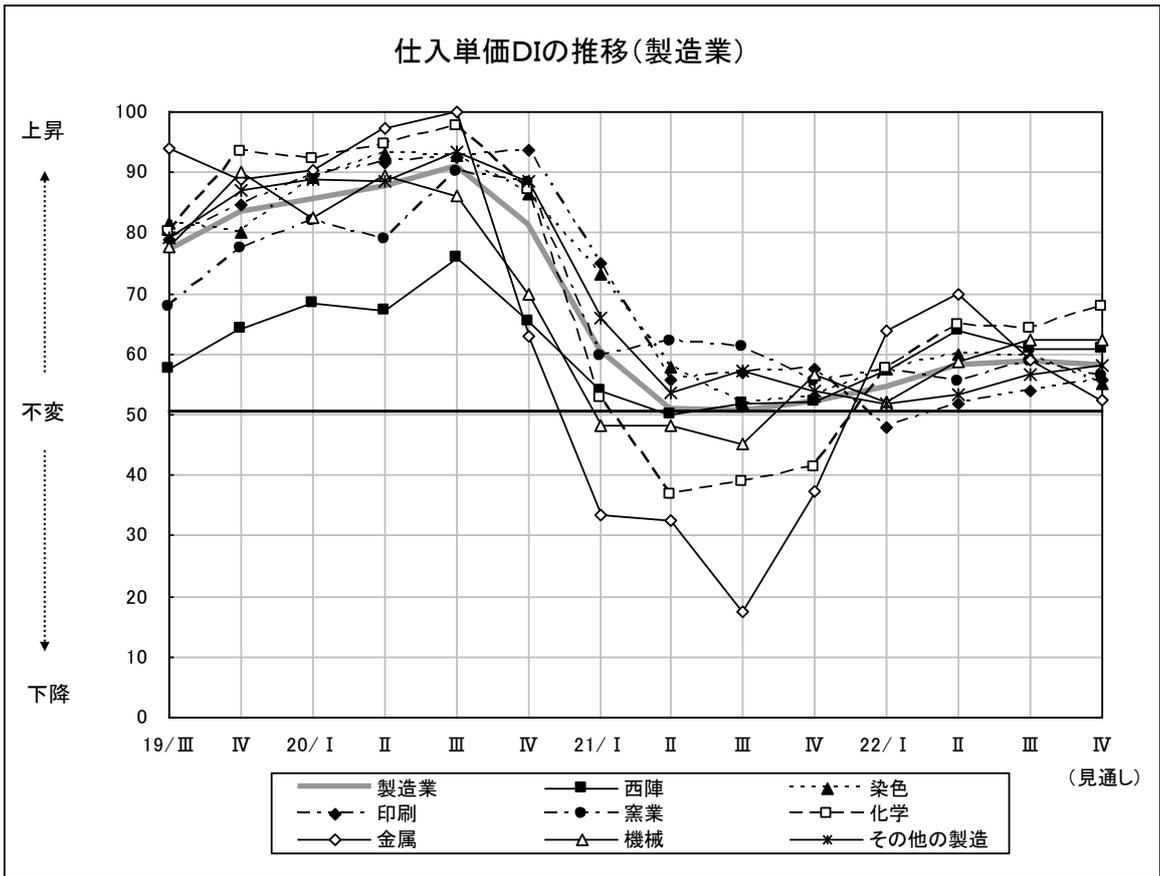


表5. 仕入単価DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	55.6	55.2	▼ 0.4	55.1	▼ 0.1
製造業	58.2	58.6	▲ 0.4	58.1	▼ 0.5
西陣	64.0	60.9	▼ 3.1	60.9	0.0
染色	60.0	59.7	▼ 0.3	55.0	▼ 4.7
印刷	51.9	53.8	▲ 1.9	55.8	▲ 2.0
窯業	55.3	58.8	▲ 3.5	56.3	▼ 2.5
化学	64.7	64.3	▼ 0.4	67.9	▲ 3.6
金属	70.0	59.1	▼ 10.9	52.3	▼ 6.8
機械	58.6	62.5	▲ 3.9	62.5	0.0
その他の製造	53.4	56.7	▲ 3.3	58.0	▲ 1.3
非製造業	52.9	51.8	▼ 1.1	52.1	0.3
卸売	49.2	47.7	▼ 1.5	50.0	▲ 2.3
小売	57.1	54.5	▼ 2.6	53.8	▼ 0.7
情報通信	50.0	38.5	▼ 11.5	40.0	▲ 1.5
飲食・宿泊	55.4	60.9	▲ 5.5	59.4	▼ 1.5
サービス	52.9	48.5	▼ 4.4	48.4	▼ 0.1
建設	53.0	60.0	▲ 7.0	58.8	▼ 1.2
観光関連	53.8	54.7	▲ 0.9	52.3	▼ 2.4

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

6. 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DI の推移 (全体)

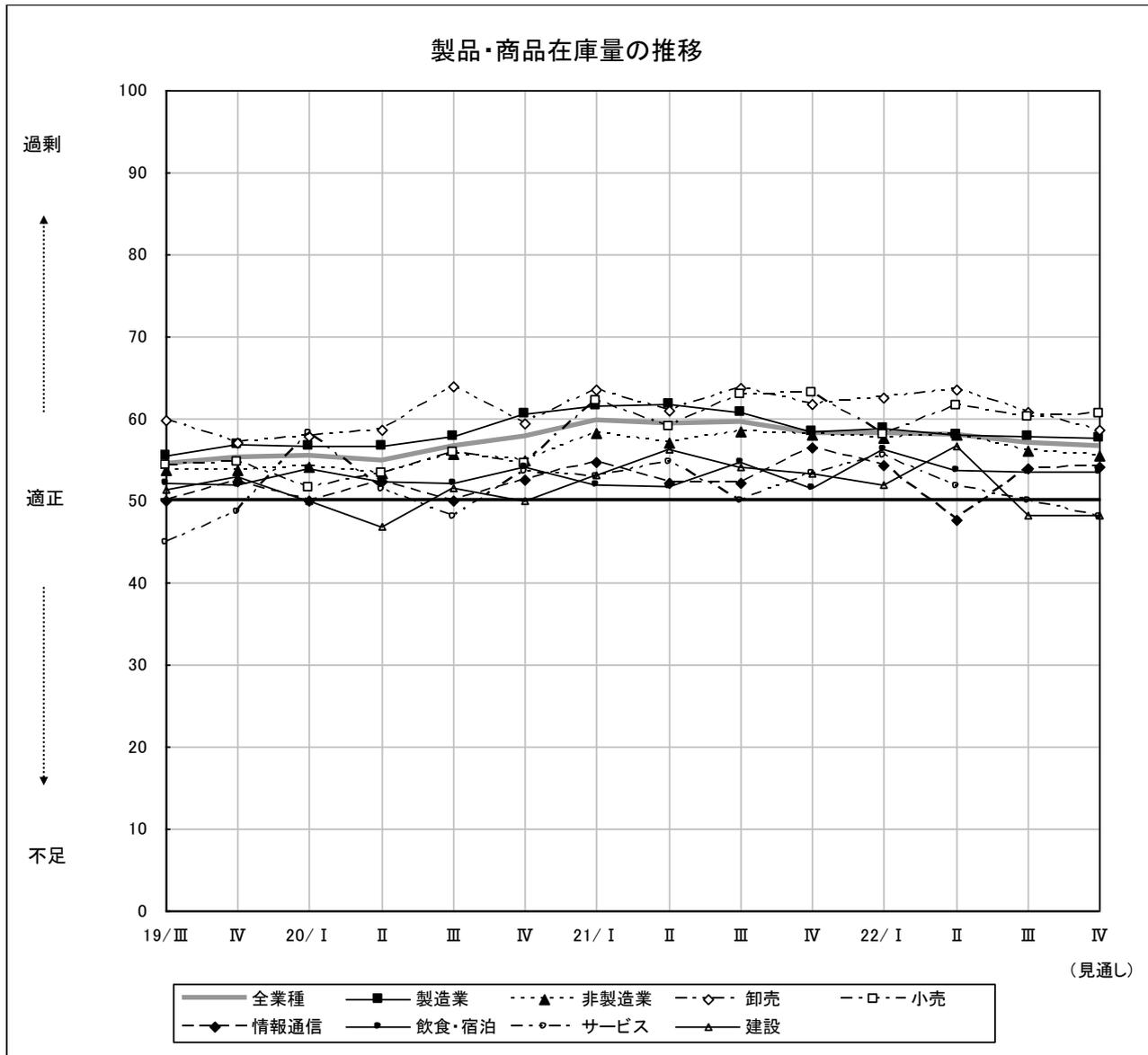


図12. 製品・商品在庫量の推移（製造業）

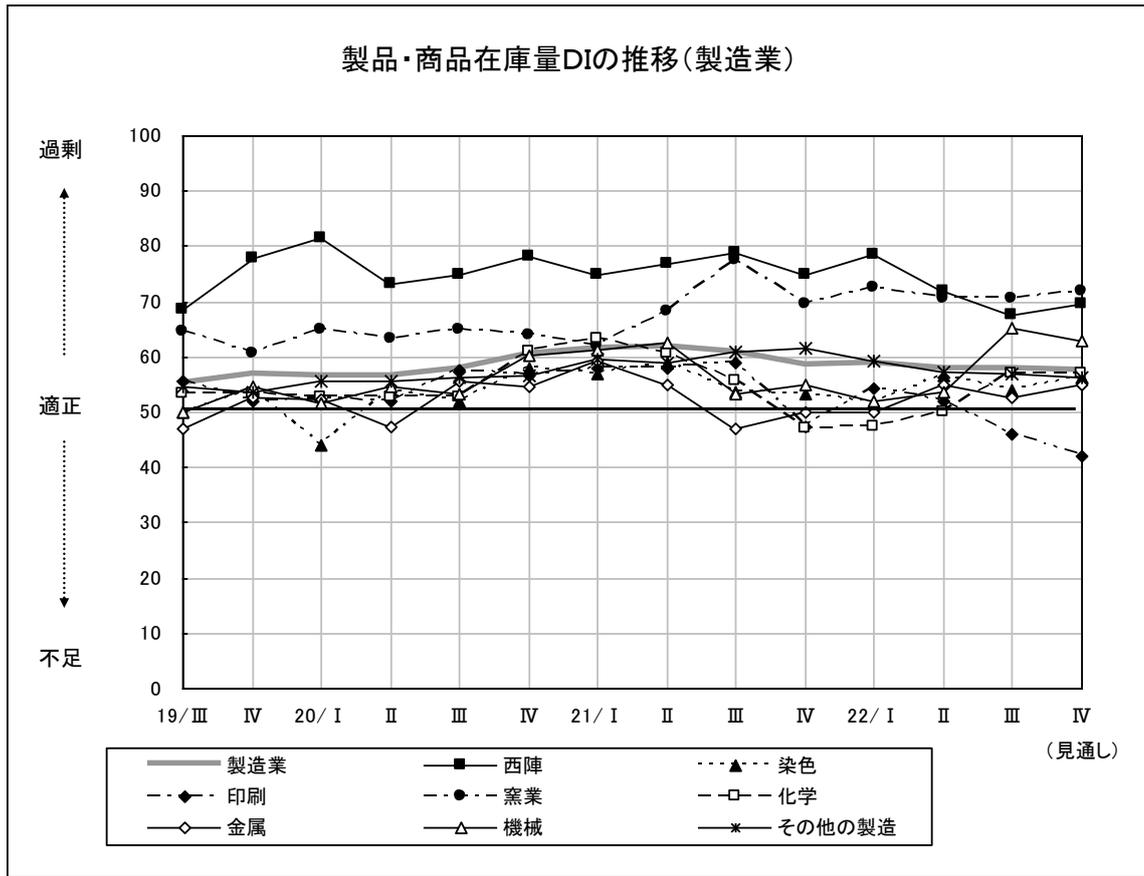


表6. 製品・商品在庫量 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
		前期比		前期比	
全業種	58.0	57.0	▼ 1.0	56.6	▼ 0.4
製造業	58.0	57.9	▼ 0.1	57.7	▼ 0.2
西陣	72.0	67.4	▼ 4.6	69.6	2.2
染色	56.7	54.0	▼ 2.7	56.3	2.3
印刷	51.9	46.0	▼ 5.9	42.0	▼ 4.0
窯業	70.6	70.6	0.0	71.9	1.3
化学	50.0	57.1	7.1	57.1	0.0
金属	55.0	52.5	▼ 2.5	55.0	2.5
機械	53.6	65.2	11.6	63.0	▼ 2.2
其他の製造	57.2	56.8	▼ 0.4	56.2	▼ 0.6
非製造業	58.1	56.0	▼ 2.1	55.4	▼ 0.6
卸売	63.6	60.8	▼ 2.8	58.6	▼ 2.2
小売	61.6	60.2	▼ 1.4	60.6	0.4
情報通信	47.6	54.0	6.4	54.2	0.2
飲食・宿泊	53.7	53.6	▼ 0.1	53.6	0.0
サービス	51.7	50.0	▼ 1.7	48.1	▼ 1.9
建設	56.7	48.3	▼ 8.4	48.3	0.0
観光関連	60.5	57.5	▼ 3.0	56.4	▼ 1.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

7. 雇用人員

図13. 雇用人員DIの推移 (全体)

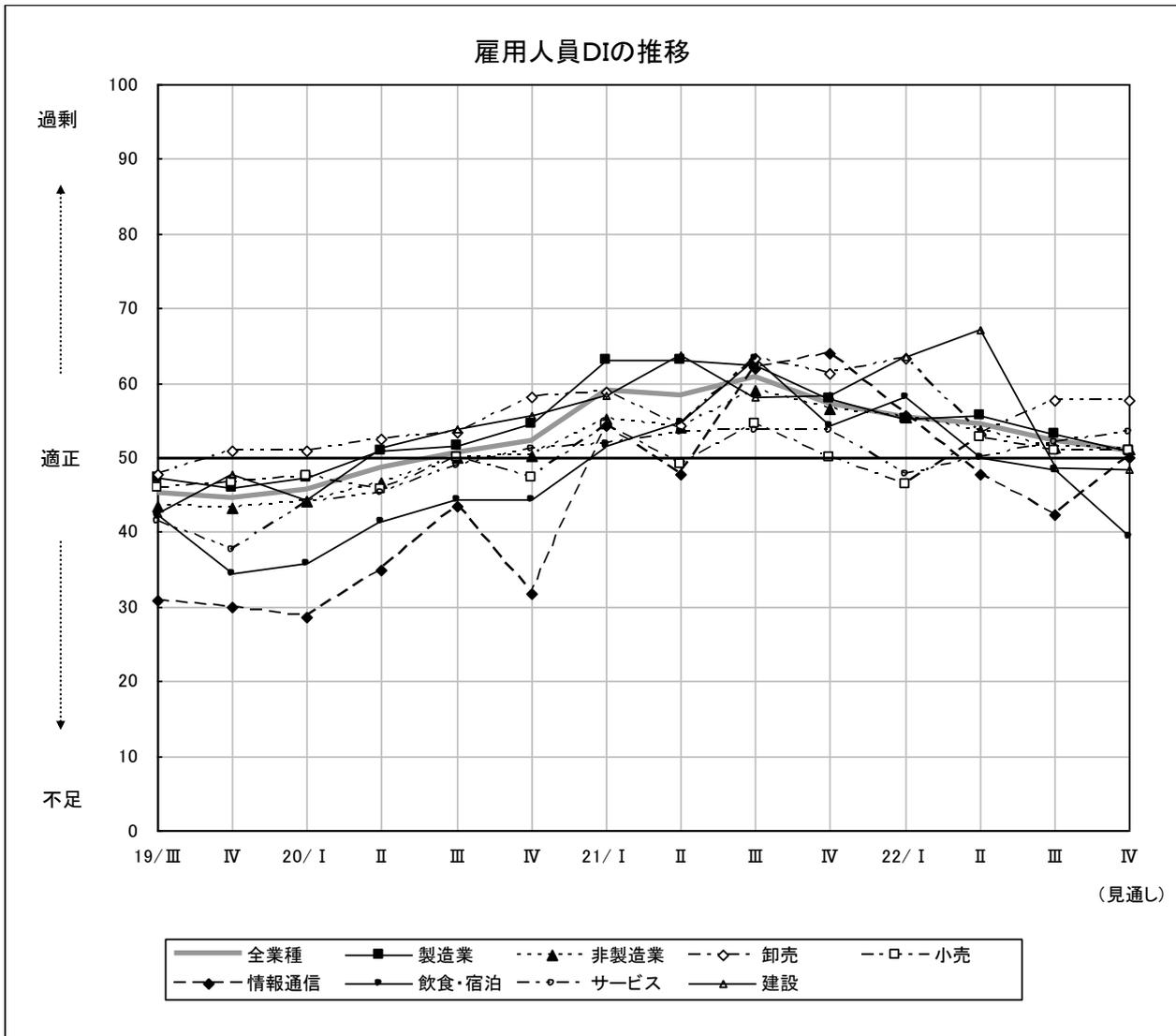


図14. 雇用人員DIの推移（製造業）

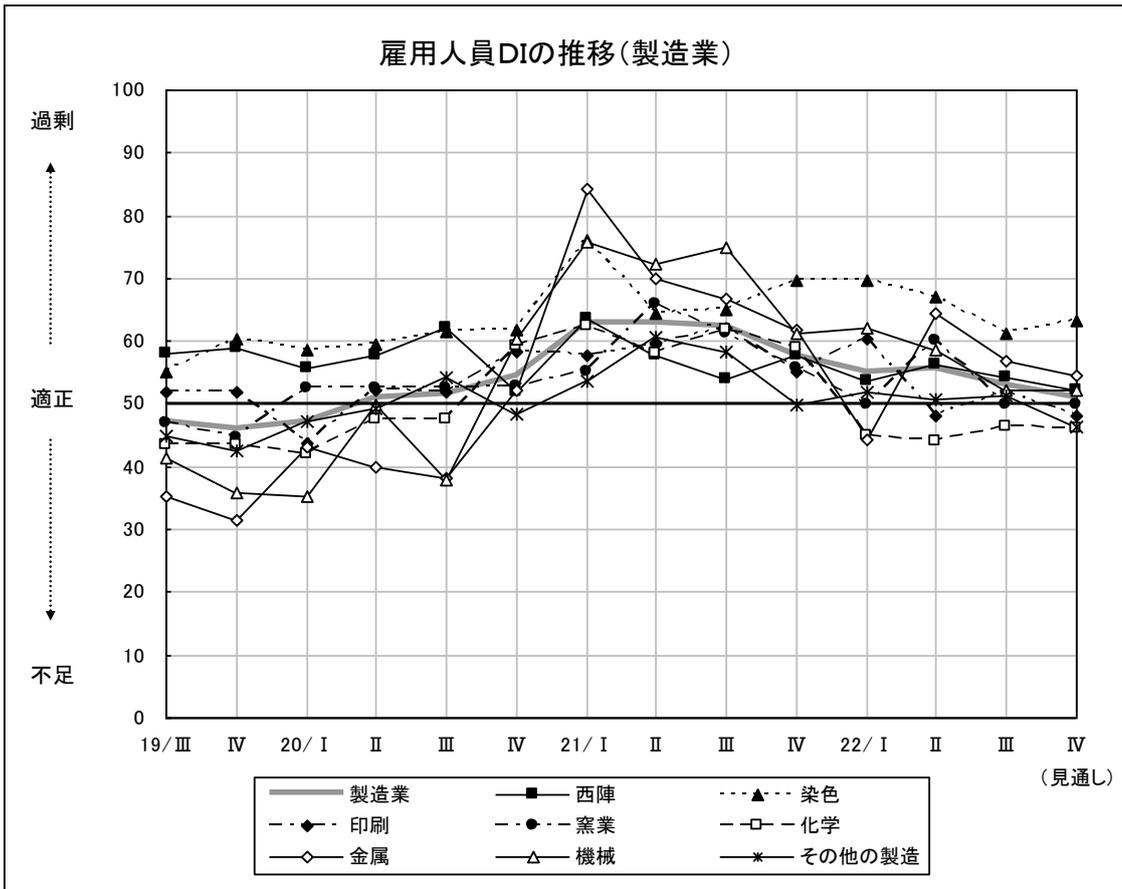


表7. 雇用人員DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	54.6	52.2	▼ 2.4	51.0	▼ 1.2
製造業	55.6	53.1	▼ 2.5	50.9	▼ 2.2
西陣	56.3	54.3	▼ 2.0	52.2	▼ 2.1
染色	67.1	61.3	▼ 5.8	63.3	2.0
印刷	48.1	51.9	3.8	48.1	▼ 3.8
窯業	60.0	50.0	▼ 10.0	50.0	0.0
化学	44.1	46.4	2.3	46.2	▼ 0.2
金属	64.3	56.8	▼ 7.5	54.5	▼ 2.3
機械	58.6	52.1	▼ 6.5	52.1	0.0
その他の製造	50.7	51.2	0.5	46.3	▼ 4.9
非製造業	53.6	51.3	▼ 2.3	51.2	▼ 0.1
卸売	53.1	57.6	4.5	57.7	0.1
小売	52.7	50.9	▼ 1.8	51.0	0.1
情報通信	47.7	42.3	▼ 5.4	50.0	7.7
飲食・宿泊	50.0	48.5	▼ 1.5	39.4	▼ 9.1
サービス	50.0	52.1	2.1	53.4	1.3
建設	67.1	48.6	▼ 18.5	48.5	▼ 0.1
観光関連	51.3	56.7	5.4	46.7	▼ 10.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

8. 資金繰り

図 15. 資金繰り DI の推移 (全体)

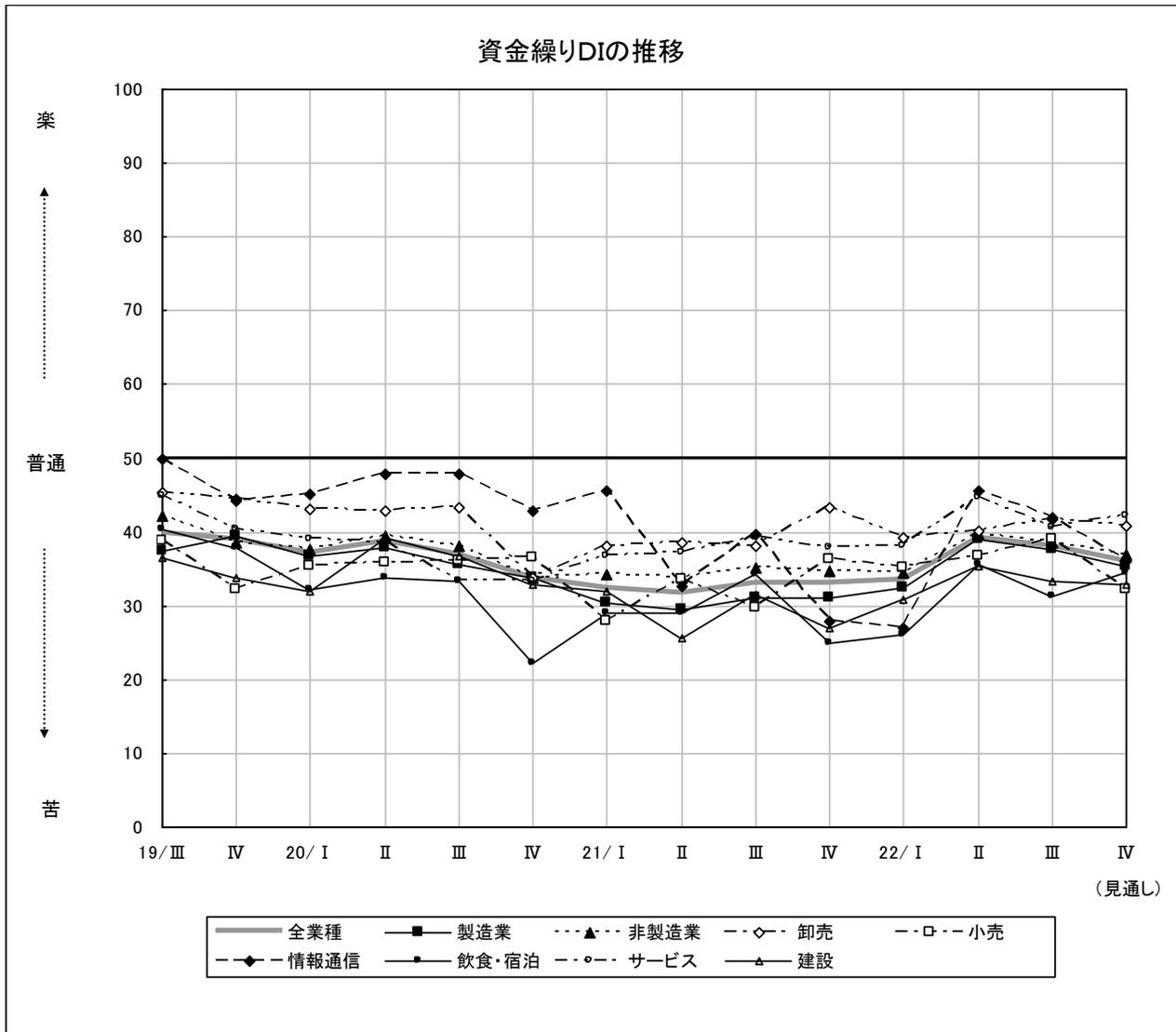


図16. 資金繰りDIの推移（製造業）

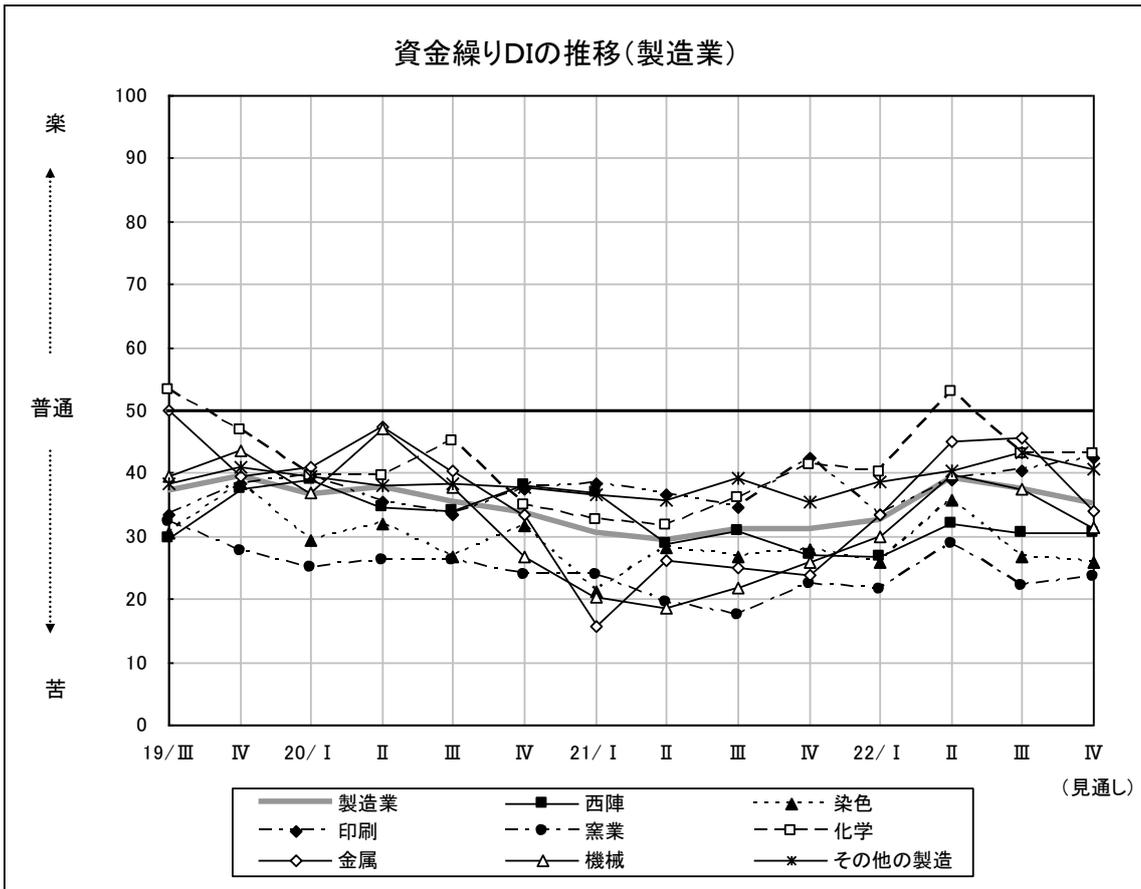


表8. 資金繰りDI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	39.3	38.0	▼ 1.3	36.1	▼ 1.9
製造業	39.1	37.6	▼ 1.5	35.3	▼ 2.3
西陣	32.0	30.4	▼ 1.6	30.4	0.0
染色	35.7	26.6	▼ 9.1	25.8	▼ 0.8
印刷	38.9	40.4	1.5	42.3	1.9
窯業	28.9	22.2	▼ 6.7	23.5	1.3
化学	52.9	42.9	▼ 10.0	42.9	0.0
金属	45.2	45.5	0.3	34.1	▼ 11.4
機械	39.7	37.5	▼ 2.2	31.3	▼ 6.2
その他の製造	40.5	43.3	2.8	40.7	▼ 2.6
非製造業	39.6	38.5	▼ 1.1	36.9	▼ 1.6
卸売	40.2	41.7	1.5	40.8	▼ 0.9
小売	36.8	38.9	2.1	32.1	▼ 6.8
情報通信	45.5	42.0	▼ 3.5	36.0	▼ 6.0
飲食・宿泊	35.7	31.3	▼ 4.4	34.4	3.1
サービス	44.7	40.6	▼ 4.1	42.2	1.6
建設	35.3	33.3	▼ 2.0	32.9	▼ 0.4
観光関連	41.3	37.2	▼ 4.1	40.7	3.5

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

9. 同業他社との競争

図 17. 同業他社との競争DIの推移 (全体)

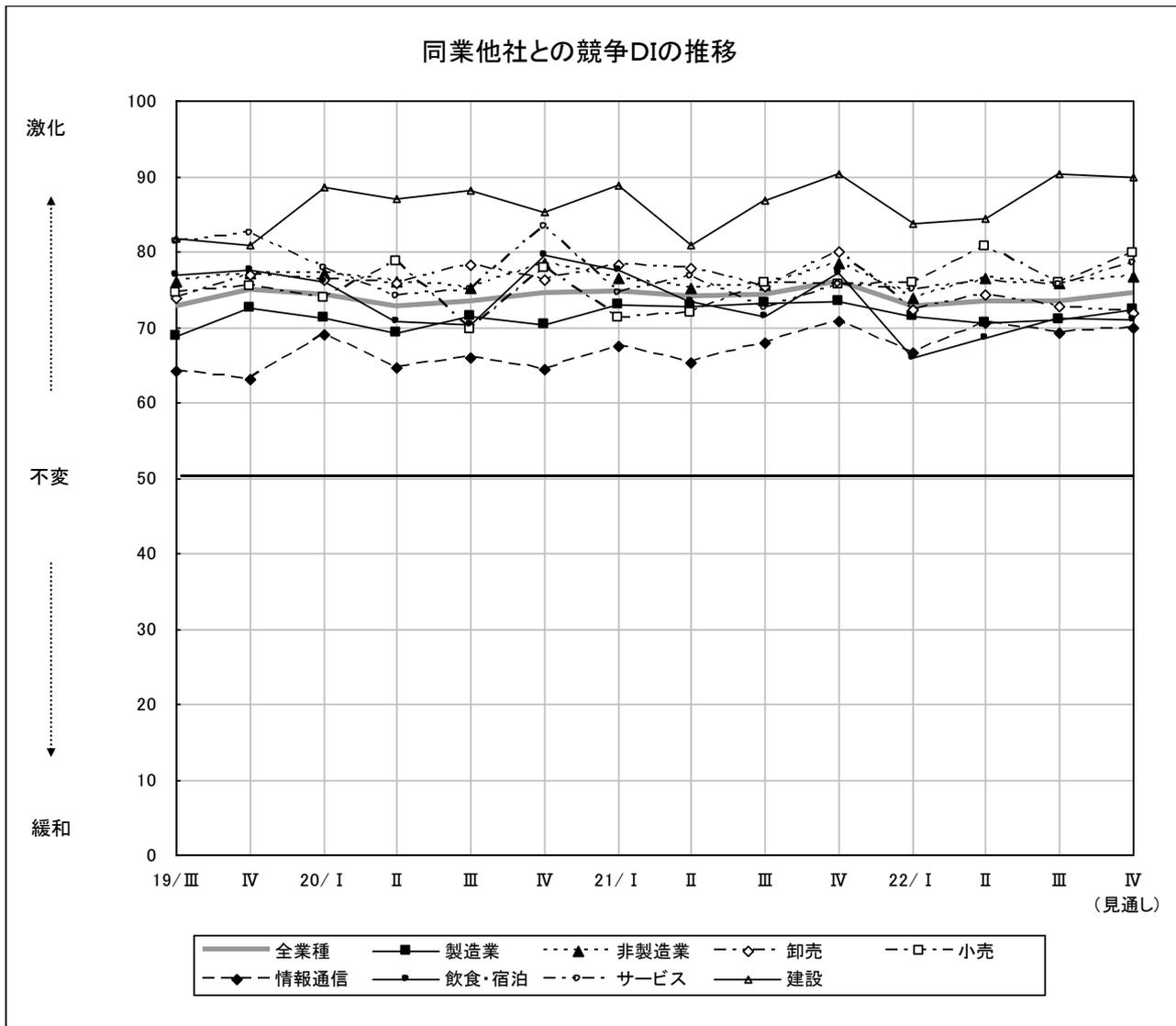


図 18. 同業他社との競争DIの推移 (製造業)

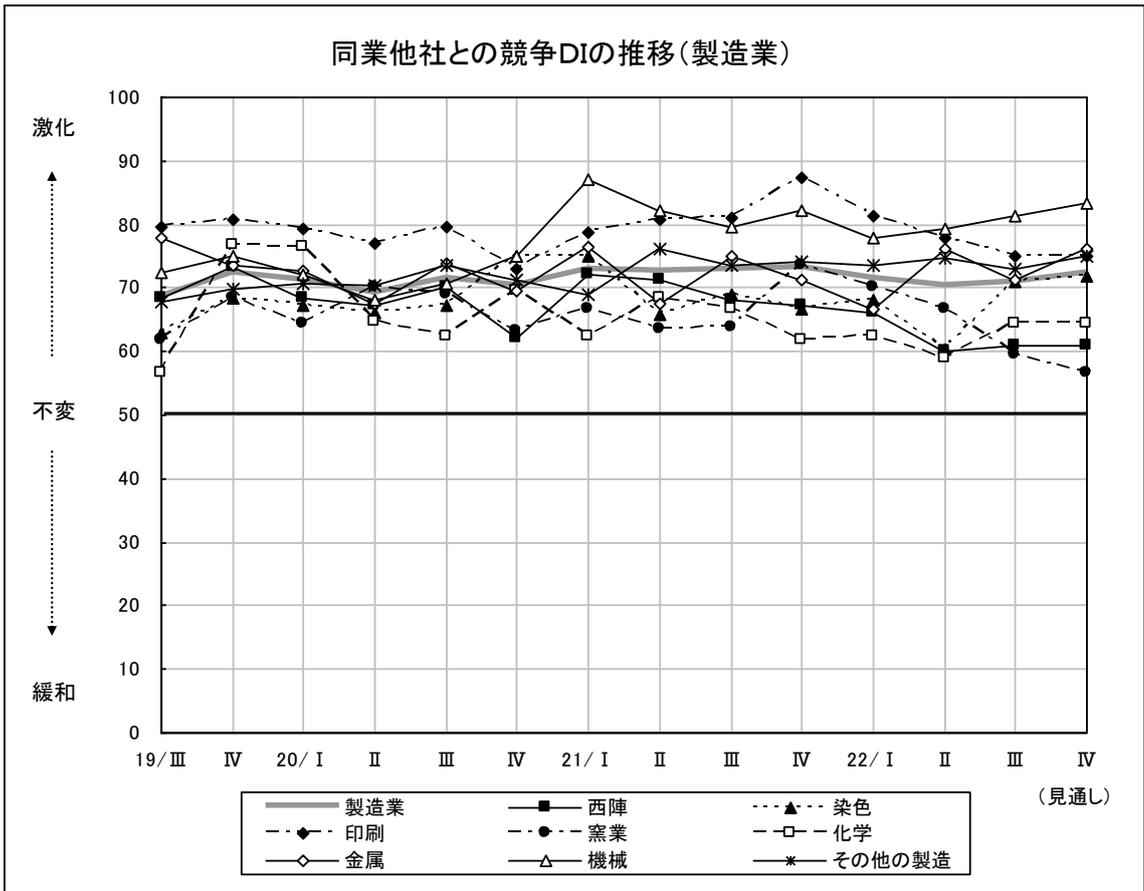


表 9. 同業他社との競争DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	73.5	73.5	0.0	74.6	1.1
製造業	70.5	71.0	0.5	72.3	1.3
西陣	60.0	60.9	0.9	60.9	0.0
染色	60.3	71.0	10.7	71.7	0.7
印刷	77.8	75.0	▼ 2.8	75.0	0.0
窯業	66.7	59.4	▼ 7.3	56.7	▼ 2.7
化学	58.8	64.3	5.5	64.3	0.0
金属	76.2	71.4	▼ 4.8	76.2	4.8
機械	79.3	81.3	2.0	83.3	2.0
その他の製造	74.7	72.9	▼ 1.8	75.0	2.1
非製造業	76.5	75.8	▼ 0.7	76.8	1.0
卸売	74.2	72.7	▼ 1.5	71.8	▼ 0.9
小売	80.7	75.9	▼ 4.8	79.8	3.9
情報通信	70.5	69.2	▼ 1.3	70.0	0.8
飲食・宿泊	68.5	71.2	2.7	71.0	▼ 0.2
サービス	76.1	75.5	▼ 0.6	78.4	2.9
建設	84.3	90.3	6.0	90.0	▼ 0.3
観光関連	73.8	68.9	▼ 4.9	70.9	2.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

10. 受注残

図19. 受注残DIの推移

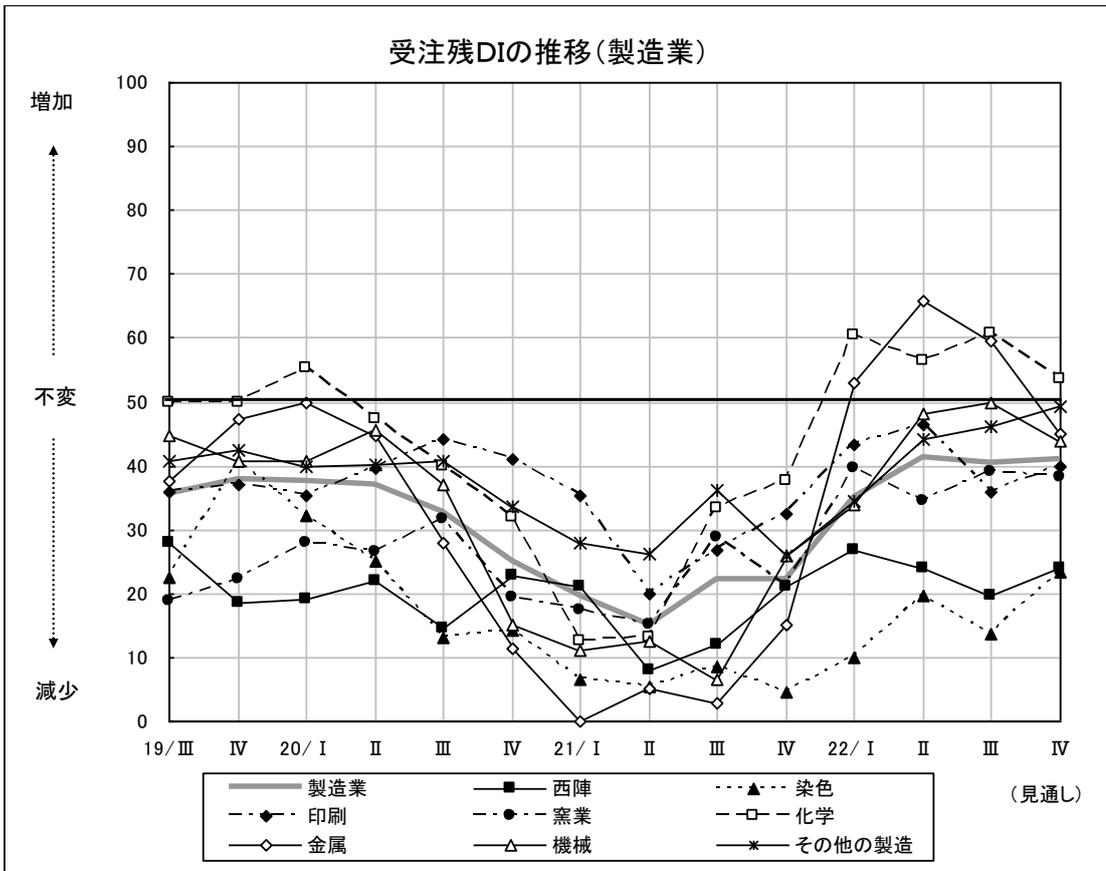


表10. 受注残DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	41.2	40.4	▼ 0.8	40.9	0.5
西陣	24.0	19.6	▼ 4.4	23.9	4.3
染色	19.7	13.8	▼ 5.9	23.3	9.5
印刷	46.3	36.0	▼ 10.3	40.0	4.0
窯業	34.4	38.9	4.5	38.2	▼ 0.7
化学	56.3	60.7	4.4	53.6	▼ 7.1
金属	65.8	59.5	▼ 6.3	45.0	▼ 14.5
機械	48.2	50.0	1.8	44.0	▼ 6.0
その他の製造	44.3	46.2	1.9	49.4	3.2
観光関連	34.6	29.2	▼ 5.4	33.3	4.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

1 1. 生産設備

図 20. 生産設備 DI の推移

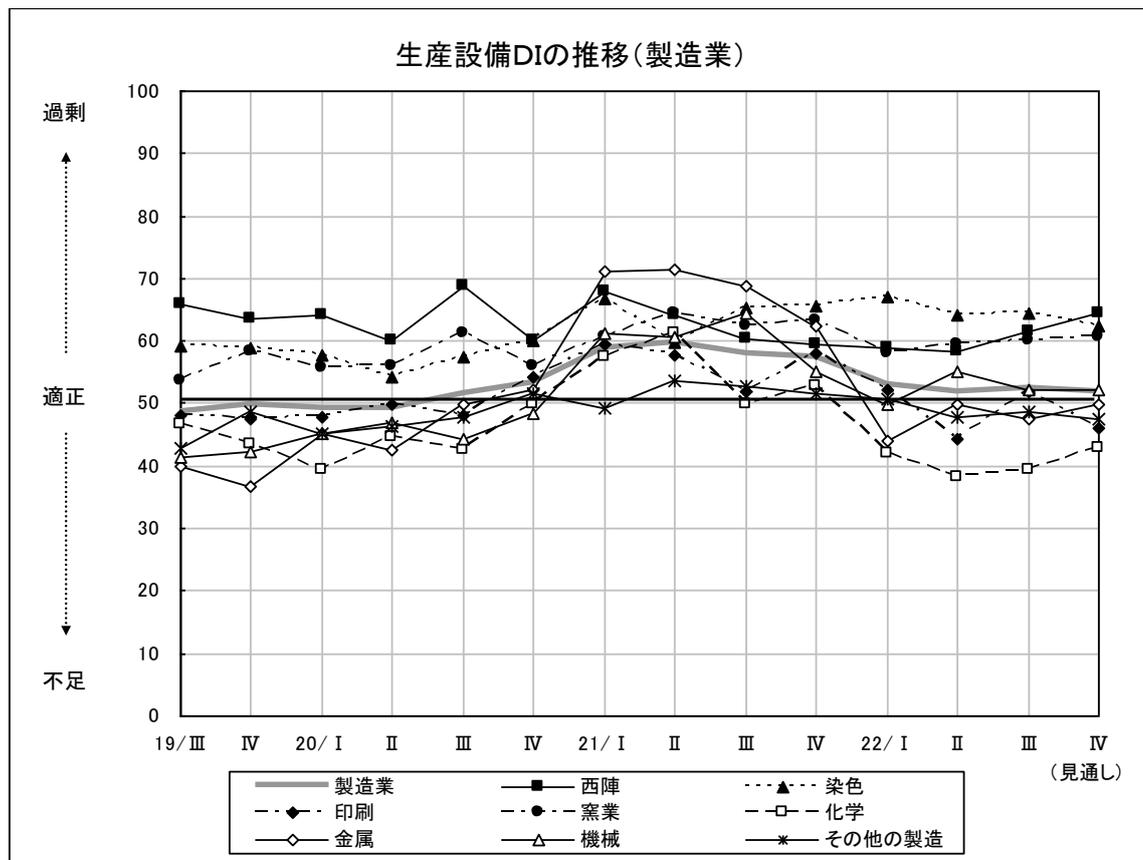


表 11. 生産設備 DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	51.9	52.6	0.7	52.0	▼ 0.6
西陣	58.3	61.4	3.1	64.3	2.9
染色	64.1	64.3	0.2	62.5	▼ 1.8
印刷	44.2	52.0	7.8	46.0	▼ 6.0
窯業	59.4	60.0	0.6	60.7	0.7
化学	38.2	39.3	1.1	42.9	3.6
金属	50.0	47.6	▼ 2.4	50.0	2.4
機械	55.2	52.1	▼ 3.1	52.1	0.0
その他の製造	47.8	48.7	0.9	47.4	▼ 1.3
観光関連	45.8	50.0	4.2	50.0	0.0

12. 設備投資

図21. 設備投資DIの推移

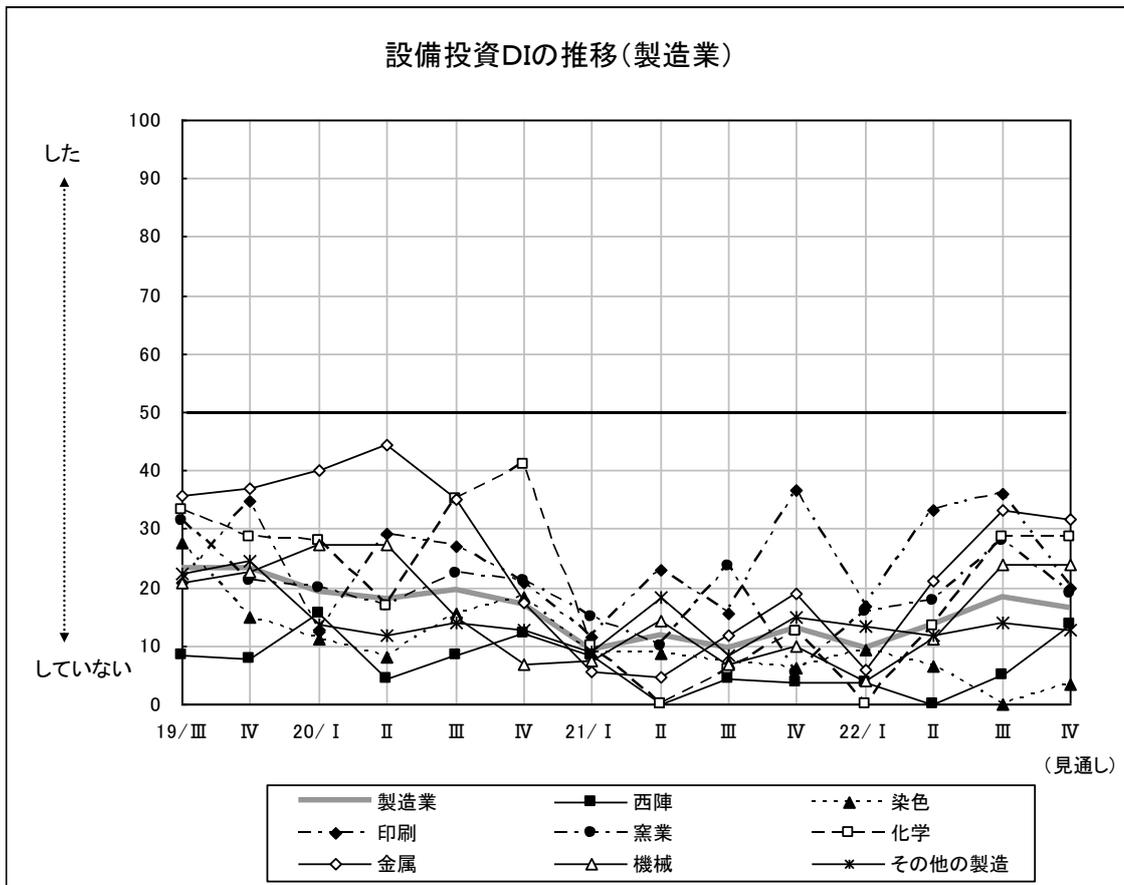


表12. 設備投資DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	13.7	18.4	4.7	16.6	▼ 1.8
西陣	0.0	5.0	5.0	13.6	8.6
染色	6.5	0.0	▼ 6.5	3.4	3.4
印刷	33.3	36.0	2.7	20.0	▼ 16.0
窯業	17.6	27.8	10.2	18.8	▼ 9.0
化学	13.3	28.6	15.3	28.6	0.0
金属	21.1	33.3	12.2	31.6	▼ 1.7
機械	11.1	24.0	12.9	24.0	0.0
その他の製造	11.9	14.1	2.2	12.7	▼ 1.4
観光関連	16.7	8.3	▼ 8.4	12.5	4.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

(2) 当面の経営戦略について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 22. 当面の経営戦略・回答の推移

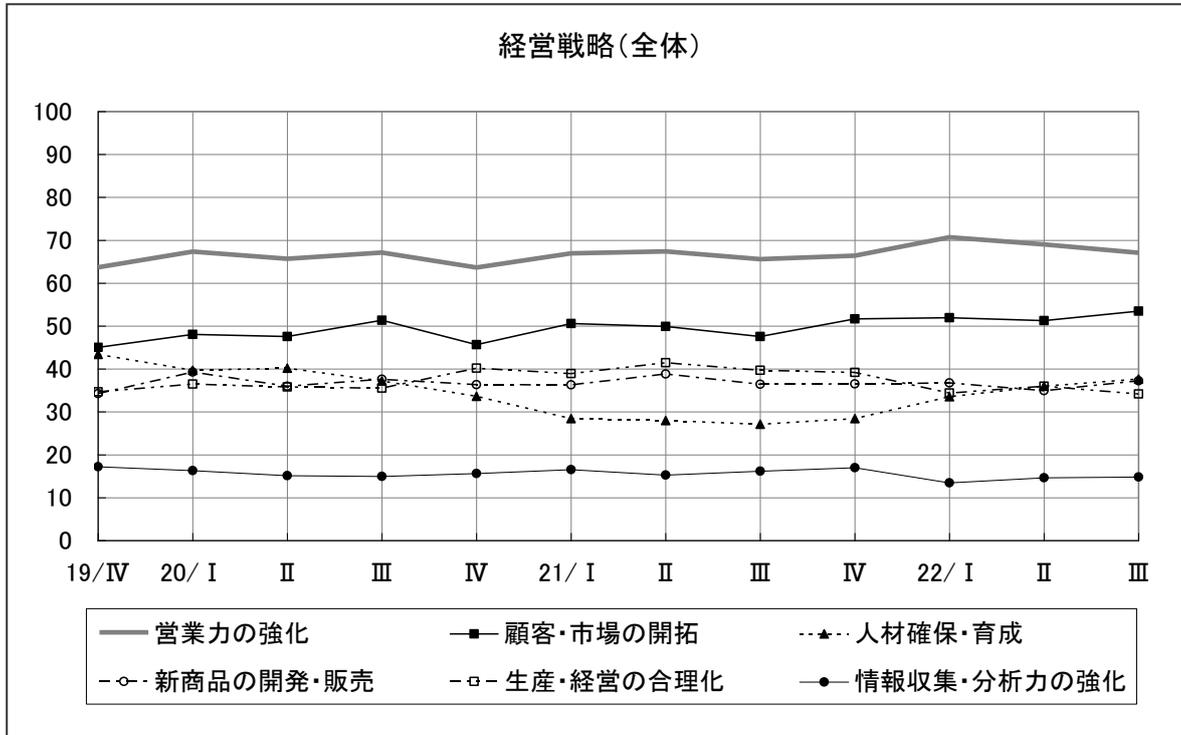


図 23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

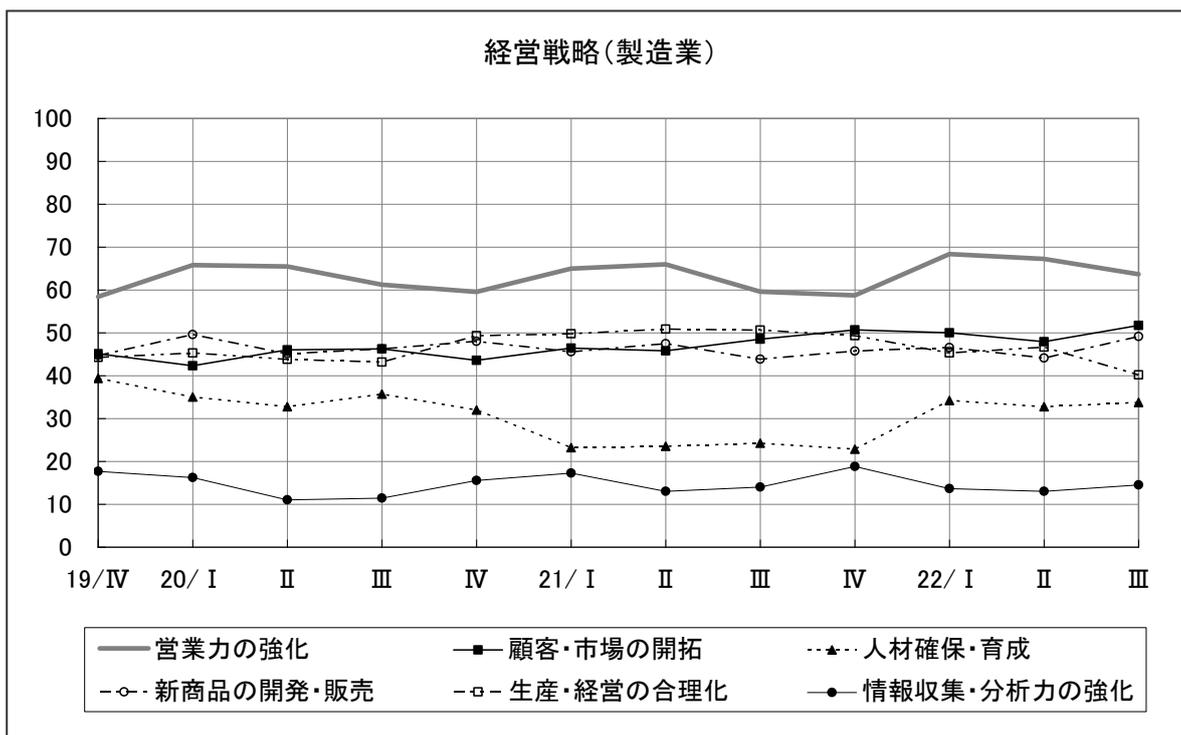


図24. 当面の経営戦略・西陣

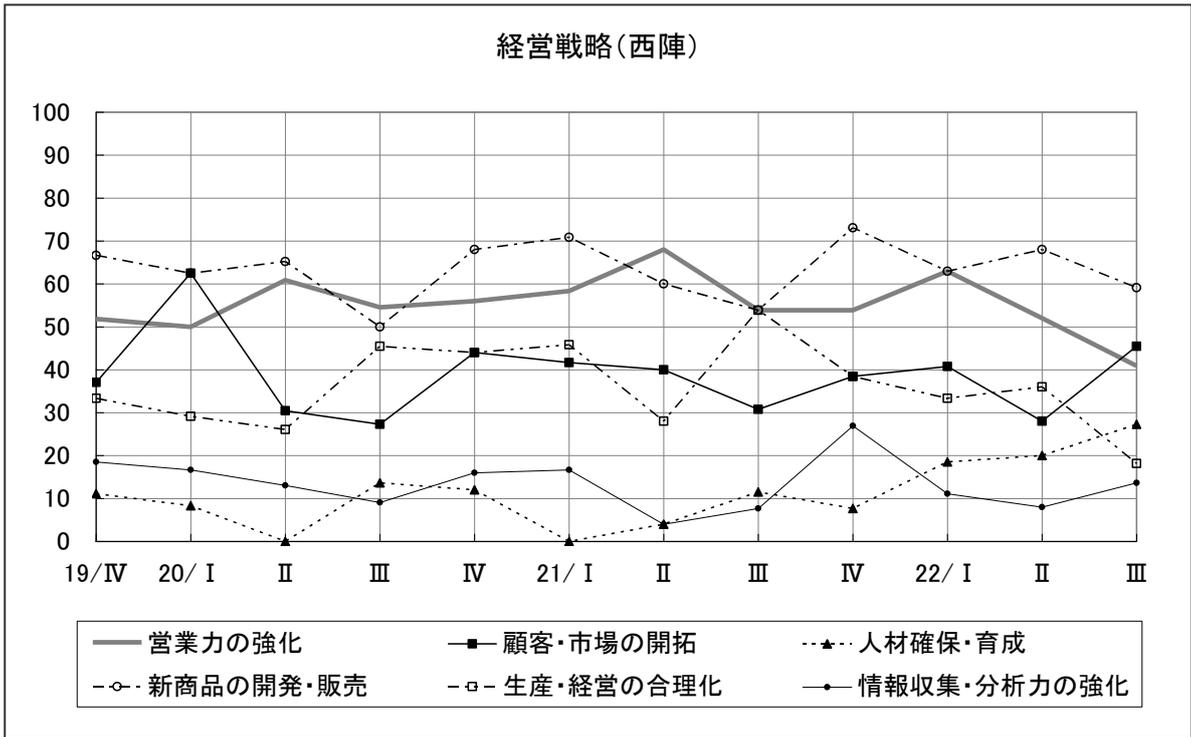


図25. 当面の経営戦略・染色

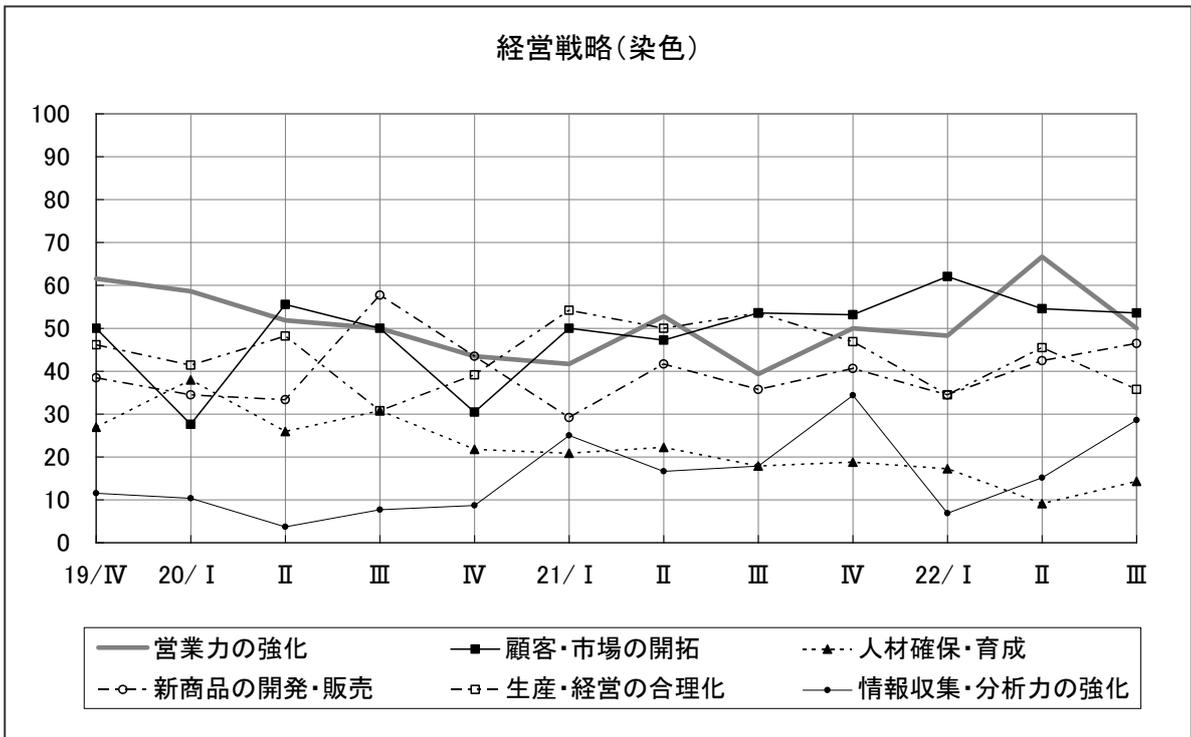


図 26. 当面の経営戦略・印刷

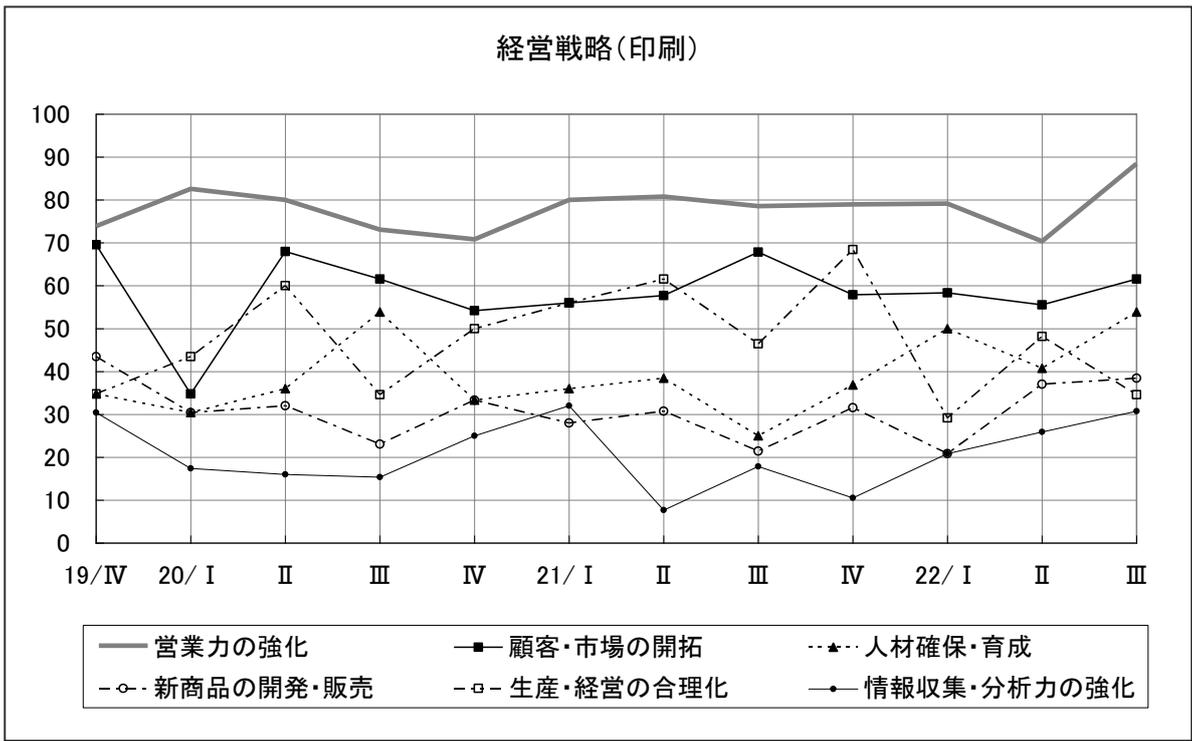


図 27. 当面の経営戦略・窯業

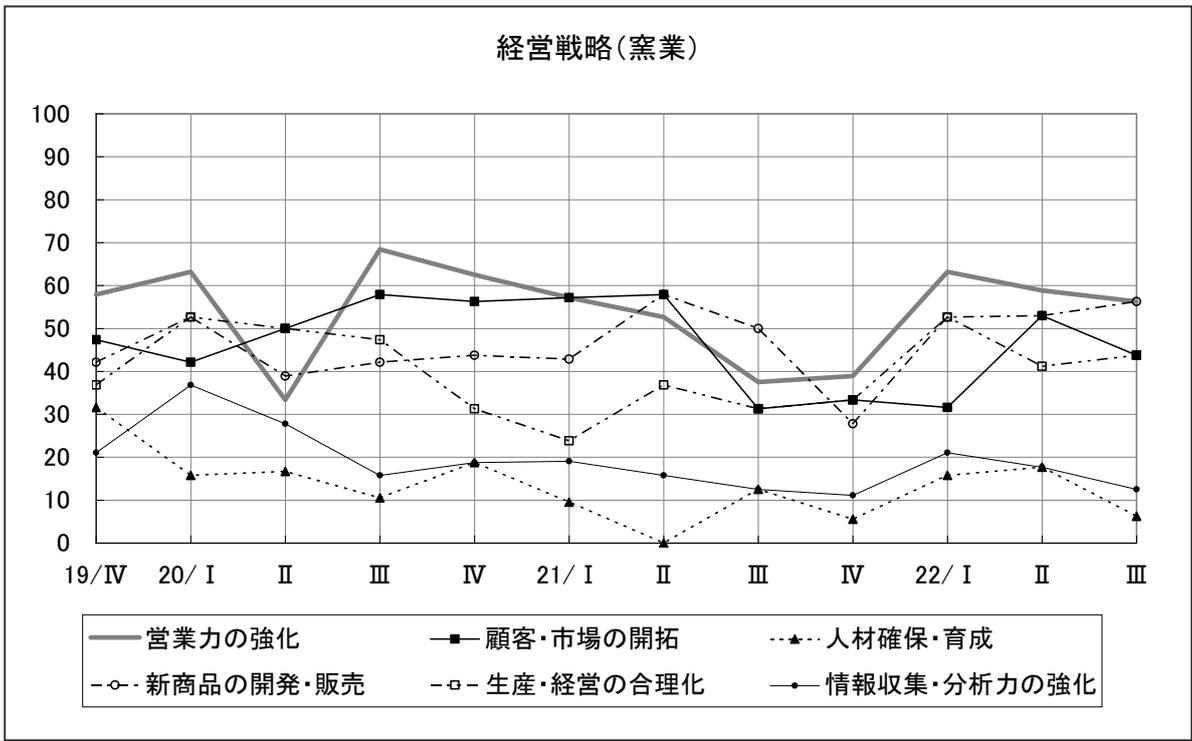


図28. 当面の経営戦略・化学

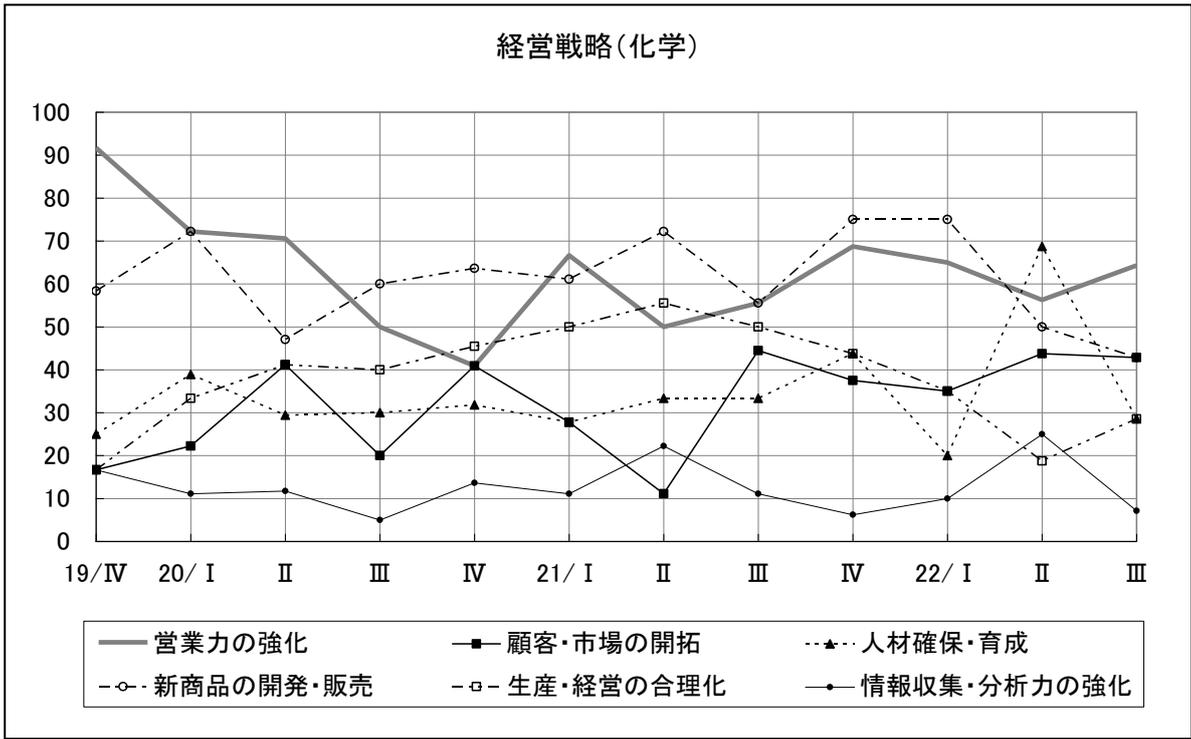


図29. 当面の経営戦略・金属

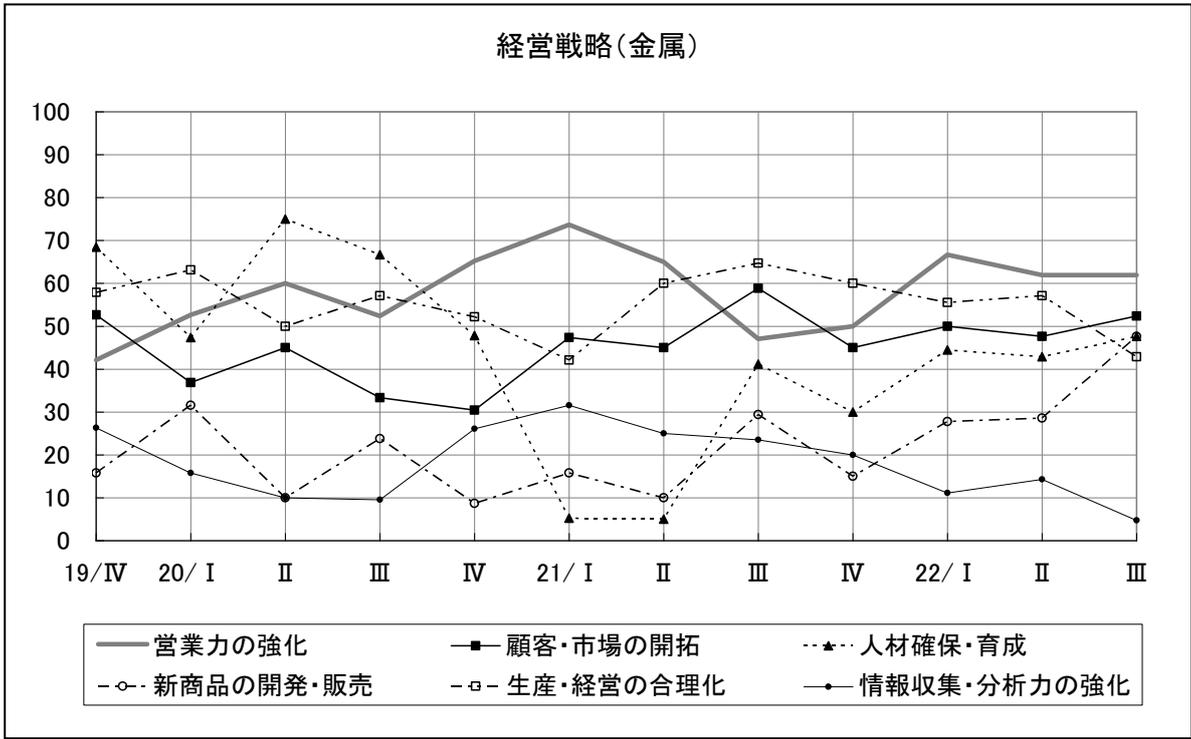


図 30. 当面の経営戦略・機械

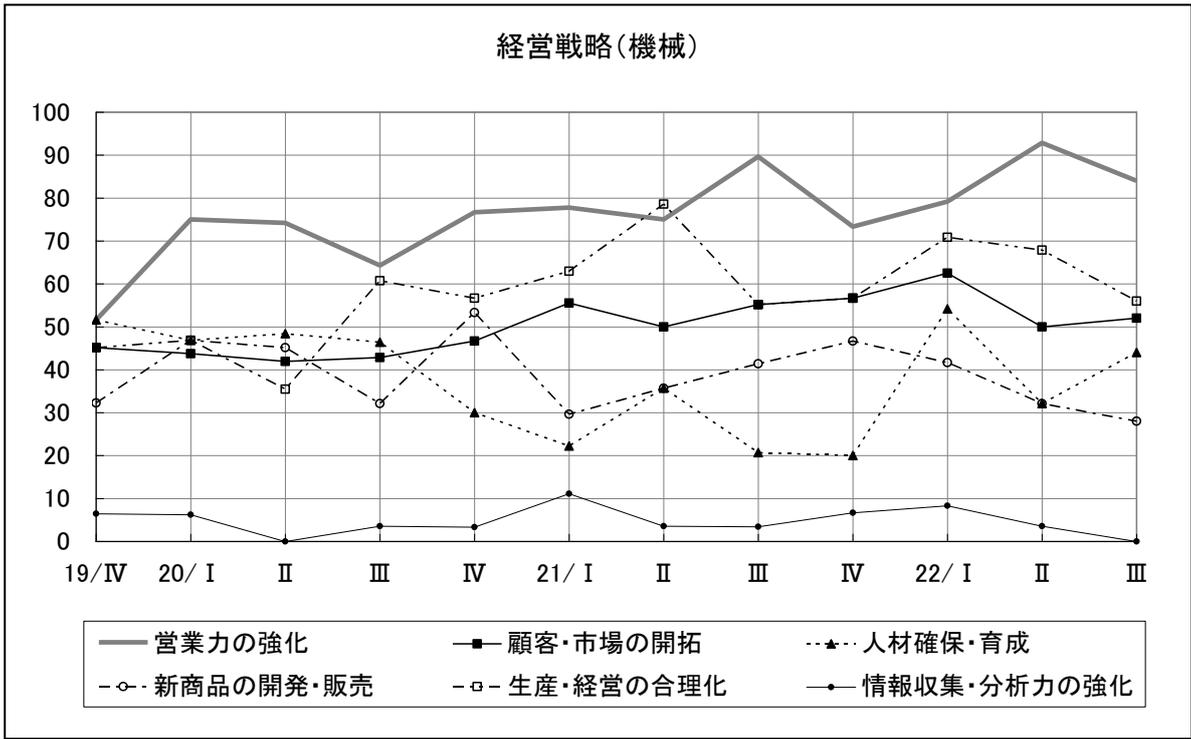


図 31. 当面の経営戦略・その他の製造

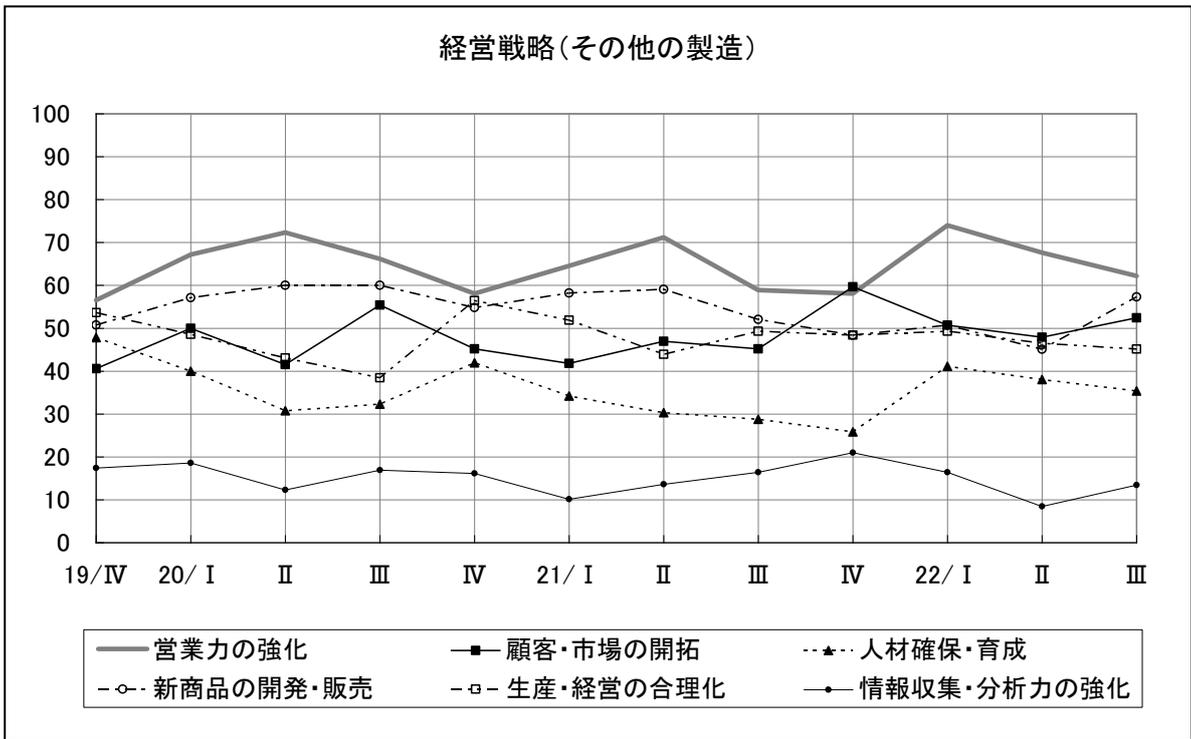


図 32. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

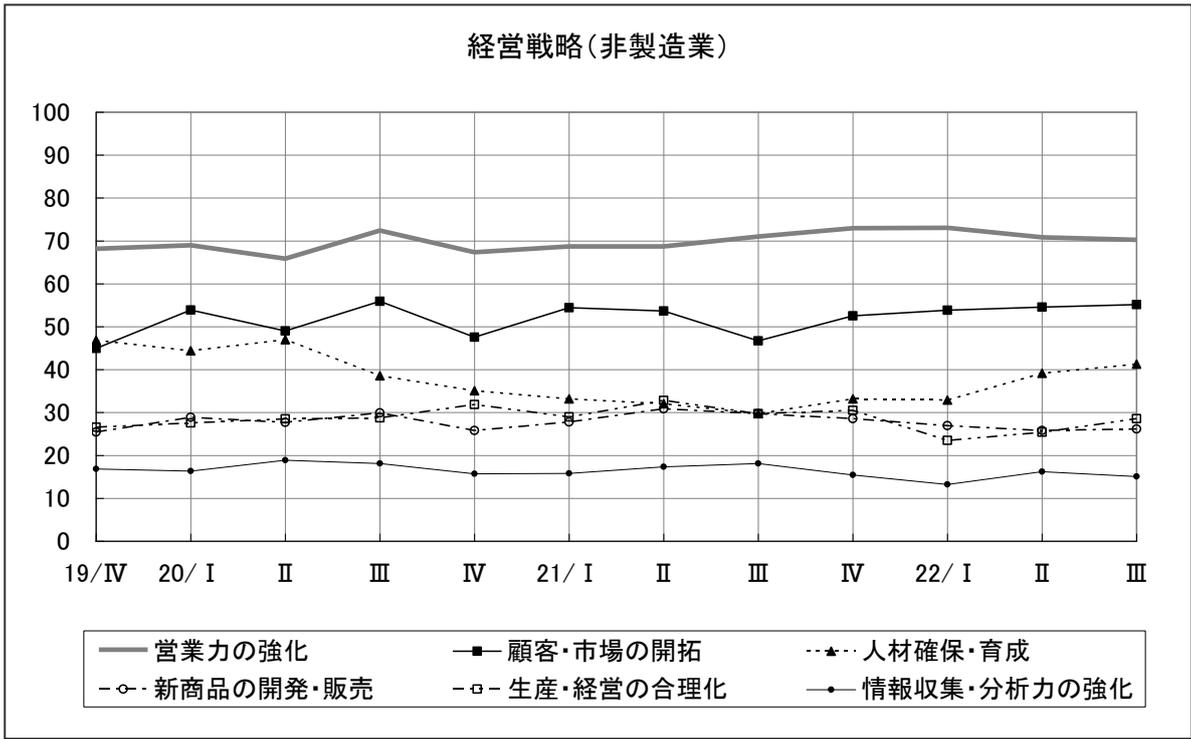


図 33. 当面の経営戦略・卸売

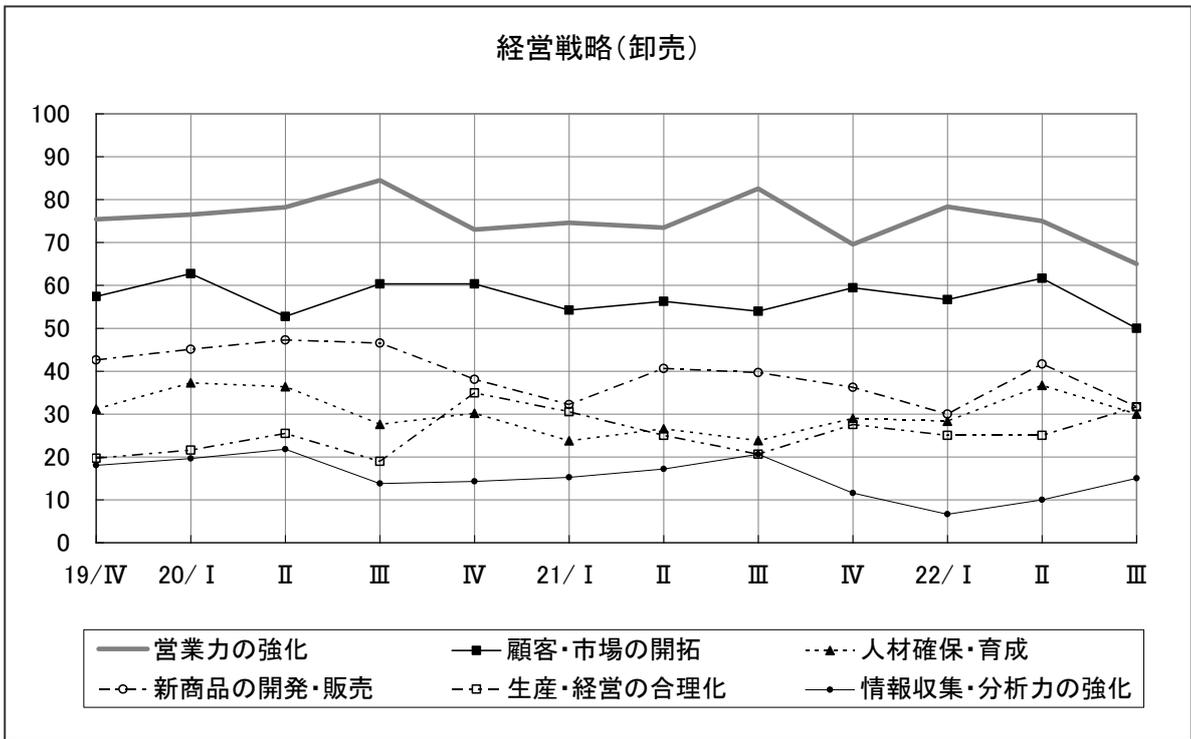


図 34. 当面の経営戦略・小売

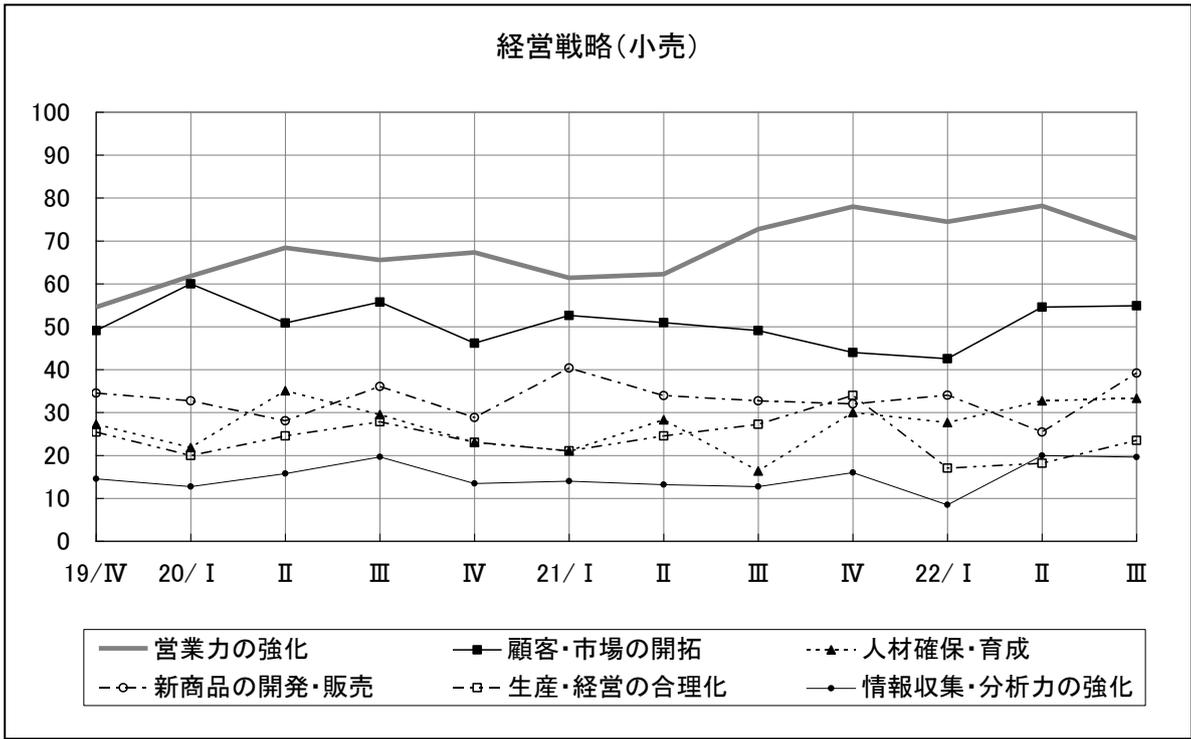


図 35. 当面の経営戦略・情報通信

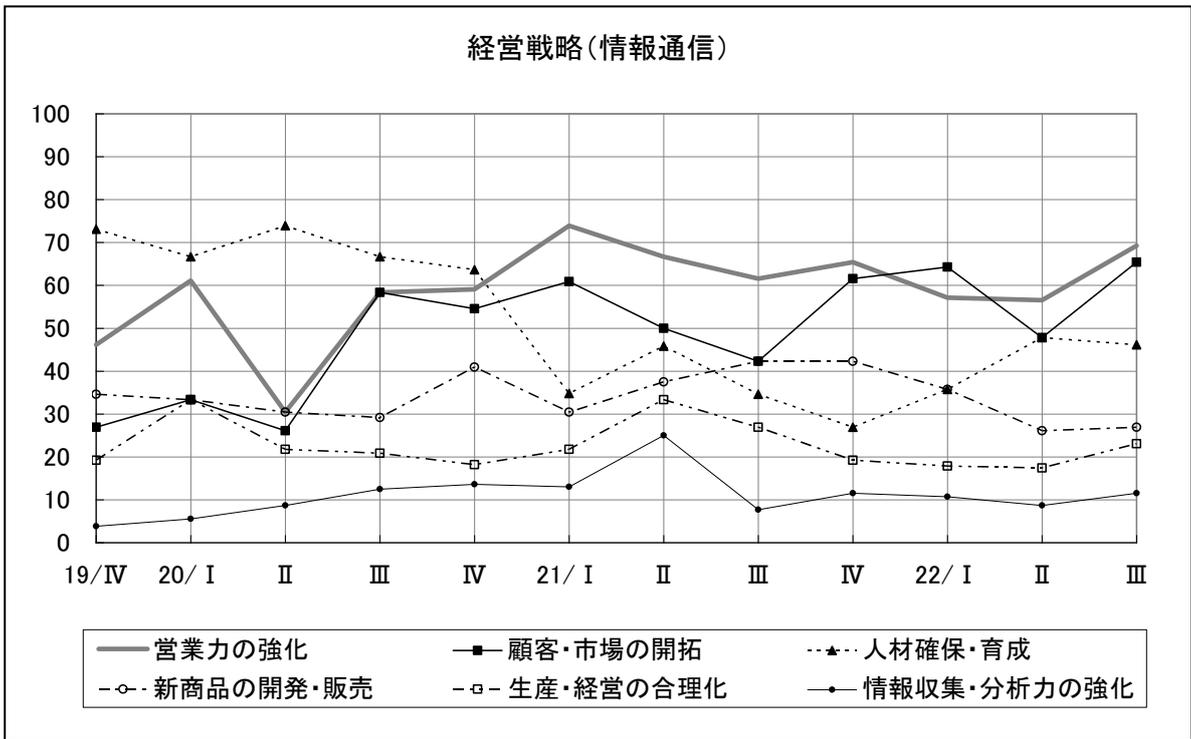


図 36. 当面の経営戦略・飲食・宿泊

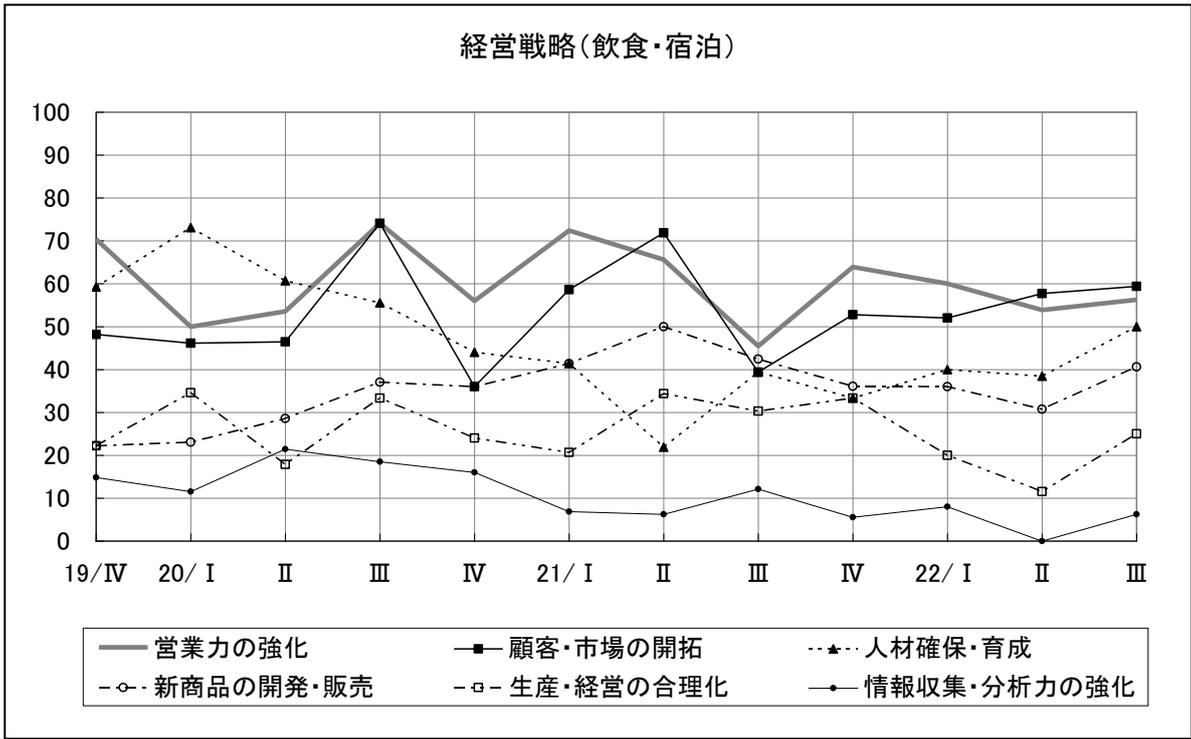


図 37. 当面の経営戦略・サービス

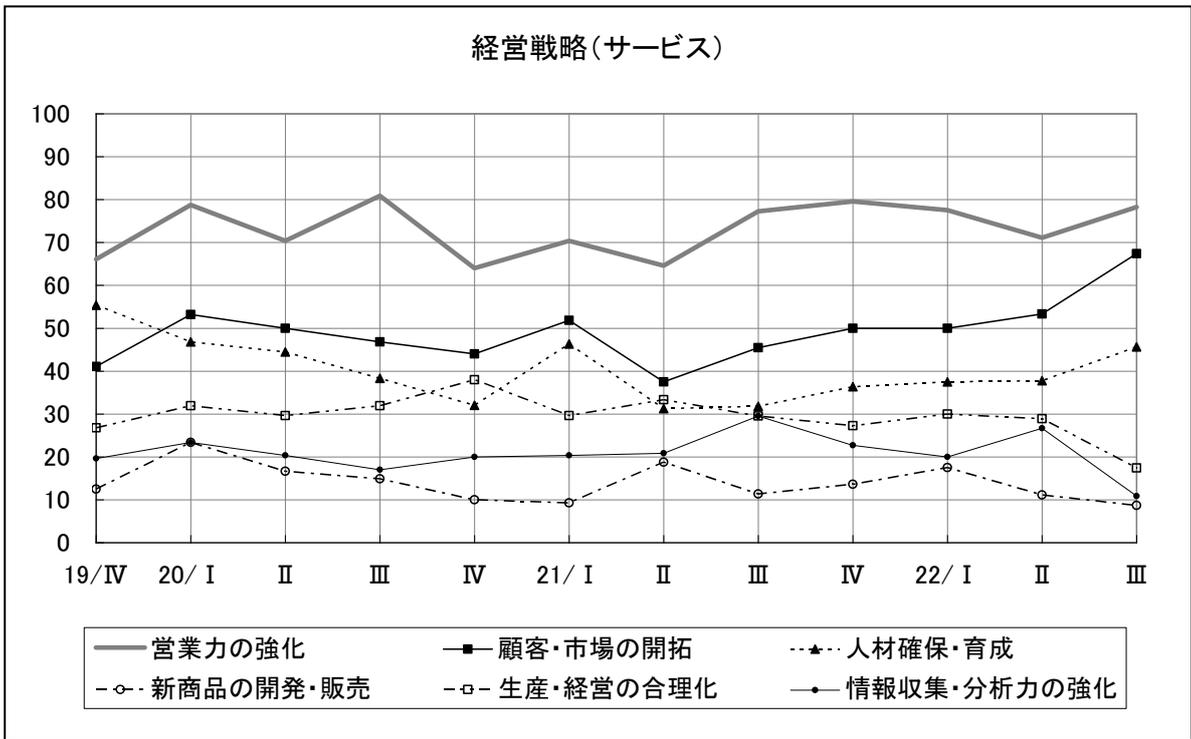


図 38. 当面の経営戦略・建設

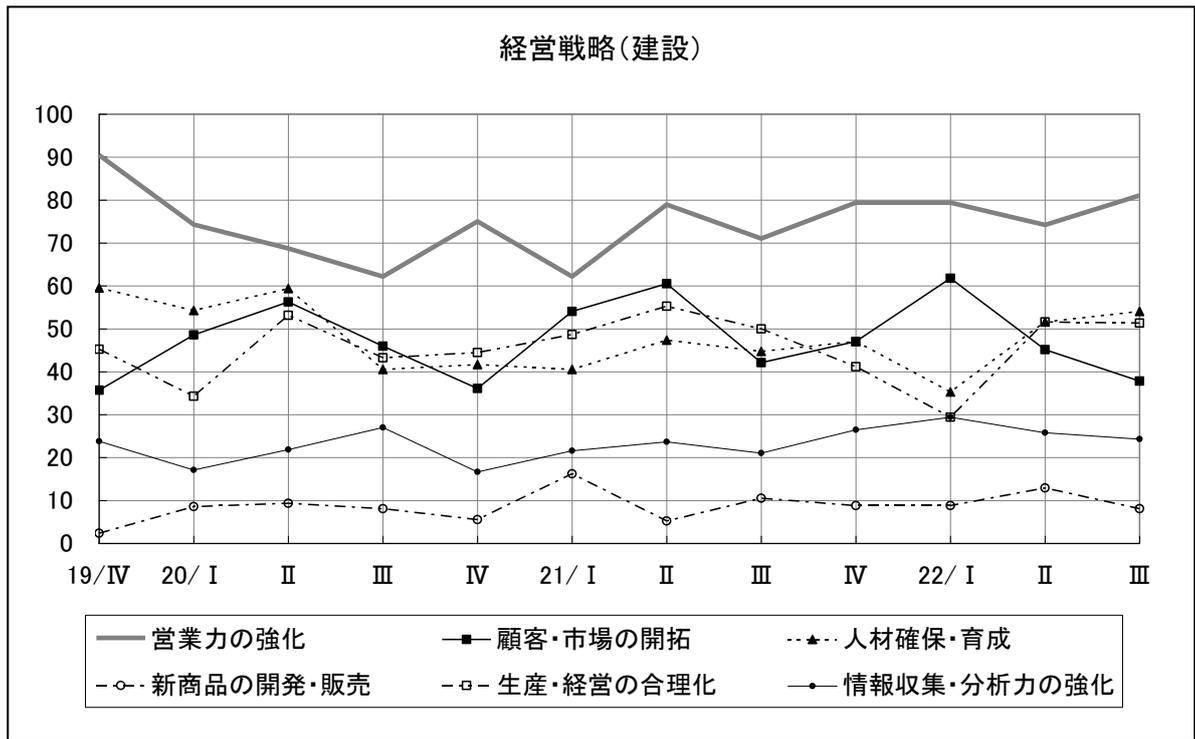


表 13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	顧客・市場の開拓	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	326 67.1%	166 34.2%	183 37.7%	66 13.6%	260 53.5%	181 37.2%	32 6.6%	72 14.8%	9 1.9%	486 100.0%	27
製造業	149 63.7%	94 40.2%	79 33.8%	42 17.9%	121 51.7%	115 49.1%	25 10.7%	34 14.5%	6 2.6%	234 100.0%	9
西陣	9 40.9%	4 18.2%	6 27.3%	5 22.7%	10 45.5%	13 59.1%	1 4.5%	3 13.6%	1 4.5%	22 100.0%	1
染色	14 50.0%	10 35.7%	4 14.3%	6 21.4%	15 53.6%	13 46.4%	1 3.6%	8 28.6%	0 0.0%	28 100.0%	4
印刷	23 88.5%	9 34.6%	14 53.8%	8 30.8%	16 61.5%	10 38.5%	1 3.8%	8 30.8%	0 0.0%	26 100.0%	0
窯業	9 56.3%	7 43.8%	1 6.3%	3 18.8%	7 43.8%	9 56.3%	1 6.3%	2 12.5%	2 12.5%	16 100.0%	2
化学	9 64.3%	4 28.6%	4 28.6%	2 14.3%	6 42.9%	6 42.9%	7 50.0%	1 7.1%	0 0.0%	14 100.0%	0
金属	13 61.9%	9 42.9%	10 47.6%	4 19.0%	11 52.4%	10 47.6%	2 9.5%	1 4.8%	0 0.0%	21 100.0%	1
機械	21 84.0%	14 56.0%	11 44.0%	5 20.0%	13 52.0%	7 28.0%	4 16.0%	0 0.0%	2 8.0%	25 100.0%	0
その他の製造	51 62.2%	37 45.1%	29 35.4%	9 11.0%	43 52.4%	47 57.3%	8 9.8%	11 13.4%	1 1.2%	82 100.0%	1
非製造業	177 70.2%	72 28.6%	104 41.3%	24 9.5%	139 55.2%	66 26.2%	7 2.8%	38 15.1%	3 1.2%	252 100.0%	18
卸売	39 65.0%	19 31.7%	18 30.0%	7 11.7%	30 50.0%	19 31.7%	5 8.3%	9 15.0%	1 1.7%	60 100.0%	7
小売	36 70.6%	12 23.5%	17 33.3%	5 9.8%	28 54.9%	20 39.2%	0 0.0%	10 19.6%	1 2.0%	51 100.0%	4
情報通信	18 69.2%	6 23.1%	12 46.2%	6 23.1%	17 65.4%	7 26.9%	1 3.8%	3 11.5%	0 0.0%	26 100.0%	1
飲食・宿泊	18 56.3%	8 25.0%	16 50.0%	0 0.0%	19 59.4%	13 40.6%	0 0.0%	2 6.3%	1 3.1%	32 100.0%	1
サービス	36 78.3%	8 17.4%	21 45.7%	5 10.9%	31 67.4%	4 8.7%	0 0.0%	5 10.9%	0 0.0%	46 100.0%	4
建設	30 81.1%	19 51.4%	20 54.1%	1 2.7%	14 37.8%	3 8.1%	1 2.7%	9 24.3%	0 0.0%	37 100.0%	1
観光関連	28 65.1%	17 39.5%	19 44.2%	3 7.0%	22 51.2%	21 48.8%	2 4.7%	5 11.6%	0 0.0%	43 100.0%	3

(3) 経営上の不安要素について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 39. 経営上の不安要素・全体回答状況

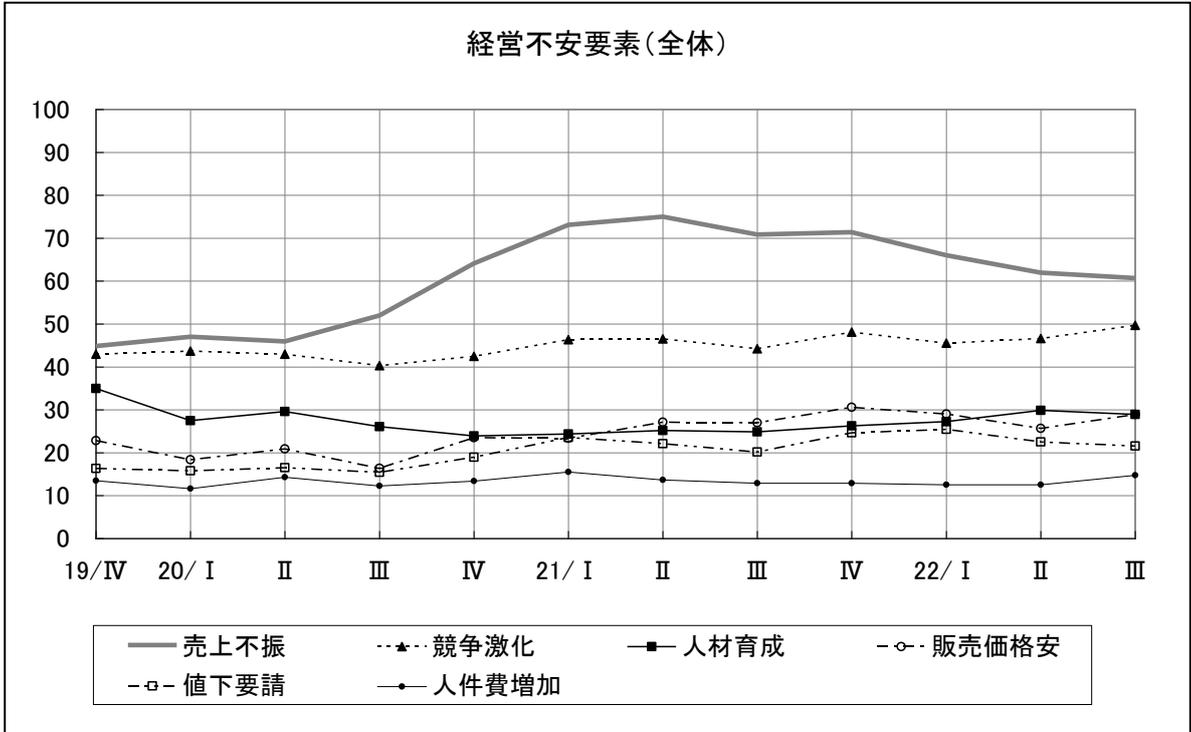


図 40. 経営上の不安要素・製造業主要回答

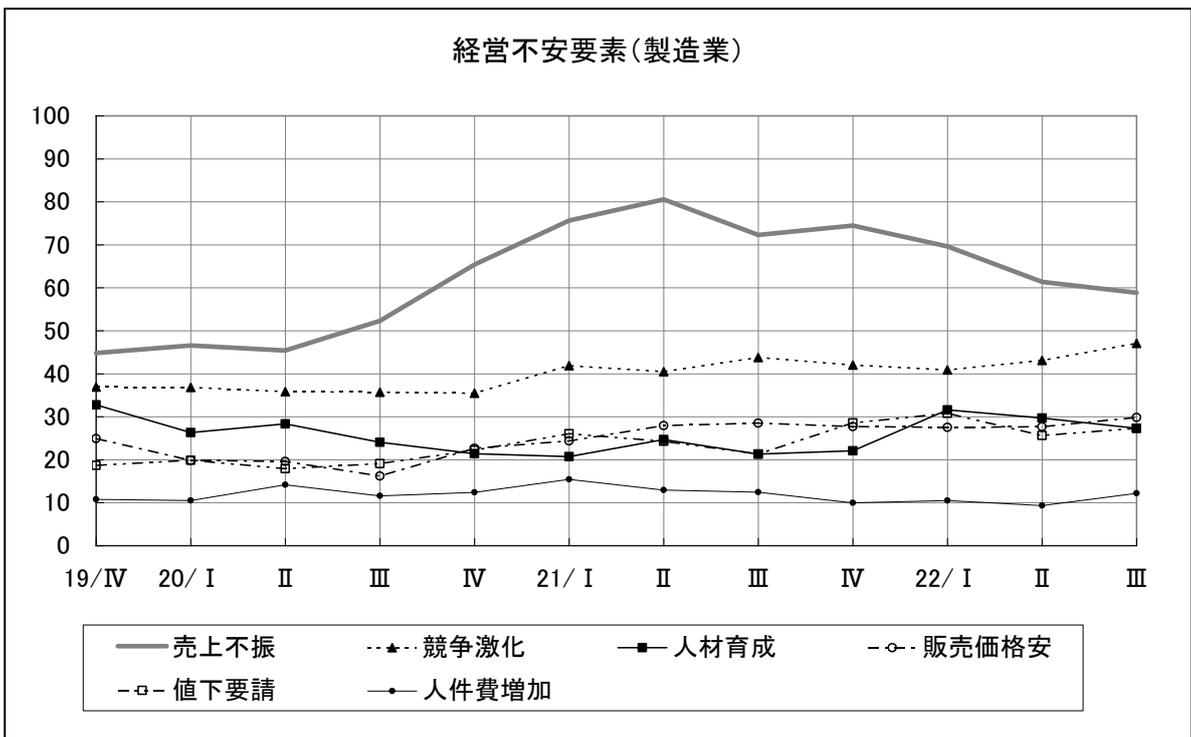


図 41. 経営上の不安要素・西陣

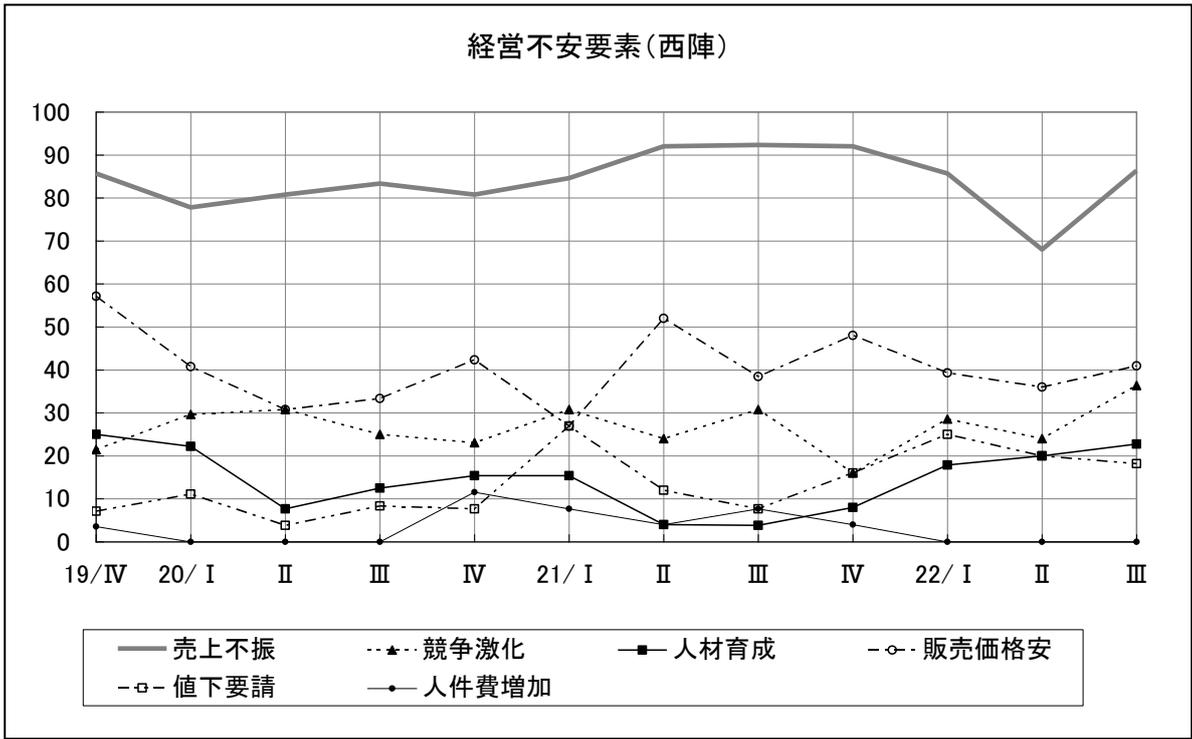


図 42. 経営上の不安要素・染色

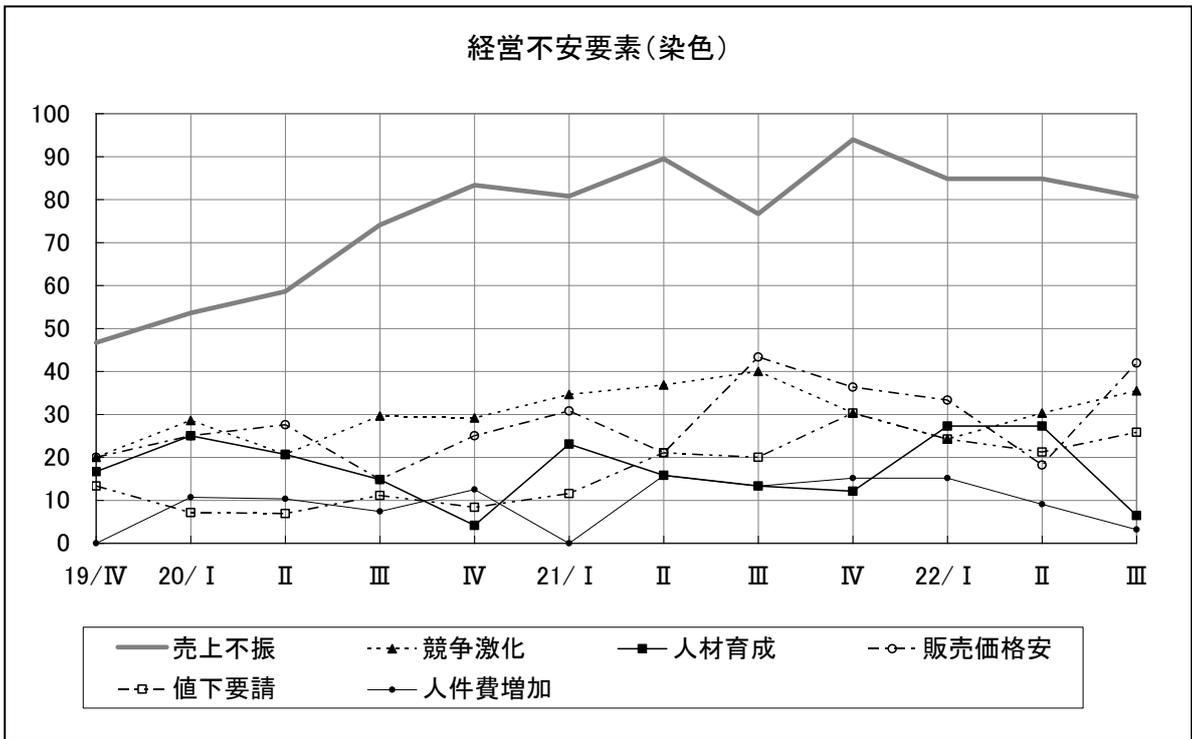


図 43. 経営上の不安要素・印刷

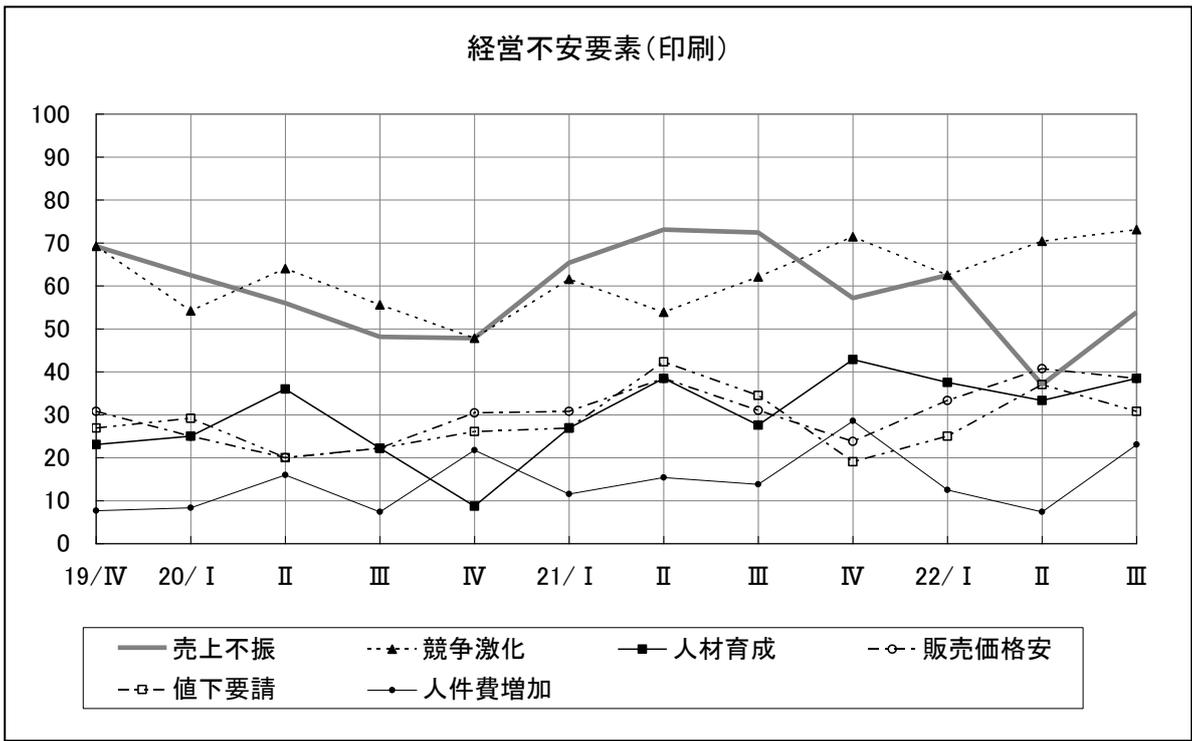


図 44. 経営上の不安要素・窯業

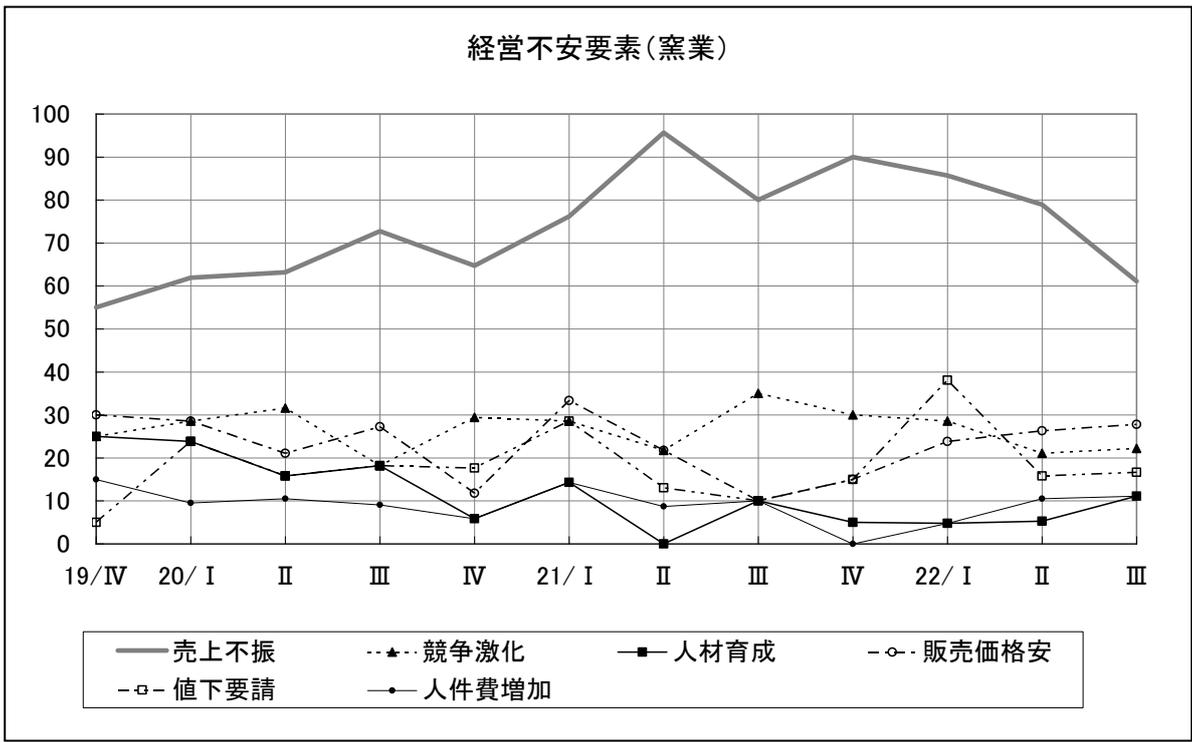


図 45. 経営上の不安要素・化学

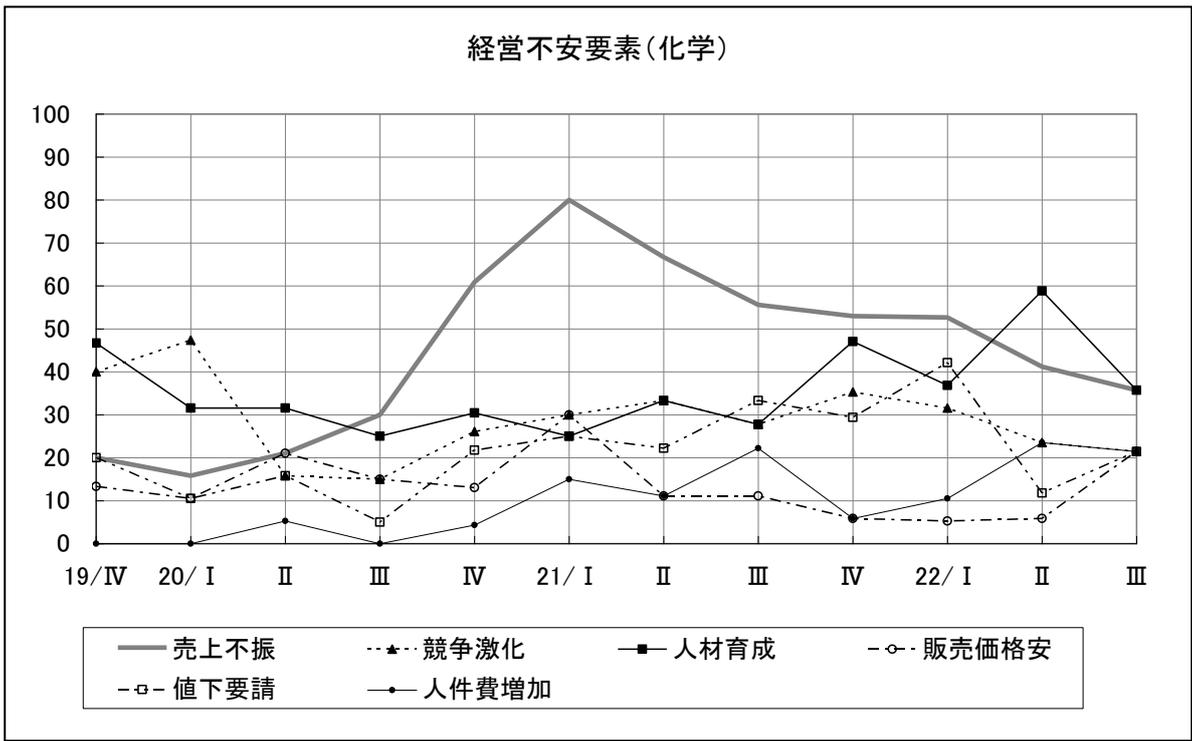


図 46. 経営上の不安要素・金属

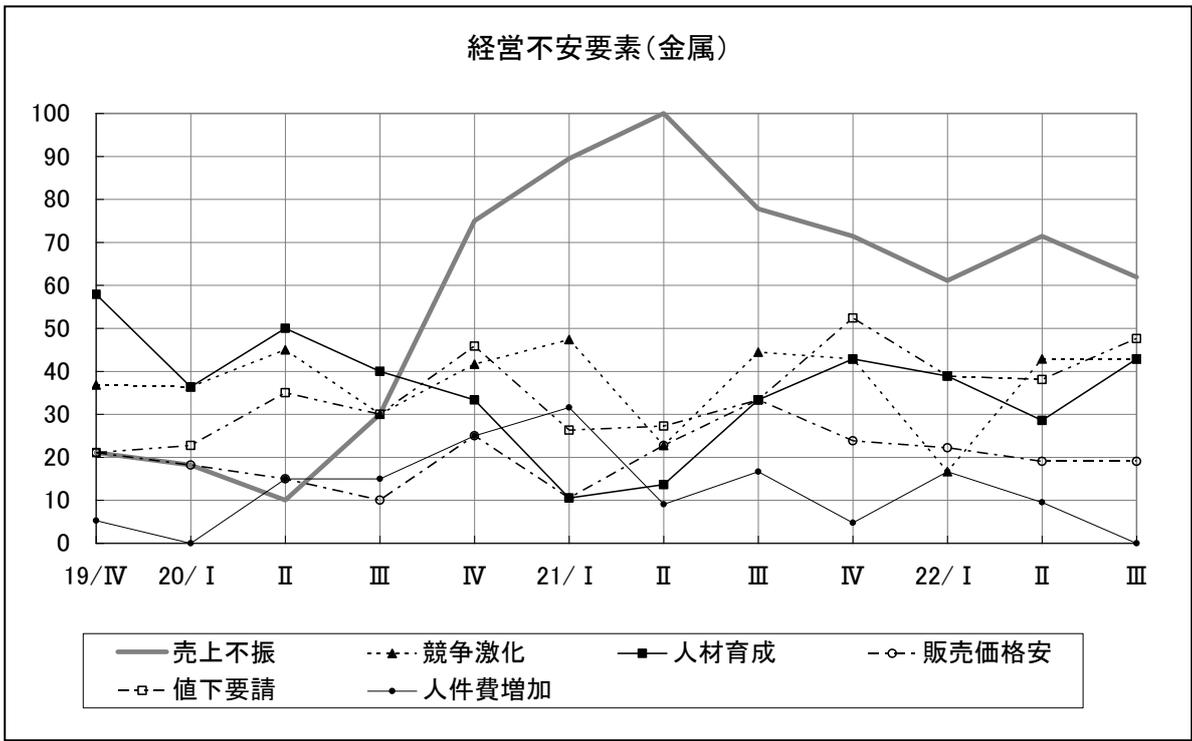


図 47. 経営上の不安要素・機械

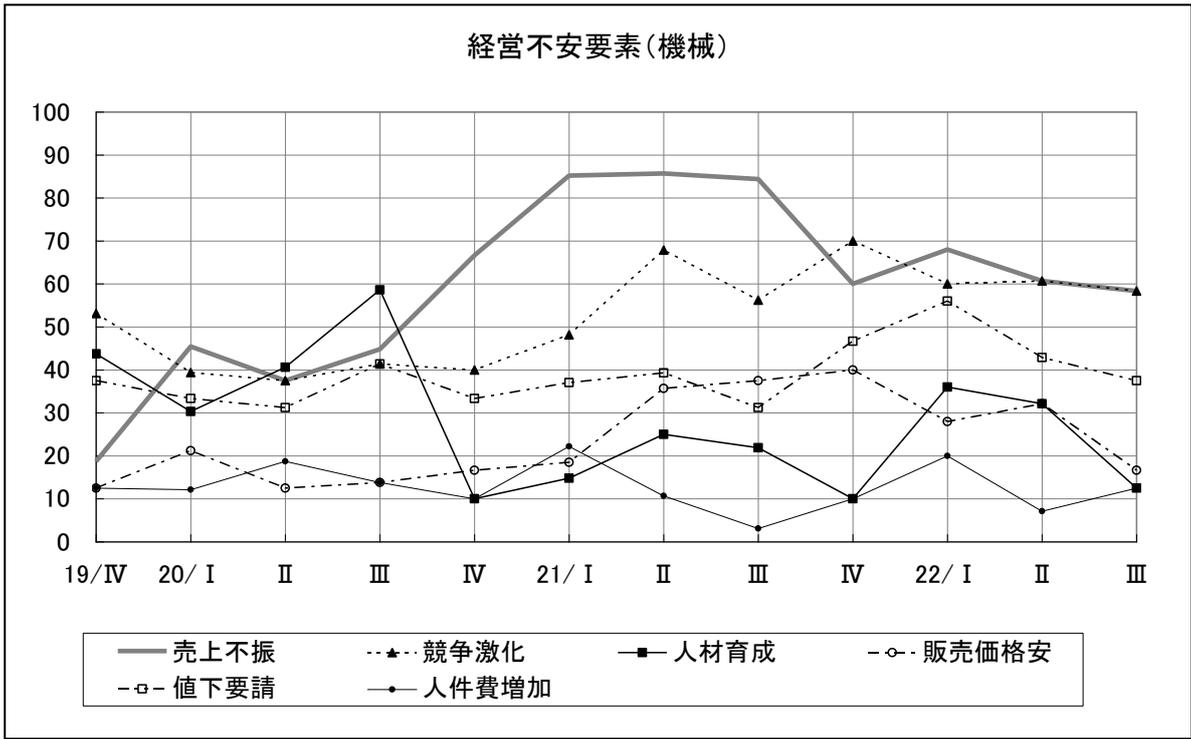


図 48. 経営上の不安要素・その他の製造

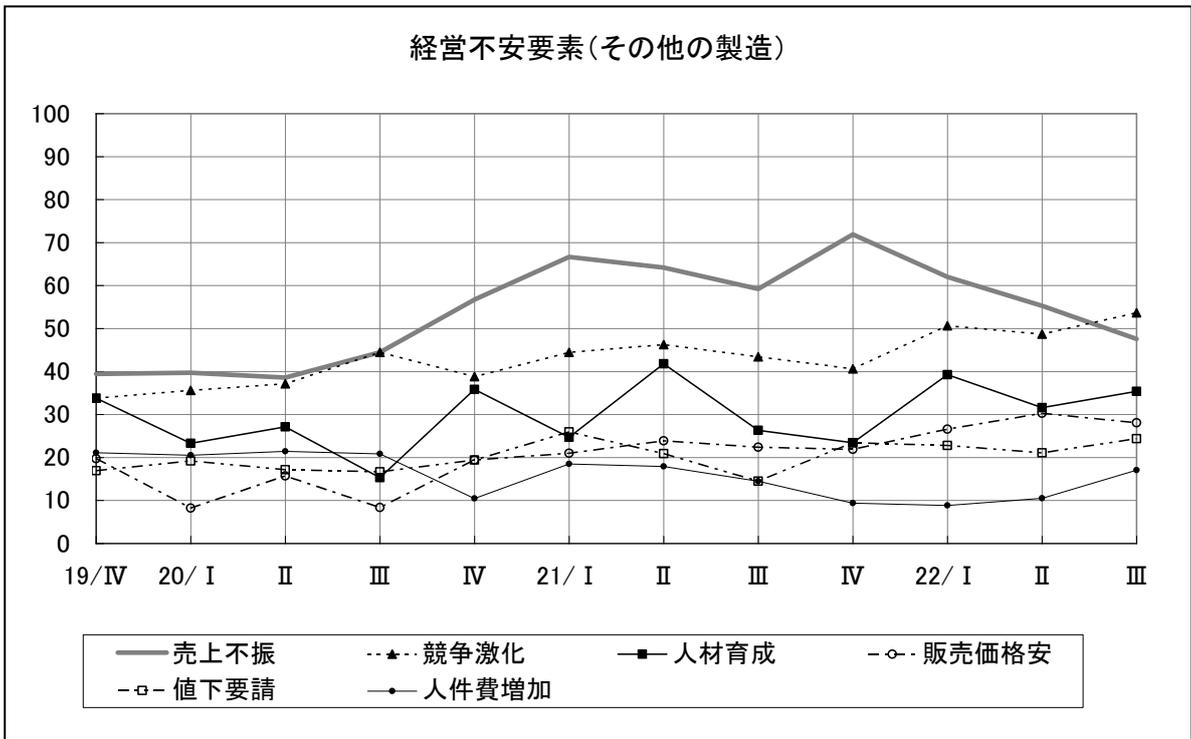


図 49. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

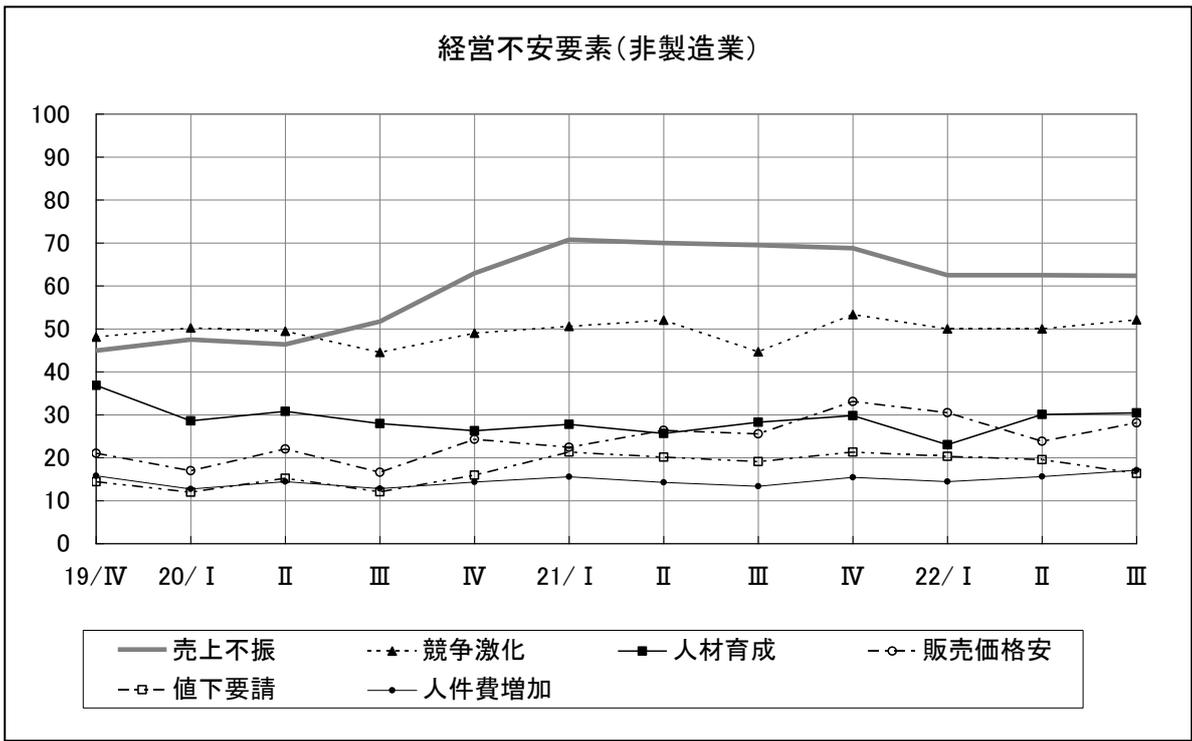


図 50. 経営上の不安要素・卸売

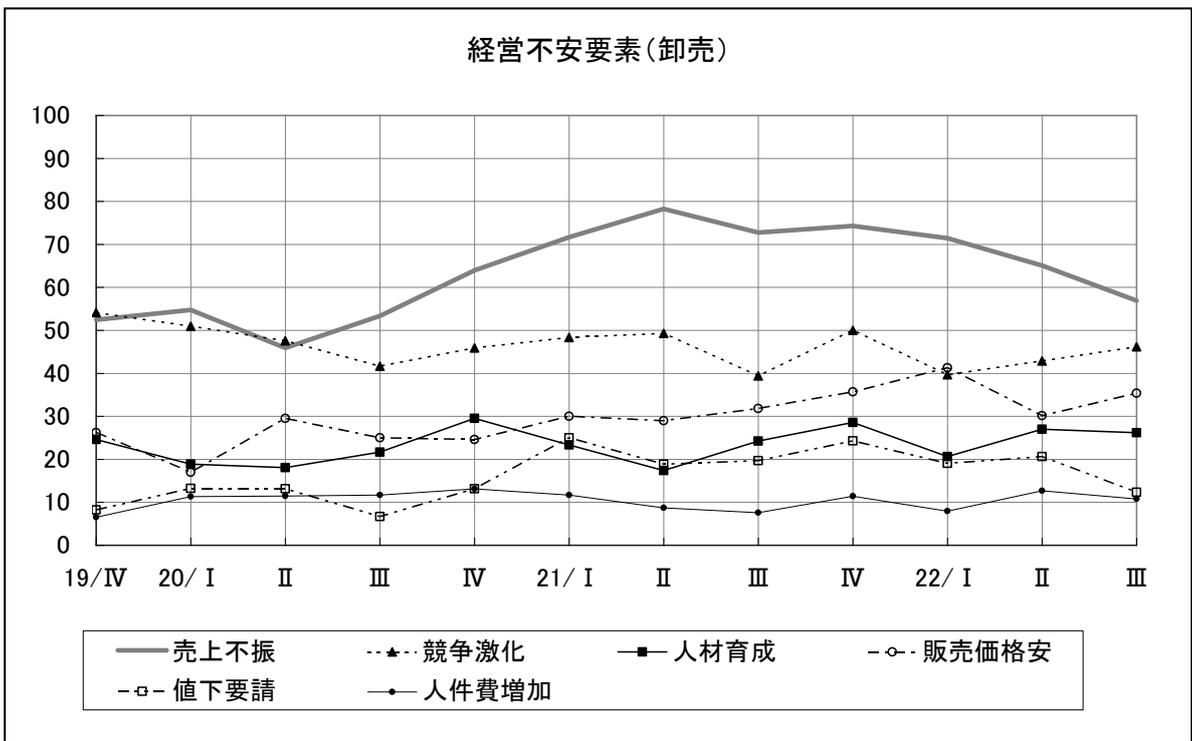


図 51. 経営上の不安要素・小売

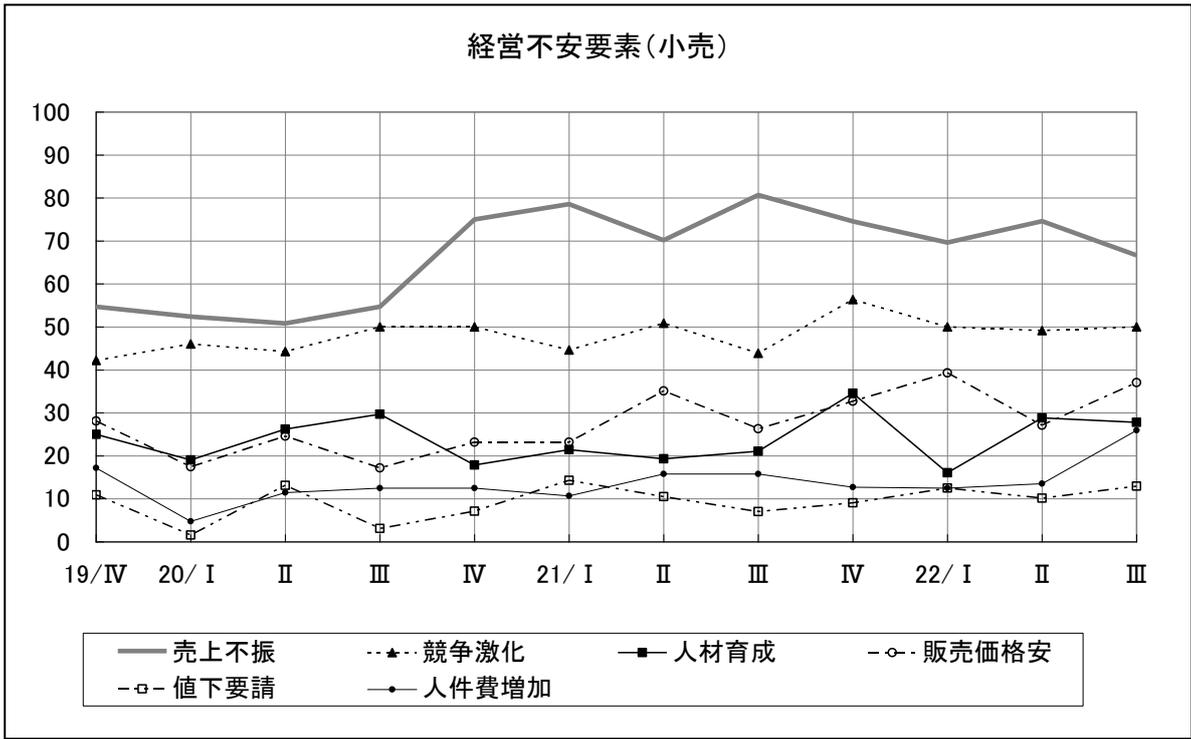


図 52. 経営上の不安要素・情報通信

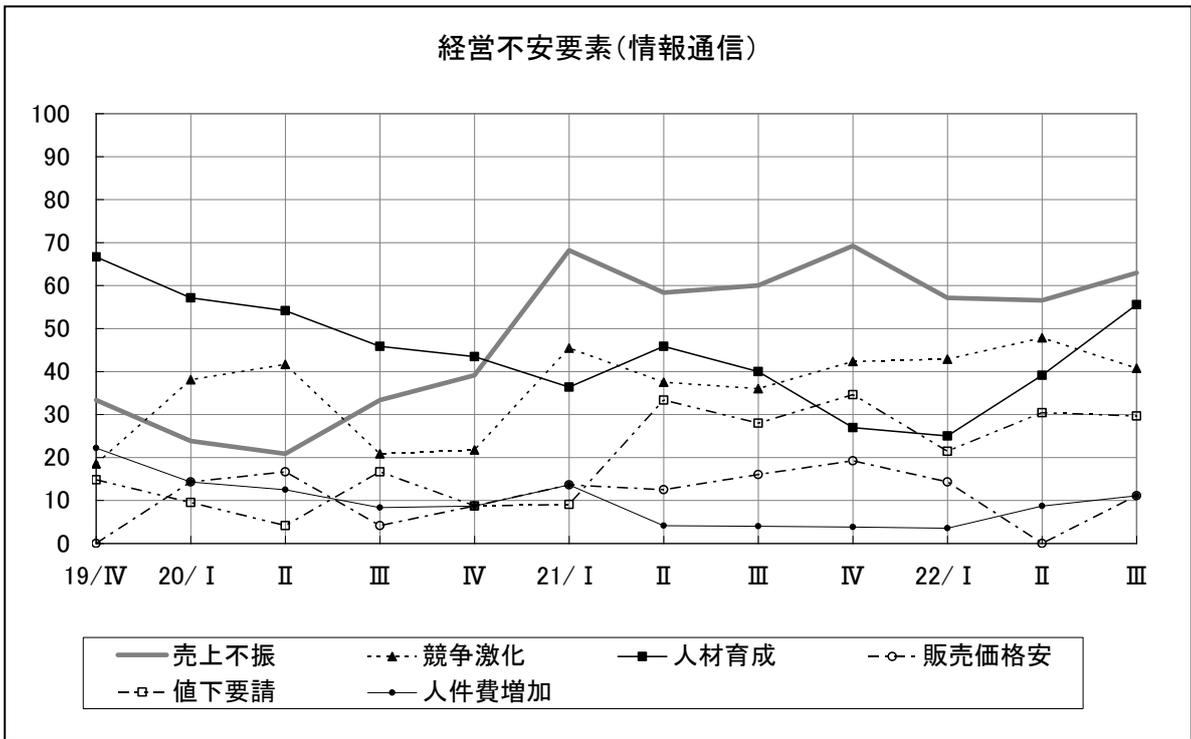


図 53. 経営上の不安要素・飲食・宿泊

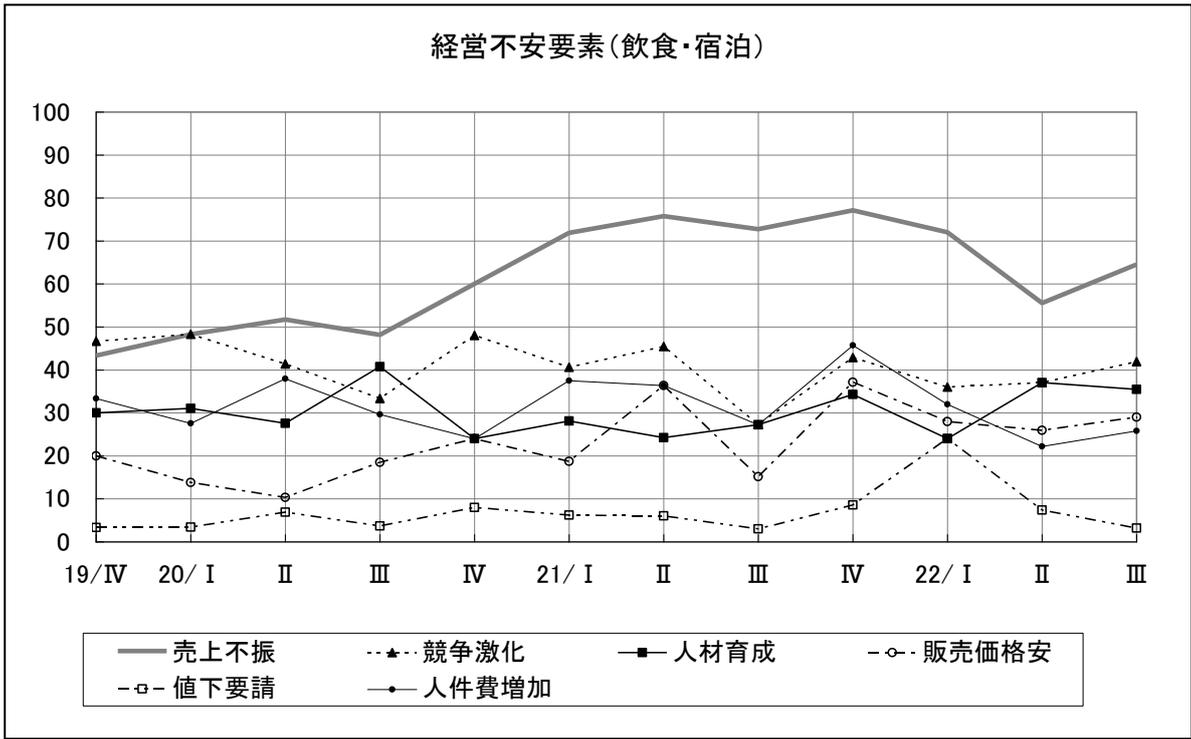


図 54. 経営上の不安要素・サービス

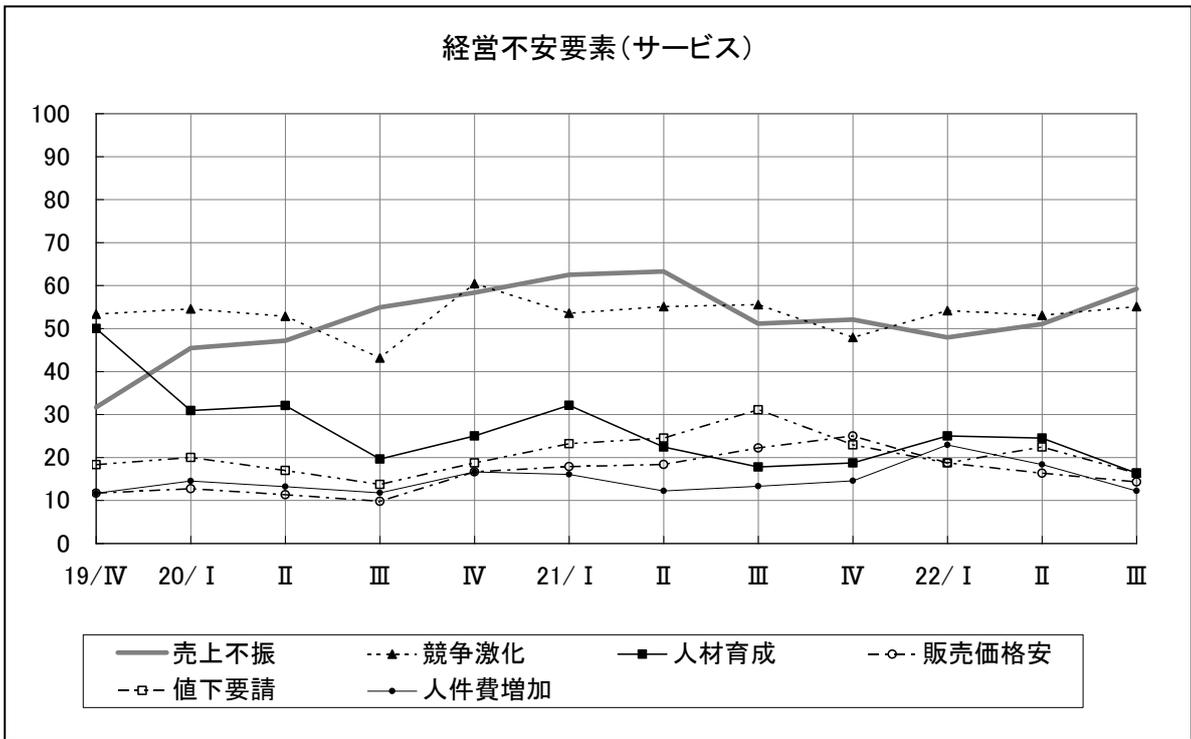


図 55. 経営上の不安要素・建設

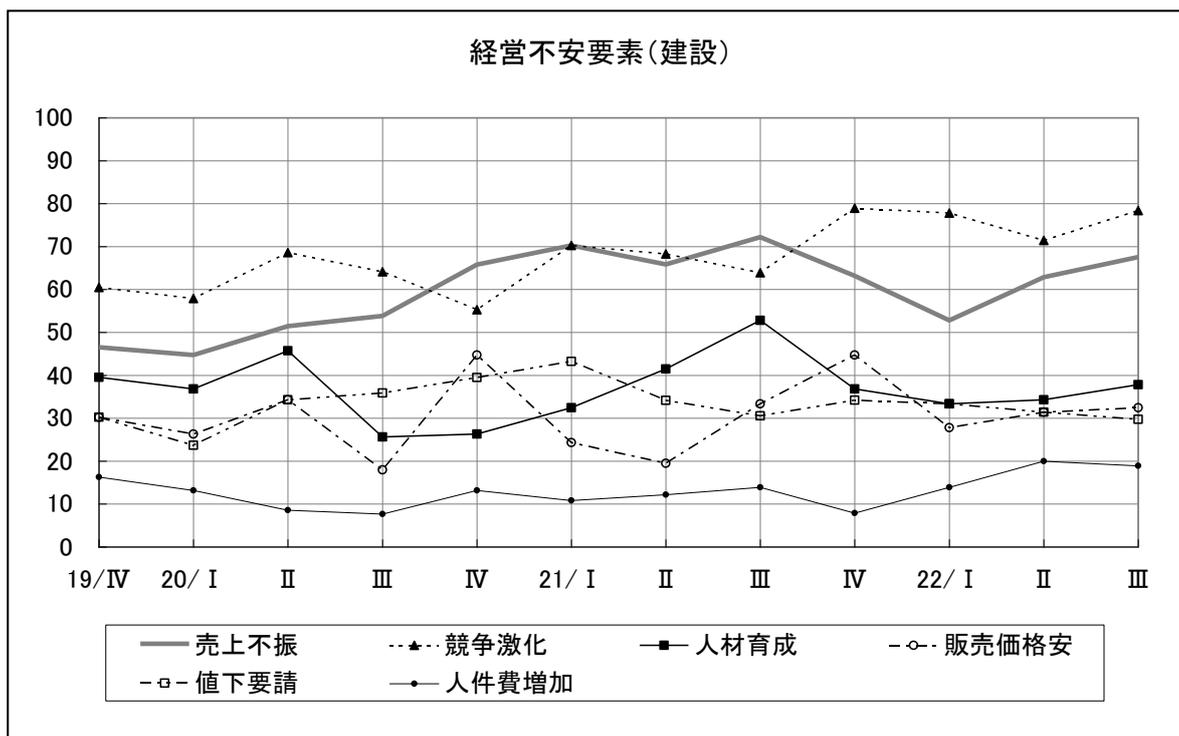


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安
全業種	249 49.7%	304 60.7%	145 28.9%	108 21.6%	51 10.2%	54 10.8%	15 3.0%	145 28.9%
製造業	112 47.1%	140 58.8%	65 27.3%	65 27.3%	25 10.5%	39 16.4%	6 2.5%	71 29.8%
西陣	8 36.4%	19 86.4%	5 22.7%	4 18.2%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%	9 40.9%
染色	11 35.5%	25 80.6%	2 6.5%	8 25.8%	4 12.9%	5 16.1%	3 9.7%	13 41.9%
印刷	19 73.1%	14 53.8%	10 38.5%	8 30.8%	2 7.7%	3 11.5%	0 0.0%	10 38.5%
窯業	4 22.2%	11 61.1%	2 11.1%	3 16.7%	1 5.6%	1 5.6%	0 0.0%	5 27.8%
化学	3 21.4%	5 35.7%	5 35.7%	3 21.4%	2 14.3%	7 50.0%	0 0.0%	3 21.4%
金属	9 42.9%	13 61.9%	9 42.9%	10 47.6%	4 19.0%	6 28.6%	2 9.5%	4 19.0%
機械	14 58.3%	14 58.3%	3 12.5%	9 37.5%	0 0.0%	2 8.3%	0 0.0%	4 16.7%
その他の製造	44 53.7%	39 47.6%	29 35.4%	20 24.4%	10 12.2%	14 17.1%	1 1.2%	23 28.0%
非製造業	137 52.1%	164 62.4%	80 30.4%	43 16.3%	26 9.9%	15 5.7%	9 3.4%	74 28.1%
卸売	30 46.2%	37 56.9%	17 26.2%	8 12.3%	11 16.9%	5 7.7%	2 3.1%	23 35.4%
小売	27 50.0%	36 66.7%	15 27.8%	7 13.0%	5 9.3%	2 3.7%	0 0.0%	20 37.0%
情報通信	11 40.7%	17 63.0%	15 55.6%	8 29.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	3 11.1%
飲食・宿泊	13 41.9%	20 64.5%	11 35.5%	1 3.2%	4 12.9%	7 22.6%	0 0.0%	9 29.0%
サービス	27 55.1%	29 59.2%	8 16.3%	8 16.3%	2 4.1%	1 2.0%	5 10.2%	7 14.3%
建設	29 78.4%	25 67.6%	14 37.8%	11 29.7%	4 10.8%	0 0.0%	1 2.7%	12 32.4%
観光関連	18 42.9%	30 71.4%	12 28.6%	2 4.8%	8 19.0%	6 14.3%	0 0.0%	13 31.0%

	技術力 不足	後継者 問題	人手不足	人件費 増加	その他	有効回答	無回答
全業種	37 7.4%	50 10.0%	28 5.6%	74 14.8%	22 4.4%	501 100.0%	12
製造業	19 8.0%	25 10.5%	11 4.6%	29 12.2%	10 4.2%	238 100.0%	5
西陣	2 9.1%	4 18.2%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%	1
染色	0 0.0%	2 6.5%	0 0.0%	1 3.2%	2 6.5%	31 100.0%	1
印刷	1 3.8%	4 15.4%	2 7.7%	6 23.1%	0 0.0%	26 100.0%	0
窯業	0 0.0%	4 22.2%	1 5.6%	2 11.1%	1 5.6%	18 100.0%	0
化学	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%	3 21.4%	1 7.1%	14 100.0%	0
金属	2 9.5%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	21 100.0%	1
機械	5 20.8%	4 16.7%	0 0.0%	3 12.5%	3 12.5%	24 100.0%	1
その他の製造	7 8.5%	5 6.1%	6 7.3%	14 17.1%	2 2.4%	82 100.0%	1
非製造業	18 6.8%	25 9.5%	17 6.5%	45 17.1%	12 4.6%	263 100.0%	7
卸売	2 3.1%	6 9.2%	1 1.5%	7 10.8%	6 9.2%	65 100.0%	2
小売	2 3.7%	5 9.3%	1 1.9%	14 25.9%	2 3.7%	54 100.0%	1
情報通信	2 7.4%	5 18.5%	4 14.8%	3 11.1%	1 3.7%	27 100.0%	0
飲食・宿泊	3 9.7%	6 19.4%	3 9.7%	8 25.8%	2 6.5%	31 100.0%	2
サービス	6 12.2%	1 2.0%	2 4.1%	6 12.2%	0 0.0%	49 100.0%	1
建設	3 8.1%	2 5.4%	6 16.2%	7 18.9%	1 2.7%	37 100.0%	1
観光関連	1 2.4%	6 14.3%	4 9.5%	12 28.6%	2 4.8%	42 100.0%	4

参考:分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)
明治以前	13 (2.5)
明治	20 (3.9)
大正	10 (1.9)
昭和19年以前	27 (5.3)
20~39年	195 (38.0)
40~49年	81 (15.8)
昭和50年以降	83 (16.2)
平成	70 (13.6)
無回答	2 (0.4)
不明	12 (2.3)
合計	513 (100.0)

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)
法人	461 (89.9)
個人	14 (2.7)
無回答	38 (7.4)
合計	513 (100.0)

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)	項目	企業数 (構成比)
製造業	243 (47.4)	非製造業	270 (52.6)
西陣	23 (4.5)	卸売	67 (13.1)
染色	32 (6.2)	小売	55 (10.7)
印刷	26 (5.1)	情報通信	27 (5.3)
窯業	18 (3.5)	飲食・宿泊	33 (6.4)
化学	14 (2.7)	サービス	50 (9.7)
金属	22 (4.3)	建設	38 (7.4)
機械	25 (4.9)	不明	0 (0.0)
その他の製造	83 (16.2)	合計	513 (100.0)

※観光関連 (観光関連の売上げが25%以上)	46 (9.0)
------------------------	------------

資本金規模別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)	項目	企業数 (構成比)
~100万円	0 (0.0)	3001~5000	76 (16.5)
101~200	0 (0.0)	5001~1億円	43 (9.3)
201~500	30 (6.5)	1億円超	9 (2.0)
501~1000	166 (36.0)	無回答	0 (0.0)
1001~3000	137 (29.7)	合計	461 (100.0)

※法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)	項目	企業数 (構成比)
0~4人	72 (14.0)	50~99人	77 (15.0)
5~9人	82 (16.0)	100人以上	41 (8.0)
10~19人	102 (19.9)	無回答	2 (0.4)
20~29人	64 (12.5)	合計	513 (100.0)
30~49人	73 (14.2)		

第96回京都市中小企業経営動向実態調査

京都市産業観光局

(TEL:222-3325)

【締切日 平成22年9月7日(火)】

貴社の概要を御記入ください。

(該当する箇所には○印をお付けください。電算処理致しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。)

会社名						
経営形態	法人・個人	資本金		万円	電話	—
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成) 年			従業員数	人	
※業種	製造業： A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造					
	非製造業： I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店、宿泊・Mサービス・N建設					
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 25%未満 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。 「観光関連の売上げ」がない方は、「3 25%未満」に○をお付けください。					
主な製品・商品、サービス						
御記入者	部課：	役職：	氏名：			

※業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。

項目	期間	平成22年7月～9月の実績 (前年の同期と比較して)			平成22年10月～12月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
貴社の業況		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
生産加工量・販売量		増加	不変	減少	増加	不変	減少
経常利益(税引前)		増加	不変	減少	増加	不変	減少
製品・加工単価、販売単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
仕入単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
製品・商品在庫量		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
雇用人員		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
資金繰り		楽	普通	苦	楽	普通	苦
同業他社との競争		激化	不変	緩和	激化	不変	緩和
「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増加	不変	減少	増加	不変	減少
	生産設備	過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
	設備投資	した	していない		する	しない	

(2) 該当するものに○印をお付けされた理由を御記入ください。

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。(複数回答可)

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化 | 2 生産・経営の合理化 | 3 人材確保・育成 |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 顧客、市場の開拓 | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化 | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他() |

(裏面も御記入ください。)

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。(複数回答可)

- | | | |
|-----------|----------|----------------|
| 1 競争激化 | 2 売上不振 | 3 人材育成 |
| 4 値下要請 | 5 仕入値上要請 | 6 原材料(特に)価格上昇 |
| 7 金利上昇 | 8 販売価格安 | 9 技術力不足 |
| 10 後継者問題 | 11 人手不足 | 12 人件費増加 |
| 13 その他() | | |

(5) 貴社の京都市産業支援機関等の施策の御利用状況についてお尋ねします。

A. 平成22年4月に、これまで四条烏丸(京都産業会館2階)に設置していた京都市中小企業支援センターが、多くの産業支援機関が集積する京都リサーチパーク地区の財団法人京都高度技術研究所内に移転し、市内中小・ベンチャー企業への金融・経営相談から研究・開発支援まで、総合的に支援をさせていただくことになりましたが、このことを御存じですか。該当するいずれかに○印をお付けください。

- 1 知っていた 2 知らなかった

B. これまでに、京都高度技術研究所又は京都市中小企業支援センターの支援施策を利用されたことはありますか。該当するいずれかに○印をお付けください。

- 1 利用したことがある 2 利用したことがない(→ Dにお進みください。)

理由:

C. 上記Bで「利用したことがある」とお答えになった場合、利用されたことがある産業支援施策は何ですか。該当するものに○印をお付けください。(複数回答可)

- | | | |
|----------------------|------------|-------------|
| 1 経営相談 | 2 金融相談 | 3 専門家派遣 |
| 4 制度融資 | 5 販路開拓支援 | 6 人材育成支援 |
| 7 知的財産支援 | 8 研究開発支援 | 9 情報化(IT)支援 |
| 10 産学連携支援 | 11 企業間連携支援 | 12 海外進出支援 |
| 13 その他(具体的に御記入ください。) | | |

D. 今後活用したい産業支援施策は何ですか。該当するものに○印をお付けください。(複数回答可)

- | | | | | |
|----------------------|---------|------------|---------|---------|
| 1 経営一般 | 2 金融 | 3 税務 | 4 雇用 | 5 情報化 |
| 6 取引(販路拡大含む) | 7 環境対策 | 8 人材育成 | 9 事業承継 | 10 企業再生 |
| 11 経営革新・新事業展開 | 12 知的財産 | 13 研究・製品開発 | 14 産学連携 | 15 企業連携 |
| 16 その他(具体的に御記入ください。) | | | | |

(お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。)